

會計局長回答(折込)

貴監月俸雇員ニシテ町村會議員ニ選舉セラレタルモノ俸給支給方ノ義ニ付衆會發第十三號ニ以テ御照會ノ趣了承右僱員ニシテ議員ニ選舉セラレ本人其選ニ應セントスル場合ニ於テハ町村制第十五條ニ據ルヘキモノニアフスシテ官吏服務紀律第七條第十七條ニ據リ許可セラルヘキモノニ可有之ト存候尤モ俸給支給方ノ義ハ御見込ノ通ニ有之候經伺ノ上此段及御回答候也

○奈良縣問合(三十二年)

制第十五條ノ緣故

町村制第十五條第五項兄弟ノ緣故トハ養子其養家ニ於ケル兄弟及其實兄弟ヲモ共ニ含有スル義ニ候哉血縁ヲ以テ言ヘハ實兄弟素ヨリ濃厚ナル關係ヲ有シ現下ノ續柄ヲ以テ言ヘハ養兄弟モ亦深キ緣故アリト聞ハサルヲ得ス然レハ此二者ハ無論同時ニ兄弟ノ緣故ヲ有スル者ト見做スヘキ義ニ候哉
總務局長回答(三十二年)
見解ノ通ト存ス

○岐阜縣問合(三十二年)

制第十五條ノ緣故

町村制第十五條第五項兄弟ノ緣故トハ養子其養家ニ於ケル兄弟云々本年四月縣甲第三〇號ヲ以テ御省書記官ヨリ通牒ノ趣有之候處爰ニ某甲ノ家ニ於テ長次女ニ乙丙ノ姪養子ヲ迎ヘ爾後各分家シテ一家ヲ爲スモノアルトキ乙丙ハ右養家ニ於ケル兄弟ト同様ニ候哉
縣治局長回答(三十二年)
父子兄弟緣故ノ件御見込ノ通ト存ス

○徳島縣問合(三十二年)

制第十五條ノ緣故

町村制第十五條第五項父子兄弟タルノ緣故アル者同時ニ市町村會議員ニ選舉セラレタルトキハ法文ニ依リ投票ノ多キモノ一人ヲ以テ當選者ト爲シ投票ノ少キモノハ選舉掛ニ於テ除却スルヲ以テ則チ一名ノ候員ヲ生スヘシ然ルニ議員ノ選舉ハ有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トスヘキ義ニ付父子兄弟ノ緣故アリテ爲メ除却シタル投票ハ即チ有効コレテ無効投票ニアシサルモノナレハ前記候員者ノ補缺ハ更ニ選舉ヲ爲サシムヘキモノコレテ直ニ次点者ヲ以テ當選トスヘキ限リニ無之義ニ候哉

指令(三十二年)

町村制第十五條第五項ニ關シ何ノ件何ノ通

○三重縣問合(三十三號)

村界變更ニ付村長議員空位トナルトキ取扱方

本縣飯高郡鈴止村ノ機部ヲ裂キ隣村柳戸村ニ組込ムヘキ必要ヲ生シ候ニ付不日該郡參事會ヨリ境界變更ノ決議書ヲ附與スヘキ筈ニ有之然ルコ右鈴止村現任村長助役及議員九名(村會議員總數十二名)ハ今回變更ノ爲メ柳戸村ニ屬スヘキ部落中ノモノニシテ鈴止村ノ籍ヲ離ル、ニ付テハ自ラ其職務モ相解可申次第ニ有之候斯ル場合ニ相成候テハ一時該村ノ代議行政兩機關共解散ノ姿ニ相成候ニ付郡參事會ハ豫メ準備ノ日子ヲ見積リテ之レカ實施ノ期限ヲ指示シ其間ニ於テ議員ノ補欠選舉村長助役ノ改選ヲナシ置キ實施期限ニ至リ新舊兩機關交替セシムヘキヤトモ被存候得共斯クスルトキハ未ク境界變更ノ實施ナラサル前ニ方リ新代機關ノ運動ヲ始ムル嫌有之去リトテ境界變更實施ノ期ニ至リ監督官廳ヨリ従前ノ村長ニ命令シテ議員選舉村長助役改選ノ事務ヲ取扱ハシムルトスルモ監督權ノ區域ヲ超越スルヤノ懸念有之甚ク疑義ニ涉リ候ニ付及御問合候

縣治局長回答(三十三號)

右ハ實施ノ上缺員補充ノ手續ヲ行フヘキ筈ニシテ議員ノ選舉ハ特ニ官吏ヲ派遣シ取扱ハシム可然

ト存候

○岡山縣問合(三十三號)

町村會議員三分ノ一以上欠員ノトキ急施行業務理方

町村會議員少數ノ町村ニ於テハ往々一時ニ定數ノ三分一以上欠員ヲ生スルコトアリ之カ補欠選舉ヲ了シ會議ヲ開設シ得ルマテニハ町村制第十八條ノ規定アリテ六十日以上ノ日子ヲ要セリ然ルニ此選舉準備中非常洪水又ハ流行病等ノ爲メ目下擱ク能ハサル急要ナル事件出來スルモ該年度定額豫算中豫備費ノ設ケナク或ハ之レアルモ尙ホ不足ヲ生シ臨時収支豫算ノ追加ヲ要スルモ制第四十三條ノ規定アリテ議員三分ノ二以上出席スルコトアラサレハ會議ヲ開ク能ハス忽チ施行上來ス(不都合ヲ來)場合有之然ルコ町村制中右等ノ場合ニ該當スル條項ハ無之候得共事實豫算スヘカラサル義ニ付町村長ニ於テ適宜施行シ會議ノ組織完備ヲ得テ豫算追加ヲ議定セシムルコト得ヘキ哉至急何分ノ御指押相成度此段相伺候也

指令(三十三號)

(前議)右前例ニ依リ左案御指押可相成哉

廿三年十一月廿八日會議第二九號伺町村會議員三分一以上欠員ノ作ハ事實已ムヲ得サル場合ニ於

テハ那那參事會ニ代ル郡長ニ於テ町村會ニ代リ議決スルヲ得

(參照)鹿兒島縣例(二十二年)

議員三分一以上欠員アルトキ補欠選舉ヲ行フハ制第十八條ニ據ルヘキハ勿論ノ處該選舉前議定ヲ要スル至速ノ事件アルトキハ那那參事會代議ニ然ルヘキ哉

指令(二十二年)

議員補欠選舉前代議ノ件同ノ通

○山口縣例(二十二年)

村會議員三分ノ二以上辭職セシキ急遽事件處辦方

村會議員全時ニ三分二以上辭職セシモノアリ然ルニ補欠選舉ノ了ルヲ俟可ラサル議件アリ加何處分レ可然ヤ

指令(二十二年)

村會議員辭職ノ件ハ町村制第四十五條二項ニ遵シ那那參事會ニ代ル郡長ニ於テ徵収支出ニ追テ町村

會ニ報告スヘシ

○青森縣問合(二十二年)

町村條例ヲ以テ増加シタル議員任期

目今町村條例ヲ以テ増加シタル議員ノ任期ハ最前ノ議員ト同ク昨年五月ヨリ起算シ可然哉
縣治局長回答(二十二年)

増加議員任期ノ件御意見ノ通

○群馬縣照會(二十二年)

選舉原簿及人名簿等雜形

町村制中(中略)選舉原簿及人名簿其他投票等ノ雜形ハ追テ御省ヨリ一定ノ式ヲ示サヘルヤ
縣治局長回答(二十二年)

(前略)選舉原簿及選舉人名簿ハ不日其樣式ヲ示サルヘシ投票ハ地方ニ於テ適宜其式ヲ定メラレ可然ト存候

○新潟縣例(二十二年)

名簿確定期限短縮ノ件

町村制第十八條町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其選舉前六十日ヲ限リ云々ト有之候處名簿調製後七日間ノ總覽了了ハ新願等無之更ニ十日ヲ經確定名簿トナルキハ六十日以内ヲリトモ第十九條ノ手續ニ

ヨリ選舉會ヲ開キ妨ケナキ哉

総務局長回答(二十二年)

六十日ノ期限ハ短縮スルヲ得ス

○岩手縣問合(二十二年)

名簿調製期限

選舉原簿調製ハ創始ノ際ニ付町村制第十八條ノ期限ニヨリ難シ故ニ六十日前ニ調製セサルモ苦カ
ラスヤ爲念御問合ニ及テ折返シ御報アレ

縣治局長回答(二十二年)

御意見ノ通

○青森縣問合(二十二年)

名簿加除修正

一 町村制第十八條第一項ニ依リ選舉原簿ハ選舉前六十日ヲ限り之ヲ調製スト雖モ爾後理事者ニ
於テ其誤謬ヲ發見シタルモハ關係者ノ訴願ナシト雖モ之ヲ修正シ又選舉人ニ異動ヲ生シタルモ
ハ之ヲ加除スルコトヲ得ヘキ哉

一 前項果シテ加除修正スルヲ得ルトモ其之ヲ爲スハ選舉人名簿ノ確定トナル迄ハ差支ナキヤ
將縱覽ノ末日迄ニ止ル哉

指令

第一項伺ノ通

第二項縱覽ニ供シタル後ハ訴願ニ因ルノ外加除修正スルヲ得ス
但選舉權ヲ失ヒタルコト判然タルモノハ之ヲ除去スルヲ得

○宮城縣問合(二十二年)

名簿調製後資格ヲ得タルモノ取扱

町村制第十八條ノ選舉原簿ハ選舉前六十日迄ニ資格ヲ有スルモノナルヲ以テ之ヲ製シ自後新ニ資
格ヲ得タルモノアルモハ選舉前十日即確定名籍トナスノ日迄ハ隨時之ヲ追加シ可然哉

指令

伺ノ通但年數在齡ノ如キハ原簿ヲ調製スル際選舉期日迄ヲ計算ス可シ

○青森縣問合(二十二年)

選舉ノ定規ニ違背シタルモノ取扱

町村制第十八條以下選舉ノ定規ニ違背シタルハ選舉全体ヲ取消スヘキヤ將代人投票ノ如キ選舉ノ結果ニ異動ナキモノニ限り其一部分ノミテ取消シ差閔ナキ哉

指令(二十二年五月十日)

選舉ノ定規ニ違背シタル件前段ハ事實ニ依リ伺出ヘシ後段ハ取消スニ及ハス

○山形縣伺(二十二年七月十四日)

選舉名簿ノ正否

町村制第十八條ニ依リ調製シタル選舉人名簿中其選舉人氏名欄外ノ釐頭ニ被選舉權ヲ有セスト朱記マタルモノ、如キハ同制第三十七條ノ選舉人名簿ノ正否トアルニ該當シ其名簿ヲ不正ト爲スヘキモノニ候哉又ハ右事實ノ如キハ毫モ選舉權ノ消長ニ關セサルモノナルヲ以テ不正ノ名簿ト爲スノ限リニ無之候哉

指令(二十二年七月十四日)

選舉人名簿ノ件後段伺ノ通

○岡山縣伺(二十二年七月十四日)

制第十八條期限計算

町村制第十八條ニ選舉前六十日ヲ限リトアリ元來百七條年度前二ヶ月ヲ限リトアリ其計算方假令ハ日數ハ二月一日ヨリ起算濟六十日則四月一日トシ其日數ハ同上ニ起リ三月卅一日ヲ以テ二ヶ月トスルノ類至ク月ノ大小ニ拘ハラサル義ト存候得共念爲相伺候

指令(二十二年七月十四日)

第十八條選舉ノ前日ヨリ初メ日ヲ以テ溯リ計算スル義第百七條ハ一月三十一日迄豫算表ヲ調製スル義ト心得ヘシ

○鹿見島縣伺(二十二年七月十四日)

初回議員選舉名簿調製期日

市町村制第十八條ニ依リハ選舉原簿ヲ製スルハ選舉前六十日ヲ限リ候處當初施行ノ際ニ於テハ必スシモ六十日前ニ限ラヌ多少其日數ヲ減スルモ妨無之義ニ候哉

指令(二十二年七月十四日)

伺ノ通

○愛知縣問合(二十二年七月十四日)

分村セシ村會議員ノ選舉

今日分村セシ村會議員ノ選舉日限ハ制第十八條ヲ適用スヘキヤ又舊村長ヲ選舉長トスルヲ得サ
ル哉

縣治局長回答(二十三年)

分村ニ付村會議員選舉ノ件前段御意見ノ通り後段舊村長選舉掛長トシテ可然ト存ス

○群馬縣伺(二十三年)

選舉原簿調製

縣下邑樂郡赤羽村々會議員之議定數十二名ノ處目下缺員三名有之然ルコ今回該村會ニ於テ補缺選
舉ノ必要ヲ認メ直チニ選舉ヲ行フ事ニ議決候處該役場ハ本年八月火災ニ罹リ其以前ニ屬スル村稅
徵收簿悉皆烏有ニ歸シ右補缺選舉原簿ヲ調製スルニ制第十三條ノ等級ヲ取調フルコ由ナク差問之
旨申出有之調査スルニ事實止テ得サル次第ニ付本年度村稅第二期徵收額 本村々稅ハ各科目共四月
收ニシテ第一期徵 十一月ノ兩期半額宛ノ徵 十一
收簿ハ燒失セリ 據リ選舉原簿調製爲致度明治二十二年二月第六七號御訓令ノ趣モ有之ニ付此
段特仰御指擇候也

指令(二十三年)

明治二十三年十一月廿二日甲第六九〇號伺村會議員選舉原簿之議ハ伺ノ通取計書シカラス

○大坂府伺(二十三年)

初回職員選舉備簿 係ル費用

客年六月三十日付三五八號訓令第二項原簿調製等ノ準備ニ係ル費用ハ市町村制實施期日ノ前後ニ
拘ハラス總テ新市町村ノ費用ニ相立可キヤ

指令(二十三年)

伺ノ通

○大坂府伺(二十三年)

ニケ年計算ニハ選舉當日ヲ計算スルカ

本年訓令第六七號選舉原簿書式解說第五項選舉會豫定期日ヨリ溯リ前滿ニケ年トアルハ選舉ノ前
日ニ至リ滿ニケ年トアルモノニシテ選舉ノ日ハ其年數ニ算入セサルモノナルヤ

指令(二十三年)

選舉ノ當日ヲ算入スルモノトス

内務省決定省議 廿四年一月廿四日縣甲第三號
内務省書記官通知

分立セシ町村會議員選舉

一分立セシメ町村會議員ノ選舉日限ハ町村制第十八條ニ適用スヘシ其選舉掛長ハ舊村長ニ於テ取扱
フヘキモノトス

○群馬縣照會(三十一年)

名簿ノ正否ニ關シ訴願アリ議員三分ノ二以上飲員アルハ裁決

町村制第十八條第二項選舉人名簿ニ付若シ訴願セントスルモノアルハ七日間ニ町村長ニ申立町
村長ハ町村會ノ裁決ニ依リ名簿ヲ修正ノ上確定名簿トナストアリ若シ確定名簿トナス以前議員三
分ノ二以上飲員アリテ開會ニ能ハサル場合(第四十三條參照)ニ於テ訴願者アラハ其處分郡參事會
ニ於テ裁決スヘキ乎

縣治局長回答(三十一年)

第二項 御見解ノ通

○茨城縣照會(三十一年)

市町村廳ノ稱呼

市町村廳名ノ義ニ付テハ別ニ明カ無シ處市ハ其市廳町村ハ其町村廳區ハ其市又ハ其町村某區廳ト
スルガ又ハ其市役所其町村役場某區事務所トスル手又ハ一般省令ヲ以テ御定可相成御見込ニ候哉

縣治局長回答(三十一年)

市町村廳名ノ義ハ市制町村制中ニ用サラル唱呼ニ從ヒ市役所町村役場ト唱フヘキ筋ニ之レアルハ
ク區ニ於テハ事務所ト設クルヲ要スル場合ハ適宜唱呼相成可然ト存ス

○新潟縣伺(三十一年)

名簿確定期日

町村制第十八條第二項ニ選舉前十日ヲ限リ云ゲト有之候處縱覽期限内一切訴願等無之時ト雖モ更
ニ十日ヲ經ルコトアラサレハ確定名簿トナシ難キ義ニ候哉

總務局長回答(三十一年)

訴願ナキ場合ト雖モ名簿ヲ確定スルハ選舉十日前ニ限ル

○山口縣伺(三十一年)

名簿確定後公民權ヲ失ヒシモノ取扱

町村制第十八條二項末文ニ確定名簿ニ登録セラレサルモノハ何人タリトモ選舉ニ關スルコト得ス
トアリ然ルニ名簿確定ノ後公民權ヲ失フタルモノアルトキハ選舉會當日ニ際シ選舉ヲ行ハサルナ

正當ナリトスルヤ將々假令選舉權ヲ失フト雖モ名簿ニ登録セラレタル上ハ選舉ヲ行フテ正當ナリトスルヤ果シテ選舉ヲ行ハサルヲ正當ナリトスルハ選舉人ノ資格選舉掛ニ於テ斷然失格者ト見認ヘキモノ有之トキハ町村制第二十三條第三項ニ依リ選舉掛之ヲ受地スヘカフサルモノト仮定シ可然哉果シテ然ラハ選舉ヲ終リタル後制第二十九條ノ期內前陳失格者ノ投票アルコトヲ發見シタルハ其選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘキ義ニ候哉

指令(三十四號)

公民權ヲ失ヒタルコトノ確實ナル者ノ投票ハ選舉掛ニ於テ町村制第二十三條第三項ニ依リ之ヲ受理セサルヘシ若シ選舉ヲ終リタル後所願又ハ監督ニ因リ失權者ノ投票アルコトヲ發見シタルトキハ其投票ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ限リ第二十九條第三項ニ依リ其選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシムルモノトス

○千葉縣問合(三十四號)

選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合

本年三月中山口縣ヨリ公民權ヲ失ヒタル者ノ投票ノ義ニ付伺ニ對シ去月十八日付ヲ以テ其投票ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ限リ第二十九條第三項ニ依リ其選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行

ハシムルモノトスト御指令相成候處其投票ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合トハ假令ハ甲ハ六十票ヲ得テ當選シ乙ハ五十九票ノ得ルモ甲ヨリ一票少敷ニシテ當選セサル場合又ハ甲乙投票ノ數相同キヲ以テ年長者ノ甲ヲ取り當選ト爲シ若シハ同年ナルヲ以テ掛長自ラ抽籤シテ甲ヲ當選ナシタル場合ニ於テ失權者ノ投票一票アリトスルハ其選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘキモノト被存候得共爲念及御問合ニ候間至急御回答有之度候也

縣治局長回答(三十四號)

選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ノ一例御問合ノ處右ハ御見込ノ通ト存候

○石川縣伺(三十四號)

選舉通告ノ不完全ヨリ生ス所願

町村制第十八條第二項ニ依リ撰舉人名簿縦覽ニ際シ縦覽期日中該名簿ニ登録ヲ申立ルモノアリ町村長ハ裁決ニ依テ之ヲ撰舉名簿ニ登録シテ町村内ニ公告セリ此登録ニ隨フテ撰舉等級ニ異動ヲ來シ即一級選舉人ニシテ二級選舉人トナルモノアリ而シテ其等級ノ異動ヲ受ケタル選舉人ニ對シ通告方不完全ノ爲メ選舉人ハ選舉會ノ當日自己ハ一級選舉人(訂正前即縦覽ノ節名簿等級ニ從ヒ)ナリト信認シ公告ノ日時ニ從ヒ選舉會場へ出頭シタルニ二級ノ選舉ハ既ニ結了セサルヲ以テ(法文

ノ通二級ノ選舉ヲ先ニスルコ依ル投票ヲ受理セス是レ全ク本人ノ通告ノ不完全ナルヨリ選舉人
 ナシテ其權利ヲ執行スルコ得サラシメタルモノナリ右ハ大ニ選舉權ノ得失ニ關係アルヲ以テ該
 選舉ハ無効トシ之ヲ取消スヘキヤ又法文ノ規定ニ抵觸スル麻大キキヲ以テ通知ノ責任アル町村長ヲ
 懲戒スルコ止マル義ニ候哉目下該當ノ事件ニシテ縣參事會即常廳ニ該選舉破毀ノ請求ヲ訴願スル
 モノ之レアリ疑義ニ涉リ候ニ付相伺候

指令(二十三年三月三日) 附

選舉効力ニ關スル件右ハ無効トスヘキ限リニアラス

○三重縣問合(二十三年三月十日)

無資格者選舉名簿ニ登錄セラレ選舉ヲ行ヒタル片會ノ有無

町村會議員選舉權ナキモノ誤テ選舉名簿ニ登錄セラレタル選舉ヲ行ヒタルヲ發覺シタルトキハ三
 月廿五日山口縣伺末項指令ト同シク取消スヘキ歟

縣治局長回答(二十三年三月十四日)

選舉權ノナキモノ選舉ノ行ヒン件選舉結果ニ與動ヲ生スル片ハ御見込ノ通ト存ス

○長崎縣問合(二十三年三月十日)

議員辭職ノ爲メ町村會成立セサルトキ訴願裁決

縣下南佐久郡内山村會議員ハ全員辭職セシヨリ右選舉ノ爲メ選舉人名簿ヲ調製シ町村制第十八
 條ニ依リ縦覧ニ供セシニ關係者ニ於テ同期限内ニ選舉權ノ有無ニ付訴願セシモノアリ然ルニ之カ
 裁決ナラスヘキ機關未ク成立セズ然レ之ヲ裁決シ選舉前十日ヲ限リ修正スヘキハ修正ヲナシ以
 テ確定名簿ト爲サ、ルヲ得ス此場合ニ在テハ同村ハ當時代議ノ機關未ク全ク備ハラサルモノニ付
 町村制第三十七條第二項町村會ノ設ケナキ云々ニ準シ村長之ヲ裁決スヘキ手將テ議院改選ニ出テ
 クルト否トヲ調査シ制第四十五條及第百二十三條ニ準シ郡參事會代テ之ヲ裁決スヘキ手

縣治局長回答(二十三年三月十日)

前議案スルニ

- 一 議會ノ解散ヲ命セラシメトキ改選議會ノ集會スル迄ノ場合(第百二十四條)
 - 一 町村會ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサル場合(第百二十三條)
 - 一 議員除名減少ノ爲メ町村會ヲ開シ能ハサル場合(第四十五條)
 - 一 議員三分一以上辭職補欠選舉迄ノ場合(別註參照例略ス)
- 前項ノ場合ニ於テハ郡參事會ノ之ヲ代議スルハ法ノ明又及前例有之候得共本件ノ如キ議員ノ至

員未シ辭職シ議會ノ形体更ニ存セス前項トハ事實其趣ヲ異ニシ法文中別ニ準據スヘキ條項ナシト雖モ監督上郡參事會代テ之ヲ議セサルヲ得サルモノト存候因テ左案回答相成可然哉前例無之ニ付仰裁

本年十月三十日甲第二九二號御照會選舉權ノ有無ニ付訴願裁決ノ義ハ郡參事會代テ之ヲ裁決レ可然存候此段及回答候也

○東京府伺(二十二年十月十六日)

名簿確定後二ケ年ノ制限ヲ特免シタルモノ投票

市町村議員選舉人名簿確定後市町村會ノ議決ヲ以テ市町村制第七條ニ定ムル二ケ年ノ制限ヲ特免シ將來市町村公民トシタル者アリ然レモ確定名簿トナシタル後ニ之ニ加フルヲ得ス從テ其名簿ニ登錄セラレタル者ヲ記載シタル投票ハ之ヲ無効トスヘキ乎

指令(二十二年十月十六日)

市町村會議員選舉ノ件確定名簿ニ登錄セラレタルモ被選舉權ヲ有スルモ妨ケナシ

○兵庫縣伺(二十二年十月二日)

選舉會閉會後二級選舉ニ誤リアリ改選スルトキ取扱方

町村會議員選舉會閉會後二級選舉ニ誤リアツテ改選ヲナストキハ一級選舉モ俱ニ取消シ之ニ反シテ一級選舉ニ誤リアツテ改選ヲ爲ストキハ二級ニ及サス一級ノミ取消然ルヘキヤ

指令(二十二年十月二日)

選舉取消ノ件ハ單ニ其級ニ止ムヘキモノトス

○富山縣問合(二十二年四月二十二日)

町村制二十條選舉掛選任

町村制第二十條ノ選舉掛ハ各級毎ニ選任スヘキヤ

縣治局長回答(二十二年四月二十二日)

去ル二十日照會選舉掛ハ各級總体ニ一ノ選舉掛ヲ選任スルモノト存ス

○千葉縣問合(二十二年五月二日)

選舉掛選任

町村制第二十條ニ選舉掛ハ臨時ニ選舉人中ヨリ町村長之ヲ選任スト有之候處茲ニ一級選舉ト二級選舉ト日ヲ異ニシテ開會シタル場合ニ於テ其選舉掛ヲ選任スルニハ一級選舉ノ選舉掛ハ一級選舉人中ヨリ二級選舉ハ一級選舉人中ヨリ撰任スルハ穩當ナリト雖モ依令ハ一級選舉ノ撰任掛ヲ選任

スルニ一級選舉人中適任ノ者ナレト認ムルハ二級選舉人中ヨリ撰擧スルモ妨ナキヤ
縣治局長回答(五月十六日)

撰擧掛撰任方ハ御見込ノ通

○岩手縣問合(五月十四日)

撰擧掛ハ各級通シテ撰任スルモ妨ナキヤ

町村制第二十條ノ撰擧掛ハ兩級ヲ通シテ撰任スルモ以各級毎ニ撰擧掛ヲ撰任シ選舉録等ハ各級限
リ調製スルモ妨ケナキ義ニ候ヤ

縣治局長回答(五月十四日)

撰擧掛ハ同級ノモノニ限ラス各級ヲ通シテ撰任シ選舉録ハ各級毎ニ調製スヘキ義ト存ス

○千葉縣問合(五月十二日)

選舉會場ニ豫防ノ爲メ警察官ノ臨場ハ差支ナキヤ

町村制第二十一條ニ選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルヲ得スト有之候得共選
擧掛長ハ會場ノ取締ニ任ズルヲ以テ仮令目前租税等ノ事無之モ右豫防ノ爲メ豫メ警察官ノ臨場ヲ
求メ入場セシムル義ハ不相成義ニ候哉

縣治局長回答(五月十四日)

御見込ノ通豫防ノ爲メ警察官ヲ入場セシムルハ不相成義ト存候

○栃木縣問合(五月十二日)

町村役場吏員撰擧會場ニ入場スルヲ得ルカ

町村制第二十一條ニ選舉開會中ハ撰擧人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルヲ得スト有之候得共町
村役場吏員即現今舊戸長役場ノ用掛等ヲ選舉掛助手トシテ會場ニ入ルニハ本條ノ精神ニ悖ラサ
ル様相考候得共多少疑問有之候ニ付貴官ノ御意見承知致度此段及御照會候也
縣治局長回答(五月十三日)

町村役場吏員撰擧事務取扱ノ件差支無之義ト存候此段及御回答候也

○大分縣問合(五月十四日)

撰擧權ナキモノ入場投票代書セシハ撰擧會ノ効力

町村議員選舉ノ際選舉權ナキモノ選舉會場ニ入り居ルヲ認メ直ニ之ヲ退場セシメタリ然ルニ該人
退場以前ニ在テ選舉人ヨリ投票スヘキ人名ヲ指示代書ノ依頼ヲ受テ代書セシテアリテ其證據判明
シ又撰擧人ニ於テ自己ノ依頼セシテ代書投票ニ相違無之旨申立ヘモノ有之候處右投票ノ爲メ選舉

ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ於テハ無論該投票ハ無効トシ棄却スヘキ者ト相見込候得共聊カ疑義ニ涉リ候ニ付爲念及御問合候也

○岩手縣問合(二十二年)

代書投票 義ニ付御問合ノ趣了承右ハ訴願ニテモ起リタル場合ニアラサレハ敢テ穿鑿スルノ必要モ無之事ニ被存候良シ又訴願アリタリトスルモ敢テ該投票ヲ無効トスル程ノ事モ無之義ト存候尤モ該投票ヲ無効トスル場合アリテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スヘキトキハ選舉ヲ無効トスヘキ義ト存候此段及御回答候也

○岩手縣問合(二十二年)

選舉權ヲ有スルモノ他級選舉會場ニ入場差支ノ有無

町村制第二十一條ニ選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリテ選舉會場ニ入ルヲ得スト有之候ニ付テハ選舉人タルモノハ其等級ノ何タルニ拘ハラヌ互ニ他級ノ選舉會ニ入場スルヲ得サル義ニ可有之哉

○岩手縣問合(二十二年)

縣治局長回答(二十二年) 選舉權ヲ有スルモノハ他級ノ選舉會ニ入場スルヲ得ル義ト存ス

○青森縣問合(二十二年)

選舉人氏名記載ノ投票

町村制第二十條第一項但書ニ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルヲ得ストアリ然ルニ受理シタル投票ニシテ開緘ノ際中ニ入レタル投票ニ選舉人ノ氏名記載シタル者アルハ之ヲ無効ト爲スヘキ哉 指令(二十二年四月一日)

伺ノ通

○熊本縣村會議長伺(二十二年四月一日)

自選投票

村長ヲ選舉スルニ當リテ選舉被選舉權ヲ有スルモノ自身ニ自身ヲ投票セタルモノアリ此事差問ナキモノト決シ然ルヘキ哉

書記官ヨリ縣知事ヘ回答(二十二年四月一日)

上益城郡竜野村々會議長ヨリ電報ニテ自身自身ヲ村長ニ選舉シタルモノ、可否ヲ大臣ヘ伺出タル所指令ニ及ハラス但事柄ハ差支ナシト存ス其旨御傳達アリタシ

○兵庫縣問合(二十二年五月十三日)

投票函及投票用紙

市制第二十二條但書ノ投票函ハ其蓋ヲ開シコアラサレハ在中ノ投票ヲ取出スル能ハサルモノヲ用
 ニキ管ノ處若シ選舉中蓋ヲ取除キ又ハ蓋ナキ函ヲ以テ投票函トナシタル場合ニハ別ニ定規ニ違
 ハサルモノト見做シ選舉ヲ取消サレモ不苦哉但投票中投票函中ヨリ投票ヲ取出シ又ハ他ノ文書
 ナ投入シタル場合ノ如キハ無論無効ノ撰舉ト心得可然哉

撰舉封ニ於テ投票用紙ニ番號ヲ付シ置キ名簿ヲ製シ付與セシ投票ノ番號ヲ記載シ何番ハ其ノ投票
 シタルヲ知ルヲ得ル場合ニ於テハ無記名投票ノ精神ニ背ルヲ以テ其名簿ハタトヘ開札前選舉人ノ
 面前ニ密テ燒却スト雖モ撰舉規定ニ違フモノトシ選舉ヲ取消ス義ト心得可然哉

代理者ヲ以テ投票シタルモノアルヲ發見シ前項投票ノ番號ニ依リ直ニ其投票ヲ取出シ棄却セリ
 右ハ一旦投票センモノハ仮令無効ノ投票タルヲ發見スルモ投票函中ヨリ之ヲ取出シ得ヘキモノニ
 無之ト心得可然哉

撰舉封ニ於テ三級選舉ニ一二級ノ選舉人ノ入場ヲ許シタルトキハ事ニ害ナキモ選舉ノ規定ニ違背
 シタルモノト認ムヘキモノナル哉

指令(廿二年)第...

投票用紙ニ番號ヲ用ヒ及投票中蓋ヲ取除ケ取出シタル場合ハ無効トス其他ハ事實ニ就キ審査スル
 ナ要ス疑義アルハ詳細事實ヲ具シ尙伺出(シ)

○長野縣問合(二十二年)

投票ノ外封ニ實印ヲ捺シタルモノ

町村會議員選舉ニ際シ投票外封ニ實印ヲ押シタルモノアリ右ハ其何人タルヲ判明シ得ルト否トコ
 拘ハラス其投票ハ無効トスヘキヤ

縣治局長回答(二十二年)

投票ノ外封ニ實印ヲ押シタルモノノ件御見込ノ通ト存ス

○熊本縣問合(二十二年)

投票被選人名變更

町村制第二十二條第二項ヲ終ヘタル投票中ノ被選人名ヲ開函被選人ヨリ取消又ハ變更シテキ旨申
 立ルモ元匿名投票ナレハ調査ニ差阻ユルニ付受理スヘカラスヤ

縣治局長回答(二十二年)

投票中ノ被選人名取消變更等ノ件御見込ノ通ト存ス

○福島縣伺(二十二年)

無効投票

町村制第二十二條第二項ノ一ヨリ三ニ至ルノ投票ハ假令其投票ニ列記ノ人名中一名又ハ二名等幾分ノ三右三個ノ場合ニ該當シ其他ノ人名ニハ毫モ關係ナシト雖ヒ一投票中ノモノナルヲ以テ全投票ヲ無効ト爲ス可キモノニ候哉

指令(二十二年一月)

投票ニ列記ノ人名中本制第廿三條第二項ノ一二三ノ事項ニ該當スルモノ、ニ無効トス

○和歌山縣伺(二十二年)

第三條 市制及町村制第二十三條末項ニ依リ選舉掛ニ於テ投票ノ効力ニ關シ假ニ無効ト議決セシ廉ニ對シ關係人ニ於テ訴願ヲ爲シ有効トナリタル爲メ更ニ投票多數ヲ占ムルモノアル場合ニ於テハ異ノ假議決ハ無効タルヘキニ付他ノ當選者ト假定セルモノニモ影響スヘキニ依リ之ヲ裁決スルニハ假議決全体ニ及ホシ總テ之ヲ取消シ更ニ該選舉中有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ順次定員ニ滿ル迄ヲ取り之ヲ議員ト定ムル迄ヲ裁決スヘキモノナル乎

指令(二十二年一月)

第三條 訴願ノアリタル部分丈裁決スヘシ但シ其裁決ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルモノハ其異動丈ハ市町村長ニ於テ更正スヘキモノトス

○神奈川縣伺(二十二年)

代理ノ投票

制第二十四條二項ニヨリ代人ヲ出スニ幼年戸主ノ代人其後見人タルトキ會社ニ於テ其社代表(會社ノ定款ニヨル)スル社長等ヲ代人トシタルトキハ委任狀ヲ要セサル義ト心得可然哉

指令(二十二年一月)

後見人タル證左及社長其代人タル証ヲ有スルハ委任狀ヲ要セス

○福島縣伺(二十二年)

後代人投票

町村制第二十四條第二項ニ若シ其獨立ノ男子ニ非ル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ズ代人ヲ以テスヘシトナリ然ルニ未成年者若クハ白痴瘋癲其他禁治産者等ノ後見人アルモノハ其後見人ノ資格獨立ノ男子タルニ於テハ後見人選舉人ト其性質ヲ異ニスルモノニ付被後見人ノ委任狀ヲ要セサルハ勿論ニ候哉又後見人事故アリテ代人ニ托スルハ其後見人ヨリ委任狀ヲ附與スヘキトハ亦

勿論ト心得可然哉

指令

前段後段其伺ノ通

○千葉縣問合(二十二年四月二十六日)

選舉分會ノ選舉掛責任

町村制第五條選舉分會ノ選舉掛ハ分會ノ選舉ヲ了シ投票函ヲ本會ニ送致スルヲ以テ其任ヲ終リタルモノノ被存候得共或ハ投票函ヲ本會ニ送致シタル後ニ於テモ本會ノ選舉掛ト同シノ選舉會ニ參列シ制第二十三條末項ノ場合ニ於テ可否ノ議決ニ加ハルコトヲ得ヘキヤノ疑議相生候ニ付一應及御問合候

縣治局長回答(二十二年四月廿五日)

選舉分會選舉掛ノ職務ハ投票ヲ受理シ之ヲ本會ニ送致スルニ止マルヘキニ付受理ニ關スル事項ハ議決スルモ効力ニ關スル事項ニ付本會ノ議決ニ加ハルヲ得サル儀ト存候

○長崎縣伺(二十二年三月廿一日)

制第二十五條二項町村長ノ選任スル代理者選任方

町村制第五條第二項町村長ノ選任スル代理者ハ町村會議員ノ内ヨリ選任スルモ亦町村吏員ノ内ヨリ選任スルモ制限ナキ乎

指令(二十二年三月二十日)

法律上制限ナシト雖モ町村ノ事務ニ熟練スル者ヲ選任スルヲ要スルニ付成ルヘシ助役若クハ區長ノ内ニ就キ之ヲ選任セシムヘシ

○鹿兒島縣伺(二十二年三月廿一日)

選舉分會ノ選舉掛長

市制町村制施行ニ際シ議員選舉原簿並人名簿調製其他議員選舉準備ハ訓令第三五六號ニ依リ本縣ハ現在戶長ヲシテ該事務ヲ執行セシムル等ニ有之就テハ町村制第二十五條ニヨリ選舉分會ヲ設ケタル場合ニ於テハ其第二項ノ選舉掛長ハ用掛中ヨリ選任スルモ妨ケ無之儀ニ候哉

指令(二十二年三月二十六日)

伺ノ通

○長野縣照會(二十二年八月二十二日)

當選告知

第二十八條第一項ノ告知ハ必ス當選者本人ノ知得ヲ要スル義ニ候哉
 果シテ然ラハ當選者旅行不在等ノ場合ニ在テ第一項第二項ノ申立期限ヲ起算スルニ當リ本人ハ告知ニ要シタル往復ノ時日ハ里程ノ遠近ニ從ヒ扣除スヘキ義ニ候ヤ

前項ノ告知ヲ得タル當選者ニシテ五日以内ニ其職ヲ辭シ又ハ同條第二項ニ依リ而シテノ選舉ニ當リタルモノアルキハ孰レカ一級ニ欠員ヲ生スヘシ此欠員ハ更ニ選舉ヲ行フヘキ手將テ選舉確定日限中ハ投票ヲ存シ置キ次点者ヲ取ルヘキ義ニ候哉將テ選舉確定中ハ投票ヲ存シ置キ次点者ヲ取ルヘキ義ニ候哉

総務局長回答(三十四號)

前段及後段一節御見解ノ通

○福島縣照會(三十三號)

當選告知ニ要スル日子計算方

町村制第二十八條第一項ノ告知ハ必ス當選者本人ノ知得ヲ要スルヲ以テ若シ當選者旅行不在等ノ場合ニ在リテ第一項第二項ノ申立期限ヲ起算スルニ當リ本人ハ告知ニ要シタル往復ノ時日ハ里程ノ遠近ニ從ヒ扣除スヘキ旨省議御決定ノ趣昨年九月廿四日縣第三八號ヲ以テ御省書記官ノ御通牒

モ有之候處其里程ノ遠近ニ依リ時日ヲ扣除スルハ各選舉掛ノ適宜定ムル處ニ依ルモノトモハ起算上勢區々ニ出候歟ト被考候共右ハ何ヲ以テ起算上之カ標準ト爲スヘキモノトノ御省議モ有之候義ナル歟

縣治局長回答(三十三號)

實地ノ狀況ニ依リ適宜相定メ可然モノト存ス

○香川縣照會(三十三號)

當選告知

町村制第二十八條第一項ノ選舉ヲ終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知スヘシ云々トアルハ選舉ヲ行ノ當日直ニ告知スヘキモノニシテ即チ同第十九條第二項ニ依リ一ニ級選舉ヲ同日ニ執行シ難キ場合ハ其選舉當日毎ニ區別シ各別ニ告知可致モノニ候哉果シテ然ランニハ第二十八條第二項ニ該當スル當選者ニ在テハ其告知ノ日子ヲ異ニスルヲ以テ同期限内諾否ノ申立ヲナスモノトスルルハ自然一日ノ差ヲ生シ少シク穩當ヲ欠クモノ、如シ就テハ其選舉ヲ終リタル後リ有之候ハ即總体ノ選舉ヲ終リタル後ニシテ仮令選舉ノ日子異ニスルモ一ニ級當選者共一同ニ告知シ差支無之哉

縣治局長通牒(二十二年)

一二級選舉同日ニ執行シ難キ場合ニ於テ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知スルハ總体ノ選舉ヲ終リタル後一二級當選者共一同ニ告知スル義ト存候

○兵庫縣問合(二十二年)

當選者所在不分明ナルトキ

町村會議員當選者旅行中ニテ所在不分明ナルハ同制第廿八條第二項ニ依リ處分スヘキヤ

縣治局長回答(二十二年)

去ル四日電報照會當選職員旅行中ノモノ處分ノ件ハ一時分カラサルモノハ其分明ヲ待ツテ通知ス

○青森縣問合(二十二年)

郡長又指命撰舉人ノ訴願ヲ受ケタルトキ取扱方

郡長又ハ指命官吏ハ第二十九條ニ依リ撰舉人ノ訴願アリタルハ之ヲ受理スルニ止リ其裁決ハ追

テ開ク處ノ町村會ニ任スル義ト心得可然哉

指令(二十二年)

伺ノ通

○兵庫縣問合(二十二年)

町村長撰舉前町村議員撰舉ニ對シ訴願アリ選舉無効ト決シタルトキ町村長助役ノ選舉ノ効力

爰ニ町村會議員選舉會取消ノ訴願起リタル場合ニ就テ其裁決前町村長及ヒ助役ヲ選舉シ然ル後當

該選舉會ヲ取消スコトニ裁決ナリタルモノ之アリ右ハ假令其撰舉會ヲ取消スコトニ裁決ナンタル

モ其未ダ取消サレハ純然タル職員ノ資格ヲ有スルモノナルヲ以テ町村長及ヒ助役ノ撰舉ハ有

効トシ存續スヘキモノナルヤ果シテ然ラハ其取消サレハ前町村會ニ於テ議決セシモノハ其事件ノ

何タルヲ問ハス已ニ執行セシモノト否トヲ論セス總テ議決ハ有効ノモノナルヤ此段御問合ニ及フ

縣治局長回答(二十二年)

町村會議員選舉會取消ノ件總テ御問合ノ通ト存ス但町村長及助役ノ認可前ニ係ルモノハ認可ヲ與

ヘス更ニ選舉ヲナサシムル方穩當ナルヘシ御注意迄ヲ申添フ

○栃木縣伺(二十二年)

選舉ノ効力ニ關スル訴願日限

町村制第廿九條第二項ニ選舉人選舉ノ効力ニ關スル訴願ハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ町村長ニ申立

ルノ規定有之其訴願ハ同制第三十七條第一項ヨリ町村會ニ於テ始審ノ裁決ヲ下スヘキハ當然ノ處當路者ノ誤解ヨリ町村會議員ノ撰舉ヲナルニモ拘ハラヌ同制第三百一十一條ノ指命官吏即戸長町村會ニ依リ裁決候モノ有之撰舉人此裁決ニ不服ヲ唱ヘ郡長ニ訴願セシ處郡長ハ舊戸長ノ爲シタル裁決ハ無効ノモノナルヲ以テ裁決ノ限ニアラザル旨裁決セリ此場合ニ於テハ撰舉人ハ其裁決ノ旨趣ヨリ同制第二十九條第一項ノ期限ヲ經過スルモ其期限ニ拘ハラヌ繼續事件ト見做シ町村會ヘ更ニ訴願ヲ爲シ得ヘキ義ニ有之候哉相伺候也

指令(二十三年五月二十日)

郡長裁決ノ日ヨリ更ニ第三十九條第一項ノ申立期限ヲ起算シ其期限内ニアリテハ更ニ町村長ニ申立町村會ノ裁決ヲ受クルコトヲ得

○長野縣伺(二十三年)

町村吏員選舉ニ關スル訴願提起者

町村吏員選舉ニ關シ訴願ヲ爲スモノアリ右吏員選舉ニ對シテハ關係者ヨリ訴願スルヲ得サル義ニ候哉

前項若シ訴願スルヲ得サル者トセハ其訴願及裁決ノ手續ハ町村制第二十九條及三十七條ヲ適用

スヘキ義ニ候哉

指令(二十三年)

事實ニ就キ伺出ヘシ

○廣島縣伺(二十三年)

訴願期限計算

町村中訴願期限ノ計算ハ訴願書到達ノ日ヲ以テ算シ途中天災時變ノ爲メ延着スルハ其事實ニ就キ斟酌シ可然哉

指令(二十三年)

天災時變ノ爲メ期限ヲ經過シタル場合ハ其旨訴願ニ於テ証明スルヲ得タルハ現ニ天災時變ニ依リ訴願ノ提出ヲ妨ケラレタル日數ヲ扣除シ期限ヲ計算スヘシ

○茨城縣伺合(二十三年)

訴願提起ノ日限計算

町村制第二十九條ニ前略選舉ノ日ヨリ七日以内ニ云々ト有之候處縱令ハ二級選舉ヲ五月一日ニ一級選舉ヲ同日ニ執行シタル場合ニ於テハ二級選舉ノ効力ニ關スル訴願ハ一日ヨリ一級選舉ニ關

スル訴願ハ同日ヨリ起算スルニ決

縣治局長回答(三十三號)
御見込ノ通ト存候

○栃木縣問合(七十三號)

郡長ニ於テ郡參事會ニ付シテ行フ處分ノ件

町村制第二十九條第二項ニ郡長ニ於テ選舉ノ効力ニ關シ異議アルルハ訴願ノ有無ニ拘ハラス郡參事會ニ附シテ處分ヲ行フヲ得ル明文有之其處分ハ同條第三項ノ規定ニヨリ其選舉全体ヲ取消スルカ或ハ當選人ノ内或者ノ當選ヲ取消シ候二者ノ外他ニ分方無之事ト心得可然乎果シテ然ラハ假令ハ町村會議員選舉ニ際シ有効投票ヲ無効ト爲シ當選人ヲ定メシカ如キハ選舉ノ定規ニ違背シタルモノト爲シ其選舉ヲ取消シ可然乎又ハ是等ノ如キハ單ニ其無効トナセシ投票ヲ有効ニ復シ當選者モ定メ可然哉

縣治局長回答(三十三號)

町村制第二十九條第二項郡長ニ於テ郡參事會ニ付シテ行フ處分ノ件選舉若クハ當選ヲ取消ノミニ限ラズ無効トナセシ投票ノ再調査ヲナン當選ヲ定メシムルコトヲモ包含スル義ト存ス

○三重縣問(三十三號)

町村制第二十九條同百三十條ニ依リ郡長ニ於テ行ヒタル處分ニ對シ訴願出訴ノ件

茲ニ町村會議員選舉ニ當リ選舉權ナキモノ投票シタルト覺察セシニ依リ郡長ニ於テ町村制第二十九條第二項ノ監督權ヲ以テ其選舉ヲ取消シ(無資格投票ノ取捨ニヨリ選舉)タルモノ有之候處其選舉人郡長ノ取消處分ヲ不當トシテ更ニ縣知事ニ訴願セリ抑モ此訴願タルヤ其性質ヲ糾セハ選舉人ノ効力若クハ公民權ノ消長ニモ關スヘシト雖元來廿九條ノ一項ヨリ三十七條ノ一項ヲ經テ同條第三項ニヨリ成立タルモノトハ其趣ヲ異ニシ全ク二十九條ノ二項ニ起因セシモノナレハ其訴願ハ第二百十條ニヨリ呈出シタルモノト認ムヘキニ付縣知事ノ資格ヲ以テ之ニ判決ヲ與ヘタリ然ルニ訴願人猶此判決ニ不服アリトセハ内務大臣ニ訴願スヘキ歟將テ行政裁判所ニ出訴スヘキ歟蓋シ行政裁判所ニ出訴ヲ許スモノハ必ズ法律上明文アル場合ニ限ル等ニ付前縣知事ノ判決ヲシテ第三十七條第三項ニ依ルヲ得ルトセサル限リハ決シテ行政裁判所ニ出訴スルノ途ナキモノトス而シテ其縣知事ノ裁決ハ果シテ第三十七條ノ三項ニ依ルヲ得ヘキカ否ヤテ攻究スルニ本項(第三十七條第三項)カ選舉ノ効力ニ關スル訴願ニ對シテ活動スル區域ハ第二十九條ノ一項ニ依リ選舉人町村長ニ訴願ヲ提起シタルモノニ基カサルヘカラス如何トナレハ本項(第三十七條三項)ハ第一項ヲ條

受ケルモノニシテ其第一項ニハ選舉効力ニ關スル訴願ハ町村會之ヲ裁決ストアリ其區域ヲ除
越スヘカラサレハナリ猶他語ヲ以テ之ヲ云ヘハ三十七條ノ一項ト三項トハ接續セルモノニ付其一
項ニ有セザル憲法ニ三項ニ有スル箇ナシト云フカ如シ加之本項(三十七條ノ三項)ニ府縣參事
會ノ裁決ト明記シアルニモ拘ハラス之レハ縣知事ノ裁決モ含ムト附會セサル可ラス之レハ反シテ
本件即第二十九條ノ第二項ニ起因シタル訴願ヲ以テ第百二十條ニヨリ結局内務大臣ヘ訴願スヘキ
モノトセハ秩序整然法條分明ナルモノアリ依テ本件ハ内務大臣ヘ訴願スルノ外更ニ途ナキモノト
認メ可然哉

前項果シテ内務大臣ヘ訴願シ行政裁判所ヘ出訴スルヲ許サハルモノナルヘキニモ拘ハラス縣知事
ヲ被告トシテ之ヲ該裁判所ニ出訴シタルモノアリ此場合ニ於テ縣知事普通ノ答辨ヲ爲スルハ
其出訴ヲ是認シタル義ニ可相成ニ付單ニ行政裁判ヲ仰クヘキモノニアラス所謂管轄違ノ訴ナル旨
ヲ答辨スルニ止マリ事件ノ當否ハ一切之ヲ答辨不致候テ可然哉

指令(三十三號)

制第二十九條第百三十條ニ依リ郡長ニ於テ行ヒタル處分ニ對シ不服アル者ハ縣參事會ニ訴願スル
ヲ得ヘシ縣知事ニ於テハ第三十七條三項第百三十條ニ依リ之ヲ裁決スヘキモノトス其裁決ニ不服

アル者ハ行政裁判所ヘ出訴スルヲ得

○千葉縣例(三十三號)

當選ヲ無効トセシタル町村會ニ於テ裁決シタル事件ノ効力

町村制第二十九條第二項ノ處分若クハ第三十七條ノ裁決ニ依リ其選舉ヲ取消シ又ハ其人ノ當選ヲ
取消シタルトキハ即チ其當選ヲ無効トナスヘキハ勿論ニ候得共其當選無効ノ議員若クハ當選無効
議員ノ加ハリタル會議ニ於テ己ニ議決シタル事件及選舉シタル吏員等ハ有効ナルヘキ手將テ無効
トシ更ニ議決若クハ選舉セシムル議ニ候哉

指令(三十三號)

前段伺ノ通

○高知縣例(三十三號)

議員一個ノ訴願

縣下吾川郡仁西村長選舉ニ付人民爭論ノ爲メ公衆ノ利益ヲ害スルト認ムルモノアリ郡長ニ於テ選
舉會停止中ナルニ拘ハラス僅議長ヨリ召集開會ニ選舉ヲ成シタルヲ以テ郡長ハ監督官廳ノ命令ニ
違ヒ日手續上誤リアルモノトシ該選舉會ヲ取消シタリシニ議員數個人ヨリ之ヲ不當トシ訴願ヲ爲

セリ右ハ村會ヨリ訴願ヲ爲スハ格別議員一巳人ニ於テハ訴願シ得サルモノト存ス如何御答ヲ乞フ
縣治局長回答(三十二年三月三日)

仁西村長選舉ノ件村會ノ決議ニ依リ村長ヨリ訴願スルノ外議員一巳人ノ資格ヲ以テ訴願スルヲ得
サル義ト存ス

○宮崎縣伺(三十二年三月三日)

町村會議員選舉

町村議員選舉ノ際即當選ヲ辞スルモノアリテ欠員ヲ生シ場合ニ更ニ補欠選舉ヲ行ハス次点者ヲ
以テ補欠職員トセシモノアルヲ發見セリ右ハ法ニ明文ナキニ依リ其儘据置手又ハ制第三十九條ニ
依リ處分シ然ルニキ哉

指令(三十二年三月三日)

町村會議員選舉ノ件制第二十九條三項ニ依リ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

○福井縣伺(三十二年三月三日)

名簿確定後町村長ニ於テ修正シ開會シヨル選舉會

選舉人名簿ハ町村制第十八條第二項ニ依リ之ヲ關係者ノ縦覽ニ供スル後ハ訴願ノ裁決ニ係ルモノ

ナ除ノ外ハ町村長ニ於テ自ラ其誤認アルヲ發見スルモ名簿ヲ修正スルコトヲ得サルモノニ有之然
ルニ町村長ニ於テ縦覽後(確定前後)選舉資格アル者一名若クハ數名ヲ名簿ニ登錄セサルヲ發見
シタルヲ以テ之ヲ名簿ニ登錄シ而シテ該名簿ヲ選舉ノ用ニ供シ全ク議員ノ選舉ヲ終了シタルモノ

有之右ハ町村長ニ於テ誤脱ノ人名ヲ名簿ニ追録セシハ所謂選舉ノ定規ニ違背シタルモノトシ制第
廿九條第三項ニ依リ其關係アル一級若シハ二級ノ選舉ヲ取消スヘキモノニ有之候哉又ハ假令名簿
ニ追録セラレタル本人ニ於テ實際選舉投票ヲ爲シタル者アルモ歸スル處選舉ノ結果ニ異動ヲ生セ
サル以上ハ代人投票アリシ場合ト同シク選舉ヲ取消スヘキ限リニ無之候哉

前條前段ノ如ク果シテ選舉ヲ取消スヘキモノトスルハ若シ名簿ニ追録シタルカ爲ニ毎級納税ノ
總額ニ異動ヲ來シ一級ノ者ヲ二級ニ繰下ケ又ハ二級ノ者ヲ一級ニ繰上タルモノアルトキハ其關係
ハ兩級全体ニ及フモノナルニ付斯如場合ニ於テハ總テノ選舉ヲ取消スヘキモノニ候哉
訓令(三十二年三月三日)

選舉取消ノ件第一條前段見込ノ通第二條見込ノ通

書記官通牒

本年八月廿六日付議丙第一二六號請訓選舉取消ノ件本日訓令相成候處右ハ法律ノ解釋ヲ請訓相成

ナルモノト認メ訓令相成タル義ニ有之固ヨリ法律上ヨリ論スルトキハ名簿ニ追録シタルハ選舉ノ
定規ニ違背シタルモノナリト雖モ實際ノ取扱ニ於テハ訴願ナキ場合ニ於テハ事實審ナキモノハ強
ク監督權ヲ以テ選舉ノ取消ヲ爲スコ及ハサル備ト存候此段及通牒候也

○岐阜縣問合(三十三号)

一級選舉補欠ノ爲メ一級選舉人ノミ記載セル名簿縱覽セシメタルモノ選舉ノ無効力

町村會議員中一級選舉ニ係ル者數名欠員ヲ生シ之レカ補欠選舉ヲ爲スノ場合ニ臨ミ一級選舉人ノ
ミ記載シタル名簿ヲ縱覽セシメ選舉終了候モノ有之右ノ如キニ級選舉ノ効力ニハ敢テ關係無之
義ト心得可然哉

縣治局長回答(三十三号)

選舉ノ効力ニ關係アル者ト存ス

○長野縣問合(三十三号)

選舉閉會後發見シタル公民權ナキモノ、選舉ノ効力

選舉人名簿調製ノ際一町村内其耕地ノ名義ヲ以テ地租ヲ納ムルモノヲ其耕地居住ノ人民五十余名
カ各自分納スルモノト見做シ誤テ之ヲ該名簿ニ登錄セ。縱覽期限内訴願ナキハ勿論當該吏員ニ於

テモ全ク正確ノ名簿ト信認シ選舉ヲ終了シ當選者定マリタル後ニ於テ始メテ右五十余名ノ公民權
ナキヲ發見シ。此場合ニ於テハ該選舉全体ハ取消スヘキモノナルカ將タ選舉ノ當時ハ其不都合
ヲ發見セサルノミナラス制規ノ手續ヲ履ミタル確定名簿ヲ以テ執行シタルモノナレハ今日ハ最早
取消スヘキモノニアラサルカ

指令

後段見込ノ通但當選者中資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ第三十條ニ依ルヘキモノトス

○福岡縣問合(三十三号)

町村條例改廢

町村制第三十一條ニ在ル町村條例トハ他ノ場合ノ町村條例ト大ニ其趣ヲ異ニシ新法實施ノ際那參
事會ノ認メテ町村會ヲ設ケス町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルヲ適當トナシタル場合ニ於テ那參
事會ハ之カ町村條例ヲ設ケ之ヲ其町村ニ發布スルノ主意ナリトセハ公民總會ヲ開キ自主ノ運動ヲ
働キタル後ニ到リ町村ニ於テ其條例ノ改廢ヲ必要トスルハ總會自身ニ於テ之ヲ改廢シ内務大臣
ノ認可ヲ受クヘキモノナル乎

總務局長回答(三十三号)

郡參事會ノ議決ヲ經サレハ之ヲ改廢スルヲ得ス

但總會ニ於テ改廢等ヲ必要トスルルハ其議決ヲ以テ郡參事會ニ其廢止等ノ處分ヲ請求シ其處分

ニ就キ不服アレハ訴願ノ手續ニ依リ之ヲ請求スルヲ得

○大坂府伺(二十二年四月)

公民總會ニ係ル町村條例ノ改廢

町村制第三十一條公民總會ニ係ル町村條例ハ内務大臣ノ許可ヲ經ルニ及ハサル乎

指令(二十二年六月)

内務大臣ノ指揮ヲ受ケルヲ要ス

○職務權限及處務規程

○彌島縣伺(二十二年四月)

明治十四年布告六號ハ町村制第三十二條ト抵觸ノ有無

宮城縣昨二十一年七月三十一日電報ヲ以テ明治十四年第六號布告ハ市制第三十條等ニ應用シ得ル

ヤノ旨伺出ニ對シ同年八月三日伺ノ通リト御指令相成候ニ付テハ右第六號布告ト町村制第三十二

條(市制第三十條)トハ互ニ抵觸セシメテ並ニ行ハルノ主意ト信認候處右應用ノ理由アル町村制第

三十二條從前特ニ委任セラレ云々トアルハ則チ前記明治十四年第六號布告ニ於テ既ニ已ニ委任セ
ラレタルニ該當スル意義ニ可有之哉果シタ然ラハ町村制施行以前々陳慣行ノ有無ヲ問ハヌ又其慣
行ノ毎歲間斷ナキト否トニ拘ハラヌ府縣會ハ隨時附托スルノ權利アルヘク町村會ハ其附托ノ每度
議決スヘキ義務アルモノト心得可然哉

指令(二十二年八月)

二十二年十二月續第一三四九號伺十四年布告第六號施行上ニ關スル件ハ伺ノ通

○福島縣伺(二十二年四月)

戶數割賦課ニ關スル件

本縣ニ於テ十五年度以降戶數割ハ明治十四年二月第六號布告ニ基キ縣會ノ決議ヲ取リ町村會ヲシ

テ各戶貧富ノ等差ヲ立テ賦課セシメ十九年度ニ於テハ縣令中ニ(戶數割ハ貧富ノ等差ヲ設ケ町村

會決議ニ依リ各戶ノ課額ヲ定メ徵收スヘシ)トノ明文ヲ掲ケ二十年度以降本年度ニ至ルマテ(戶

數割ハ貧富ノ等差ヲ立テ町村會ノ決議ニ據リ各戶ノ課額ヲ定メ賦課徵收スルヲ得)ト末文改正ノ

上令達セリ然レモ實際ハ十五年度以來無間斷管内一般等差ヲ設ケ賦課徵收シ來候然ルニ縣會ノ決

議ハ一年度限りノ効力ニシテ縣令モ亦隨テ年々發行セリ如此事實ナルモ町村制第三十二條從前特

ニ委任セラルトアルニ該當スル義ニ候乎

縣治局長回答(二十二年)

御見解ノ通りト存候

○岐阜縣問合(二十二年)

區會ニ於テ區内ニ係ル特別税目新設ノ町村條例設定稟請方

區會ニ於テ其區内ニ係ル特別税目ノ新設並同細則ニ關スル町村條例ヲ議決シ町村長ノ名義ヲ以テ許可ヲ稟請スル者有之右ハ一町村内ノ一部分ニ適用スル者ト雖モ町村制第三條一ヨリ町村會ニ於テ議決シ町村條例トシテ稟請セシムル方穩當ト存候ニ共爲念云々

縣治局長回答(二十二年)

區會ノ議決ヲ以テ村長ヨリ許可稟請ノ上裁令ヲ經テ町村條例トシテ發布シ可然義ト存候

○福島縣問合(二十二年)

町村會ニ於テ帝國議會ニ請願ノ議決ヲナスノ權アルカ

町村全体ニ關スル地租軽減帝國議會ニ請願ノ事ヲ議決スルノ權アリヤ

縣治局長回答(二十二年)

町村會カ地租軽減ヲ請願スルノ件ハ其權ナキモノトス

○福井縣問合(二十二年)

町村役場位置變更等ハ制第三十三條ニ包括スルカ

町村役場ヲ修築スル等ハ第三十三條第一項ノ二町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業トアルニ包含スヘキハ勿論ナレモ其建築借家等ノ都合ニ依リ規定ノ位置ヲ變更スルコトモ亦成文中ニ包括スルノ義ナル

指令(二十二年)

伺ノ通

○熊本縣問合(二十二年)

初回議選舉ノ効力ニ關スル訴願裁決

始メテ議員ヲ選舉シタルニ其効力ニ關スル第一次ノ訴願ハ右新選ノ議員ヲ以テ組織セル町村會之ヲ裁決スヘキヤ又ハ任命官吏之ヲ裁決スヘキヤ

縣治局長回答(二十二年)

議員選舉ニ關スル訴願裁決ノ件前段御見込ノ通りト存ス

○内務ノ部

職務権限及處務規程

○千葉縣伺(二十二年)

無効ト裁決セラレタル町村會ニ於テ選任セシ町村長及議員

町村制第二十九條第二項ノ處分若シハ第三十七條ノ裁決ニ據リ其選舉ヲ取消シ又ハ其人ノ當選ヲ取消シタルハ即チ其當選ヲ無効ト爲スヘキハ勿論ニ候得共其當選無効ノ議員當選無効議員ノ加ハリ會議ニ於テ已ニ議決シタル事件及選舉シタル吏員等ハ有効タルヘキ手將無効トシ更ニ議決若シクハ選舉セシムル義ニ候哉相伺候

指令(二十二年)

町村制疑義ノ件前段伺ノ通

○島根縣問合(二十二年)

町村制施行ニ際シ戸長ニ於テ受理シタル訴願ノ裁決

町村制施行ノ初ニ當リ町村會議員選舉人名簿縱覽期後選舉會開會迄ノ間ニ於テ制第卅七條ニ依リ公民權ノ有無ニ關シ元戸長ニ訴願スルモノアリ此場合ニ於テ元戸長ハ其訴願ヲ受理シ置キ追テ町村會議員ノ選定ヲ決テ之ヲ議決セシムヘキ筋ナルヤ將元戸長ハ制第三十一條ニ依リ直ニ之ヲ決裁シ可然ヤ

縣治局長回答(二十二年)

町村制施行ノ初ニ當リ訴願者ノ件ニ付御問合ノ趣願承右ハ前段御見込ノ通ト存ス

○島根縣問合(二十二年)

選舉ノ効力ニ關スル訴願提起者

郡長ニ於テ或ル村ノ村會議員選舉ハ其規定ニ違背シタルコトアルヲ認メ町村制第二十九條二項及三項ニ依リ其選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ關係者トシテ其郡長ノ處分ニ不服ヲ唱ヘ町村制第二百一十條ニ依リ縣參事會ニ訴願ヲ提出スルコトヲ得ヘキモノハ當初其選舉ヲ執行シタル撰舉掛長ニ限ルモノニシテ其村會又ハ村會議員若クハ他ノ選舉人ハ孰レモ無關係者コトテ訴願スルコトヲ得サルハ勿論ナル乎

縣治局長回答(二十二年)

撰舉ノ定規ニ背否如何ハ即チ撰舉ノ効力ニ關スルモノナレハ町村制第三十七條ニ據ルヘク此件ニ付テハ町村長又ハ選舉人ニ於テ訴願スルコトヲ得ル義ト存候

○大坂府伺(二十二年)

當選者ノ資格ニ付町村會ノ議決ニ對スル訴願ノ對手者

町村制第三十條ニ依リ當選者ノ資格ニ付町村會ニ於テ其要件ノ有無ヲ議決シタルモ之ニ不服アルモノハ同第三十七條第三項ニ依リ郡參事會ニ訴願スヘキヤ又ハ同第三十七條第一項ニ町村住民及公民タル權利ノ有無(中略)ニ關スル訴願ハ町村會之ヲ裁決ストアルニ依リ町村長ニ訴願スヘキ義ナルヤ

指令(二十二年六月廿日)附

町村制ノ件後段伺ノ通

○福岡縣伺(二十二年五月廿日)附

選舉全体取消ノ訴願ニ對スル裁決ハ新舊何レノ議會ニ於テスルカ
 下座郡新町村議員選舉ノ末當選議員ハ何レモ請書ヲ出シタル後選舉全体ノ効力ニ關シ訴願シタル者アリ右ハ議員部ヲ請書ヲ出シタル末ナルモ其議員選舉ヲ無効トスル訴願ナレハ新町村會ノ組織未ダ成ラザルモノトシ舊町村會ニテ議決セシムヘキヤ將々制第四十五條ニ依リ郡參事會ニテ處分スヘキヤ

指令(二十二年五月廿日)附

選舉ヲ終リタル場合ニ於テハ新町村會ノ組織ハ己ニ成ラザルモノト心得ヘシ

○福岡縣伺(二十二年五月廿日)附

町村長助役ニ當選シタル者ノ公民權ノ有無ニ關スル訴願

町村長助役選舉ノ際ニ於テ當選人權利ノ有無ニ異議アルモハ制第三十七條ニ依リ處分スルモノト心得ヘキヤ

(參照)縣治局長ヨリ照會ニ對スル縣知事ノ回答

町村長助役選舉ノ際當選者權利ノ有無ニ異議アル場合處分方ノ義ニ付本月八日電報ヲ以テ相伺候處不分明ニ付事實詳細回答スヘキ旨電報ヲ以テ御照會ノ趣致了承候右ハ仮令ハ十二名ノ村會議員ニシテ町村長ヲ某甲某ニ投票セシモノ六名有之候處反對ノ投票ヲ爲シタル者ハ其當選シタル某甲某ハ公民權無之ト申立タル場合及右誤謬ナルコトヲ會議ニテ自認シ之ヲ取消シタルニ其當選シタル某甲某ハ權利アルモノト訴出タル場合ニ有之候
 指令(二十二年五月廿日)附

町村長助役ニ當選シタル者ノ公民權ノ有無ニ付町村制第三十七條ニ依リ訴願スルコトヲ得

○新瀉縣伺(二十二年五月廿日)附

選舉ノ効力ニ關シ訴願出訴中ニテ町村行政機關備ハラサルモ町村事務取扱方

當縣各町村ノ内職員撰擧ノ効力等ニ關シ目下政行裁判所ニ出訴シ又ハ内務大臣ニ訴願シ其裁決確定セサルカ爲メ議員ノ撰擧ヲ爲スコトヲ得ス從テ町村ノ行政機關一モ備ハラサルナク依然指命官吏元戸長ヲシテ町村ノ事務ヲ爲取扱置候町村有之然ルニ當初地方稅豫算ヲ議定セシムルニ方リ四五ノ二ヶ月ヲ以テ悉皆元戸長ノ事務ヲ新町村ニ引繼カシムルノ見込ヲ以テ戸長以下給料二ヶ月分職決致置候處前陳事故ノ爲メ今ニ引繼テ了セサルノ町村有之右ハ法律ノ規定ニ依リ候義ニテ事實止ヲ得サル次第ニハ候得共去リトテ前途ノ見据モ相付カス際限ナキモノニ向テ地方稅ヲ辨給スル義ハ地方稅ノ經濟上ニ輕ラサル影響ヲ及ボシ且ツ町村ノ公益上ヨリ觀察スルモ其害不少如何ニモ忍ヒサル次第ニ有之苦慮致居候就テハ右等ノ町村ニハ監督官廳ヨリ特ニ官吏ヲ派遣シ町村諸般ノ事務ヲ掌理セシメ該費目ハ追テ其町村費ヲ以テ辨償爲致不苦候哉

指令(二十二年五月)

官吏ヲ派遣シ諸般ノ事務ヲ掌理セシムルヲ得ス

○群馬縣伺(二十二年五月)

代人訴願

町村制ニ於テ爲ス處ノ訴願ヲ關係ナキ代人ヲ以テ差出スモノアリ之ヲ受ルモ差問ナキヤ

指令(二十二年五月)

關係ナキ代人ヲ以テナス訴願ノ件伺之通

○長野縣問合(二十二年五月)

撰擧効力ニ關シ當撰ヲ無効ト裁決セラレタル裁決ニ對シ他ノ選舉人ヨリ訴願ヲ提起シ得ヘキカ

町村會議員撰擧ノ効力ニ關シ期日内某甲乙某カ議員ニ當選セシハ其資格ナキヲ以テ當選ノ効ナキ旨ヲ訴願セリ依テ町村長ハ之ヲ町村會ノ議ニ付セシメ町村會ハ其訴願ヲ理アリトシテ乙某ノ當選ヲ無効ト爲スヘキノ裁決ヲ爲セリ此場合ニ於テ他ノ選舉人ハ其裁決ヲ不當トシ制第三十七條第三項ニ依リ郡參事會ニ訴願スルヲ得ヘキ歟若シ果シテ訴願スルヲ得ルモノトセハ一般選舉人ハ一事ニ付裁決告知ノ日ヨリ期限間ナレハ結局相互ニ行政裁判所迄順次出訴スルヲ得ヘキ義ニ候哉

縣治局長回答(二十二年五月)

選舉ノ効力ニ關スル訴願ノ義ニ付御照會ノ趣了承右ハ町村制第三十七條第三項ニ依リ郡參事會府縣參事會ヲ經テ行政裁判所ニ公訴スルコトヲ得ルハ其關係者ニ限ルモノニシテ他ノ選舉人ヨリ訴願スルコトヲ得サル義ト存候

○青森縣問合(二十二年)

訴願ニ關スル件

本年七月廿五日縣甲第五四號ヲ以テ御通知ノ市町村制ニ關スル御省議定ノ事項中第一項ニ「町村制第三十七條第三項ニ依リ郡參事會府縣參事會ヲ經テ行政裁判所ニ出訴スルヲ得ルハ其關係者ニ限ルモノニシテ他ノ選舉人ヨリ訴願スルコトヲ得スト有之候處茲ニ町村會ニ於テ町村制第七條但書ニ「二ヶ年ノ制限ヲ特免シ町村長ニ選舉シタルニ其町村内他ノ住民又ハ公民中ヨリ該町村會ニ對シ二ヶ年ノ制限ノ外向公民タル要件ヲ缺ク所(町村ノ負擔ニ分任セス及地租若クハ直接國稅ヲ納メサル者)アルモノニ對シ年限ヲ特免シ公民トナシ町村長ニ選舉シタルハ不當ナリトシ訴願セルモノアリトセン」右ノ訴願ハ之ヲ受理シ裁決スヘキモノナル哉將テ御省議定ノ第一項ハ是等ヲ含ム有セルモノニシテ即訴願スルヲ得サル筋ナルヘキ哉

縣治局長回答(二十二年七月)

關係者トハ既ニ町村會ニ訴願シタル者及其裁決ノ爲メ利害ノ關係アル者ヲ指シタル義ニシテ問合ノ如キ場合トハ異ナル者ト存ス

○愛知縣問合(二十二年)

訴願ニ關スル件

本年七月縣甲第五十四號通知第一項中ノ其關係者トハ本人自ラ訴願シタル者ニ限ル義ニシテ他人ノ爲メニ町村長ニ訴願シ採用セラレザリシ者ハ郡參事會等ニ訴願スルコトヲ得サル趣意ナルヤ何フ指令(二十二年七月)

○岐阜縣問合(二十二年)

訴願ノ手續

町村稅ノ賦課ニ對スル訴願手續ノ義ハ本月六日付電報御指令ニテ敬承候處町村制第八條ノ議決又ハ同制第三十七條等ノ裁決ニ對スル訴願ノ如キモ同制中別段其手續ノ規定ナキヲ以テ訴願法第二條ニ依リ町村會ヲ行政廳ト見做シ總テ該會ヲ經由スヘキ義ナルヤ又ハ町村會ハ行政廳ニアラサルニ付キ右訴願ノ如キハ其手續ヲ要セサル義ニ候哉目下差掛リ及御問合候條電報ヲ以テ直ニ御回答相成度候也

縣治局長回答(二十二年七月)

本月十七日御照會訴願手續ノ件前段御見込ノ通ト存ス

○長崎縣問合(二十二年)

○内務ノ部

職務権限及處務規程

町村長ノ就職セサルハ町村會ヨリ訴願ヲ提起シ得ヘキヤ
 町村議員選舉ニ付少數ノ關係人ヨリ町村會ヘ訴願シ其裁決ニ不服アリテ尙郡參事會ニ訴願シ其裁決ハ關係人ノ望通リニ裁決シタリ此場合町村長ハ未ダ就職セサルヲ以テ町村會ヨリ府縣參事會ヘ訴願シ得ラル、ヤ

指令(三十二年五月二十日)

町村長助役共ニ就職己前ニアリテハ議決施行ノ任アル元戸長ヨリ訴願スルヲ得ヘシ

○初木縣伺(三十二年五月二十日)

郡長ノ處分若クハ訴願ノ裁決ニヨリ更ニ選舉ヲ行ハシメタルトキ其以前ノ議決事件

町村制第三十七條末項ニ本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得スト有之候ニ付仮令ハ町村會議員選舉ニ關シ郡長ノ處分若クハ訴願ノ裁決ニヨリ兩級或ハ兩級内一級ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシメタル場合ニ於テ其以前ノ議定セン事件或ハ選舉セン町村長ハ正當議員ノ爲センモノト其効力毫モ異ナル處無之哉又ハ既ニ實行セン事柄ニ付テハ其効力ヲ失ハシムル能ハサルモ議決セシノモニテ未ダ實行セサルモノハ更ニ之カ議決ヲ要スル機ニシテ町村長ノ如キモ更ニ選舉ヲ爲ヘキ義ニ候哉此段相伺候也

指令(三十二年五月二十日)

前段伺ノ通

○千葉縣伺(三十二年六月八日)

助役町村長ノ代理ヲナストキ公文署名

町村長事故アリ助役代理ヲ爲ストキハ公文上署名ハ假令ハ府縣知事ニ故アルハ上席書記官代理ヲ爲スモ知事ノ名ヲ以テスルカ如ク矢張町村長ノ名ヲ以テ爲スヘキ乎

指令(三十二年五月二十日)

代理者ノ名義ヲ用ユヘシ

○千葉縣伺(三十二年六月八日)

町村長助議員ノ報酬等ニ關スル議事ハ一身上ニ關スル事件云々ニ包含スルカ

町村長助役議員等ノ報酬若クハ實費額ヲ議スルハ町村制第四十條第四十五條ノ所謂自己ノ一身上ニ關スル事件トアルニハ包含セサルモノト解シ可然ヤ

指令(三十二年六月十日)

伺ノ通

○兵庫縣問合(二十二年)

町村長兼務ノ職員ノ發言ノ其職長定メ方

職員ヲ兼ルルノ町村長ニシテ議事ニ發言ヲ要スルトキハ職員中ノ年長者ヲシテ職長トナシ差支ナキ

縣治局長回答(二十二年)

去十四日電報照會町村長發言ヲ要スルハ依職長任命ノ件ハ一時發言ノ爲メナレハ差支無之ト存ス

○千葉縣問合(二十二年)

町村會議長代理者共ニ故障アリ年長職員依職長ヲ辞セントスルトキ許否

町村會議長及代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ町村制第四十條第二項ニ依リ年長ノ職員ヲ以テ職長トナスヘキ義ニ候處其年長者事故ヲ告ケテ職長ヲ辞セントシ町村會モ亦正當ノ理由アルモノト認メタルトキハ職長ヲ辞スルモ妨無之義ニ候哉又ハ職員ノ職務ヲ帶ヒ會議ニ列席セル以上ハ其職長トシテ拒辞スルヲ得サル義ニ候哉

縣治局長回答(二十二年)

町村會議長ノ件御問合ノ處右ハ前段御見込ノ通ト存候此段及御回答候也

○和歌山縣問合(二十二年)

年長者職員

制第四十條第二項ニ依リ年長者ヲ以テ職長トナストキハ於テ其年長者ハ尙職員ノ資格ヲ失セシモノト認メタルヲ以テ町村長又ハ助役職長トナルトキハ同様而權ヲ併有スル義ト相心得可然哉

指令(二十二年)

伺ノ通

○山形縣問合(二十二年)

村會議員中ノ一人ヲ正當ノ事由ナク召集セサル議會ノ議事

村會議員中ノ一人ヲ正當ノ事由ナク召集セシメテ開會シタルトキハ其ノ決議ハ無効ナルヤ

縣治局長回答(二十二年)

町村會議員中ノ一人ヲ召集セシメテ開會シタルトキ其決議ハ無効ト存ス

○福島縣問合(二十二年)

違法ノ議決

町村會開會中議員ヨリ町村長ニ對シ組込發案ノ議建議ヲ爲シ町村長之ヲ採リ議案トナシ提出スル

モノアリ又議員四分ノ一以上同意ヲ以テ開會中一ノ議案ヲ提出スルモノアリ右ハ孰レモ告知外ニ
係ル本會ニ於テ直ニ議決シ得ヘキヤ或ハ制第四十二條ノ手續ニヨリ更ニ開會決議スヘキヤ
町村會開會中議ニ告知セシ事件外ノ議案ヲ發シ(至急ヲ要スルモノト否トナ問ハス)從テ該會ニ於
テモ亦之ヲ議了セリ右ハ全ク告知外ノ事件ヲ決議シタルモノニ付違法ノ決議トシ無効ニ屬スヘキ
モノナリヤ

指令(三十三號)

第一項前段前之通第二項前ノ指令ニヨリ了解スヘシ

○富山縣伺(三十四號)

町村會中止

町村會々期ノ盛日ニ於テ會議ヲ中止シタルハ中止ヲ解タル後更ニ一日開會セシムヘキヤ

指令(三十八號)

町村會々中止ノ進テ開會ノ件ハ更ニ一日間開設スルヲ得

○福井縣伺(三十四號)

議員一名モ出席セザルトキ處理方

第四十二條但書ノ場合ニ於テ議員一名出席セザルトキハ第二百二十三條ニ依リ郡參事會ノ議決ヲ經
ヘキ議ナル哉

指令(三十三號)

場合ニ依リ事實ヲ具シ伺出ヘシ

○千葉縣伺(三十四號)

町村吏員ノ選舉ハ議員三分ノ二以上出席ヲ要セサルカ

町村制第四十三條町村會ハ議員三分ノ二以上出席スルコト非ザレハ議決スルコトヲ得スト有之候處町村
吏員ノ選舉ハ議決スヘキモノニアラサルヲ以テ其議決トアル中ニハ包含セス即チ三分ノ二以上出
席セザルモ選舉ノ妨ケナキカ如シト雖モ町村吏員ノ撰舉ニ付テモ矢張同條ノ規定ニ依リ議員ノ定
數三分ノ二以上出席ヲ要スル義ニ俾哉

指令(三十三號)

吏員撰舉ニ付議員三分ノ二以上ノ件伺ノ通

○福島縣伺(三十四號)

過半數議員ヨリ延會ヲ請求シタルモ町村長ハ自己故障ノ爲メ出席セザルモノトシ議決シタル

職事

管下其村ニ於テ村會ヲ開クニ際シ議員召集再回ニ及ヒ議員現數十一名ノ内五名出席候得共他ノ六名ヨリ職事ニ關スル件ニ付監督廳ニ經伺ノ廉アルヲ以テ其指揮ヲ得ル迄ノ間本會延期ノ請求書ヲ提出セリ然ルニ議長ハ其出席セシテ延會ヲ求ムル如キハ自己故障ノ爲メ出席セサル者トシ之ヲ受理セシテ直ニ會議ヲ開キ當日出席議員ヲ以テ議決セリ元來本制第四十二條ニ據ルモ町村會ハ議員四分ノ一以上ノ請求アルハ必ス之ヲ召集スヘキモノタルヨリ之ヲ考フルモ議長ハ右延會請求ノ事件ニ對シ更ニ會議ヲ開キ其議決ニ依テ措置スヘキ當然タルヘキニ直ニ第四十三條但書ニ依リ他ノ出席議員ノミヲ以テ決議セシメタル其決議ハ違法越權ノモノト被考候得共事異例ニ涉リ候ニ付相伺候

指令(二月十七日)

村會議決ノ件本制第四十三條ニ依リ決議セタル決議ハ適法ナリトス

○埼玉縣伺(二月二十二日)

議員中辭職者アリ定數三分ノ二ニ滿タヌ補欠撰舉結了マテノ間ニ現ル事行處辨方

町村制第四十三條ニ町村會ハ議員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議決スルヲ得ヌ云々トア

然ルニ議員中辭職者アリテ定數三分ノ二以上ニ滿タサル場合ニ於テ補欠議員撰舉結了マテノ間ノ事件ニシテ凡ソ町村會ノ議決ヲ要スルモノハ同制第二百二十四條但書ニ依リ郡參事會町村會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決スルヲ得ヘキヤ若シ然ラサレハ補欠議員ヲ選舉スルニ當リ選舉人名簿ヲ調製シ關係者ノ縦覧ニ供スル場合ニ於テ關係者ニ於テ訴願スル者アルハ之ヲ裁決ハ如何スヘキ歟
指令(二月二十二日)

議員三分ノ一以上退職シ補欠選舉ヲ結了スルニ至ルノ間至急ヲ要スル職事ハ町村制第四十五條第百二十三條ニ準シ處分スヘキモノトス

縣治局長申添(二月二十二日)

本日指令相成候處退職ノ事實正當ノ事由アリテ不得已モノハ町村制第四十五條ニ準スヘク又事件ヲ議決セサルカ爲メ故意ニ出タル者等ハ同制第二百二十三條ニ準スヘキ義ニ有之候間爲念申添云々

○大分縣伺(六月廿一日)

出席議員定足數ニ充タサルトキ處辨方

町村會ヲ開クニ當リ議員ノ内疾病事故ニ依リ缺席スルモノト町村制第四十五條第一項規定ノ事項ニ當ルヲ以テ缺席スルモノト有之爲メニ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサルハ第四十三條但書ニ依ル

○内務ノ部

職務権限及處務規程

ハキ義ニ候哉將々第四十五條第二項ヲ適用スヘキ義ニ候哉

指令(行律)

前段見込ノ通

○新潟縣伺(行律)

村會開設中議員三分ノ一以上退職スルキ緊急事件處辨方

村會開設中議員三分ノ一以上退職スルキハ議事ヲ止メ補欠選舉スヘキハ勿論ナルモ至急ヲ要スル

場合ハ如何スヘキ哉

指令(行律)

村會議員三分ノ一以上退職補欠選舉迄ニ至急ヲ要スル議事ハ町村制第四十五條百二十三條ニ準ス

○第三章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織撰任

○秋田縣伺(行律)

市町村吏員ハ府縣會議員ヲ得ルカ

市町村吏員ニハ府縣會議員規則第十三條第四項ニ該當セサルモノト認ムルニ付府縣會議員トナルヲ得

ル勿論ニ候哉但有給職ハ市町村制第十五條第二項ニ準シ議員トナルヲ得サル義ニ候哉
指令(行律)

伺ノ通但有給職モ本文ニ同シ

○福島縣伺(行律)

地方官々制四十一條町村制施行後生存ノ有無

勅令第五十四號地方官々制第四十一條ニ依リ町村制施行後上雖モ消滅ニ屬セサルカ果シテ然ラハ戸長

ハ町村長ト認メ然ルニキヤ

參照勅令第五十四號地方官々制第四十一條郡長ハ行政事務ニ付テ其部内町村ノ戸長ヲ指揮シ其公

同事務ニ就テハ之ヲ監督ス

縣治局長回答(行律)

御見込ノ通但町村行政事務ニ付テハ町村制ニ依ルヘキ義ト存ス

○熊本縣伺(行律)

市町村長助役収入役身分取扱

市町村長及助役収入役身分ノ義ハ官吏ノ取扱ニ候ヤ果シテ然ラハ市長ハ奏任其他ハ判任ノ待遇ヲ

以テ諸般ノ取扱ヲナシ可然ヤ

指令(二十二年七月四日)

官吏ニ準スヘキモノニアラス

○司法書記官問合(二十二年七月八日)

市町長助役等身分取扱

市町村制中ノ諸吏員即チ市町村長市町村助役市名譽参事會員市町村収入役ハ官吏ニ準セラル、者ナルヤ否ヲサルヤ果シテ官吏ニ準セラル、者トセハ其待遇方奏判任ニ準スル等ノ廉承知致度云々内務書記官回答(二十二年七月八日)

市町村吏員ノ件ニ付御照會有之候處市町村吏員ハ准官吏ニ無之又其身分待遇方ニ付テハ別段之ヲ設ケサル義ニ有之候

○千葉縣問合(二十二年八月九日)

市町村長助役私事旅行

町村長助役私事旅行ノ義ハ本年八月十六日付訓第五三二號ヲ以テ認可ヲ受ケシムル等適宜規定スヘキ旨御訓令ノ趣モ有之候得共本縣ニ於テハ認可ヲ受ケシムル必要無之ニ付届出ニ止メ度存候得

共御差支ハ無之候哉

縣治局長回答(二十二年七月七日)

訓令ノ通認可ヲ受ケシムヘキ筋ト存候

○秋田縣伺(二十二年七月九日)

事宜ニ依リ先ツ助役ヲ選舉シ町村長ヲ有給ト規定シ選舉差支ノ有無

町村ノ狀況ニ依リ其公民中ヨリ適任ノ名譽職町村長ヲ得難キ事情アルルハ先ツ助役ヲ選舉シ條例ヲ以テ町村長ヲ有給職ト規定シタル後ニ於テ之ヲ選舉スルモ不苦候哉

指令(二十二年七月七日)

伺ノ通

○島根縣質疑(二十二年七月九日)

有給町村長助役年齢

有給町村長及助役ニモ第五十三條年齢ノ制限ヲ及スヘキハ勿論ナル手

書記官回答(二十二年七月九日)

年齢ノ制限ヲ適用セサル義ト存ス

○福井縣伺(二十二年)

町村長及吏員選任及辞令書ノ要否

町村長助役ヲ合議ニ於テ選舉シタルモ、現任町村長ヨリ之ヲ監督官廳ニ申立監督官廳ハ之ニ認可
ノ証ヲ附與シタル上町村長ヨリ認可ヲ得タル旨ヲ本人ニ通達スルニ止メ別ニ辞令書等ハ用ヒス
テ可然乎又町村長ノ推薦ニヨリ町村會選任ストアル吏員ハ町村會ニ於テ直ニ辞令ヲ交付スルカ又
ハ違書ヲ發スルカ如ク相見ニ候得共町村會ハ素ト執行權ナキモノ故町村會ニ於テ選任ノ者定マリ
タル上ハ町村長之ヲ任命シ可然義ナルヤ

指令(二十二年)

前段何ノ通後段ハ適宜ニ取扱フモフドス

○福島縣伺(二十二年)

町村長及助役選舉ノ件

町村制第五十三條第一項ニ町村長及助役ハ町村會ニ於テ其町村公民中年齡滿三十歲以上ニシテ選
舉權ヲ有スルモノヨリ之ヲ選舉ストアリテ其選舉ヲ爲スニ當リ選舉人名簿等ヲ調製スヘキノ成條
無之所制第十八條ニ依リ調製スル選舉人名簿ハ議員選舉ノ件之ニ據リテ選舉ヲ行フニ過キス故ニ

該人名簿ニ登録セラレタル者ト否トナ問ハス町村長及助役選舉ノ際ニ於テ選舉權ヲ有スル者ハ被
選舉人タルヲ得ル義ト存候得其爲念及御照會候

縣治局長回答(二十二年)

町村長及助役選舉ノ件御見込ノ通ト存候此段及御回答候也

○山口縣伺合(二十二年)

所屬縣郡ノ非職官吏職員トナル差支ノ有無

所屬縣郡ノ非職官吏ハ議員タルヲ得サルハ無論ナルモ町村長助役トナルハ妨ナキモノト心得然
キヤ

縣治局長回答(二十二年)

所屬縣郡ノ非職官吏ニシテ町村長助役トナル件ハ町村制第五十三條第二項ノ規定アルニ依リ兼ル
ヲ得サル義ト存ス

○富山縣伺合(二十二年)

非職官吏助役兼法

非職官吏ニシテ市町村ノ助役ヲ兼ルヲ得ルヤ

○宮崎縣問合(三十三号)

非職官吏助役兼務ノ件ハ所属長官ノ許可ヲ得ハ見込ノ通ト存ス

○宮崎縣問合(三十三号)

非職官吏市町村書記又ハ所属外ノ市町村長就任

非職官吏ニシテ市町村書記其他附屬員トナリ又所属外ノ府縣ニ於テ市町村長及助役トナラントスルモノハ許可シ不苦哉此場合ニ於テ有給吏員ナルトキハ非職俸給ヲ給セサル義ニ候哉又其年間ハ奉職年數ニ通算スルヲ得サル義ニ候哉

○秋田縣問合(三十三号)

非職官吏ニシテ市町村吏員タルヲ得ル義ハ關令第十八號公布ニ付御了解ノコト、存ス其有給吏員ナレハ非職俸ヲ給セス又其年數ハ恩給令ニ關スル奉職年數

○秋田縣問合(三十三号)

町村條例ヲ以テ町村長ヲ有給ト爲シタルトキ其任期

町村制實施ニ際シ名譽職町村長上任ノ後更ニ町村ノ必要ニ依リ條例ノ規定ヲ以テ之ヲ有給職ト爲シタルモハ其任期ハ前後ヲ通算スル義ニ候哉

○福井縣問合(三十三号)

指令(三十三号)

○福井縣問合(三十三号)

町村長役助ノ選舉ヲ郡參事會ニ於テ決シタルトキ手續履行方

第五十四條第二項ノ但書ニ依リ町村長助役ノ選舉ヲ郡參事會ニ於テ決シタルトキハ第五十九條ノ手續ハ郡參事會ニ於テ爲スルヤカ又ハ更ニ町村會ヲシテ爲サシムルヤカ

指令(三十三号)

後段問ノ通

○山梨縣問合(三十三号)

訴願受理ニ關スル件

町村制第五十四條第二項但書ニ據リ町村會議長ニ於テ投票同數者二名ニ就キ郡參事會ノ指定ヲ請ケ更ニ其指令者ヲ縣知事ニ申立既ニ認可ヲ得タルノ後ニ至リ町村會議員中ノ數名(半數以下)ハ郡參事會ノ指定ヲ以テ人物ノ選擇ヲ誤リタルモノトシ制百二十條ニ據リ知事ニ於テ更ニ正當ノ指令アラシムコトヲ訴願候處石ハ最初議長ヨリ投票同數者二名ニ就キ指定ヲ請ヒタルハ町村會ノ意見

トシテ二名ノ内孰レヲ取リテ當選者トスルモ異議ナキヲ表白シタルモノト見ルヲ得ヘキヲ以テ其意見ニ順ヒテ那參事會ニ於テ適任者ト認ムル者ヲ指定シタルノ處分ニ對シ他日ニ至リ異議ヲ容ルヘキ附ノ無之且町村會議員ハ議會ヲ組織スル一分子ナルコト過キカルモノナレハ町村長助役ノ選舉ノ如キ議會全体ノ上ヨリ生シタル結果ニ對シ議會以外ニ於テ特異ノ運動ヲ爲スノ機能ヲ有セサル勿論ノ義ニ付仮令本訴願ヲ以テ那參事會ノ指令者ニ對シ知事ノ認可ヲ得サル以前ニ提出シタルモノトスルモ又仮令議員半數以上若クハ全議員ヨリ提出シタルモノトスルモ到底制第二十條ニ依リ訴願スルヲ得ヘキ限リコトアラスト被考候問受理セシテ可然哉

指令(三十四條)

訴願ニ關スル件ハ知事ノ認可前ナルト其後ナルトヲ問ハス又數名ノ議員ヨリ訴願セルト全議員ヨリセルトト拘ハラス何ノ如キ訴願ハ受理スヘキモノニアラス

○埼玉縣問合(三十四條)

町村長ヲ有給トスルノ條例ヲ規定シタルトキハ先ニ名譽職町村長ヲシテ引續キ在任セシムヘキカ

町村ニ於テ名譽職町村長及助役上任ノ後其町村ノ必要ニ依リ更ニ町村長及助役ヲ有給トスルノ件

條例トナシ内務大臣ノ許可ヲ得タルハ更ニ其有給町村長及助役ノ選舉ヲナサスシテ義ニ名譽職トシテ上任セル町村長助役ハ直ニ有給タルヘキ義ニ候哉又ハ町村長及助役ヲ有給トスル條例ノ許可ヲ得各上任ノ後其有給タルノ條例ヲ廢止シタル時ハ更ニ改選スルヲ要セス直ニ名譽職タルヘキ義ニ候哉果シテ然ラハ前段ノ場合ニ於テ名譽職助役二名ヲ置ケル町村ニシテ助役一名ヲ有給トシタルハ更ニ二名ノ中ヨリ選舉ノ上認可ヲ受ケシムヘキ哉若然ラズシテ町村長及助役ヲ有給トシ若クハ有給ヲ止メタル場合モ總テ改選スルヲ要スルモノトスレハ義ニ上任シタル町村長助役ハ自然消滅スルモノニ候哉

縣治局長回答(三十四條)

町村長及助役ヲ有給トスル等ノ條例許可アリタルトキ處分方ノ件名譽職町村長及助役ヲ有給トシ若クハ有給ヲ止ムル場合ニ於テハ共ニ改選スルヲ要ス其任期中ノ町村長助役ノ職ハ新條例實施ノ日ヨリ自ラ解クルモノト存ス此段及御回答候也

○岩手縣問合(三十四條)

町村長助役報酬ノ件

町村制第五十五條第二項ニ町村長ハ職務取扱ノ爲ノ必要スル實費辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ

受ルコトヲ得云々トアルハ町村長及助役(行政事務ノ一部代理)カ自ラ其享受權ヲ拋棄セサル限りハ町村ハ之ヲ支給セサル可ラサルノ義務アル乎又ハ町村長助役ノ享受權ヲ拋棄スルト否トニ拘ハラス報酬ヲ給スルト否ヲサルトハ一々町村會ノ議決ニ依リテ解釋シ可然乎

縣治局長回答(二十二年)

町村長助役ニ於テ報酬ヲ辞セサル限りハ之ヲ與フルハ當然ナリトス

○群馬縣照會(二十二年)

町村長ヲ有給トスル條例ノ規定設定方

町村長及助役ハ名譽職ナルニ依リ有給吏員ハ容易ニ之ヲ置カサルノ方針ヲ取ルヘキハ勿論ナリト雖モ大町村等ニシテ事情已レテ得ヌ町村制第五十六條ニ依リ町村長又ハ有給吏員トナサントスルニハ選任前允シ町村條例ヲ以テ之ヲ規定シ第二百二十五條ニ依リ御許可ヲ得タル上其給料額ヲ議定シ郡長ノ許可ヲ得タル後擢任スヘキノ順序ニ有之然ルモ其町村條例ノ調製方ハ第三百三十一條ニ依リ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ取扱フヘキ職將ク議會自ラ調製シテ議定スヘキモノナル哉

縣治局長回答(二十二年)

元戸長ニシテ職案ヲ調製シ又其議決ヲ執行セシメ若シ元戸長二人以上ナルトキハ郡長ニシテ其内

ニ就キ指命セシメ且其指命ノ廉ヲ町村内ニ公示セシムヘキ義ト存候

○兵庫縣照會(二十二年)

有給助役ノ件

町村制第五十六條第一項ニ大ナル町村ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ助役一名ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得ルトアリ則大ナル町村ニシテ二名以上ノ助役ヲ置ク場合ニ限り一名ヲ有給ト爲スコトヲ得ルモノ、概相見ヘ候得共樂ニ己ニ二名以上ヲ置ク場合ニ於テ一名ヲ有給トスルヲ得ル義ナレハ一名ヲ置クモ稍々區域ノ廣ク事務ノ多キ町村ニ在テハ有給トスルヲ得サルノ理ナキ様被存殊ニ實際ニ就テ者ナルニ山間僻村ニシテ適任者ニ乏シキ村々ニ於テハ先ツ村長ハ村内ニ名望アルモノヲ舉ケ助役ハ有給トシテ村内外ヲ問ハス汎ク擢舉シテ事務ニ委シキモノヲ得テ村長ノ相談役ニ供セントスルモノアリシ是等ノ向ニ於テ若シ一名ナレハ有給トスル能ハサルモハ頗ル不便ヲ感スル次第ニ有之右五十六條第一項ハ二名以上ヲ置ク町村アルニヨリ一名ヲ有給ト爲スヲ得ルトアルモノニテ一名ヲ置クモノト雖モ條例ノ規定ヲ以テ有給ト爲スヲ得ルノ義ナルヤ

縣治局長回答(二十二年)

御見解ノ通ト存候

○富山縣照會(廿四日)

有給町村長ヲ置ク條例規定

町村制施行ニ就テハ町村長ヲ有給トナサントスルモノハ町村會ニ於テ決議セシ後ト雖モ内務大臣ノ許可ヲ經サル間ハ是ヲ實行スルコトヲ得サル義ニ有之候處右大臣ノ許可ヲ待ツトキハ自治ノ機關豫メ備具スルモ未ダ其運動ヲ爲シ得サルニ依リ永シ現戸長ノ職務ヲ解除スルコトヲ得サルノミナラス地方經濟ニモ影響シ百事整頓上困難不助候條町村會ニ於テ決議セシ上ハ仮ニ有給ノモノトシテ就職セシメ置キ進テ許可ヲ受ケサセ候様致度候右ハ他縣へ御指令ノ趣モ有之容易ニ御聞届不相成義ト存候得共前條ノ事由ニ付特ニ御詮議相成候途モ無之哉

書記官回答(廿四日)

御照會ノ趣了永右ハ通則ニ循ヒ其條例ノ許可ヲ得テ正式ニ就職セシムル外無之ト被存候

○岡山縣照會(廿四日)

助役ヲ選舉シ町村長就職以前收入役以上ヲ選舉ノ件

町村長ヲ有給トナストキ條例ノ許可ヲ受ケル以前助役ヲ選舉シ町村長就職セサルモ事務ヲ引繼キ收入役以上ノ選任ヲ爲シ不苦哉

指令(廿四日)

助役ニ事務引繼等ノ件伺ノ通尤モ收入役以下ノ選任ハ實際已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外村長ノ上任ヲ俟テ之ヲ爲スヘシ

○大分縣問合(廿四日)

有給町村長ヲ名譽町村長トナスノ條例ヲ規定シタルトキ報告方

有給町村長ニ關スル條例ヲ設ケ内務大臣ノ許可ヲ得タル後町村ノ都合ニ依リ名譽職町村長ヲ置クトニ議決シタル協會ニ在テハ先ニ許可相成タル條例ヲ廢スヘキ義ニ有之候處右ハ町村長ヨリ其旨御省へ御届致スヘキ義歟又ハ知事ヨリ報告スヘキ義歟

縣治局長回答(廿四日)

總テ條例ハ更ニ内務大臣ノ許可ヲ經タル條例ヲ以テ廢止スヘキ義ニ有之候

○高知縣照會(廿四日)

有給町村長條例規定

町村長ヲ有給トスルノ條例ハ其町村長任期内ト雖モ廢スルヲ得ル歟且ツ都テ條例ヲ廢スルニハ許可ヲ受ルヲ要セザル乎

指令(三十二年三月二十七日)

前段伺ノ通後段許可ヲ受タルヲ要ス

書記官通牒

條例廢止ノ件ニ對シ今般指示相成候處條例ヲ廢スルニハ條例ヲ以テスルニ付之ヲ廢スルノ條例ヲ設ケテ許可ヲ得ルニ於テハ此ニ條例ニ依リ就職セン町村長ノ任期中ト雖モ後ノ條例ヲ以テ廢スルヲ得ル義ニ有之候

○靜岡縣照會(三十二年三月二十七日)

有給町村長及助役ノ年齢

町村制第五十六條ノ有給町村長及給助役ヲ選舉スルキハ同制第五十三條ニ掲クル年齢ニ依ルヘキ義ニ有之候哉

縣治局長回答(三十二年三月二十七日)

有給町村長及有給助役年齢ノ件ハ町村制第五十三條ニ定ムル年齢ノ制限ニ依ルノ限リニアラスト存候

○高知縣伺(三十二年三月二十七日)

有給町村長助役ノ年齢

町村制第五十六條第二項ニ有給町村長及有給助役ハ其町村ノ公民ニ限ラストアリ其町村ノ内外ヲ問ハヌ又公民タルモノニ限ラサルモ其年齢ハ第五十三條規定ノ通滿三十歳以上ノモノニ限ルヘキ乎又市長助役ノ如キモ同様滿三十歳以上ナルヘキ乎

訓令(三十二年三月二十七日)

前段後段共ニ年齢ノ制限ヲ適用スル限ニアラス

○福岡縣伺(三十二年三月二十七日)

有給町村長助役ハ非公民ヲ選舉スルモ差支ナキカ

町村制第五十六條第二項ニ有給町村長及助役ハ其町村公民タルニ限ラスト有之候以上ハ其町村ノ非公民ヲ選任スルモ差支ナキカ如シ就テハ但町村ノ公民 アラサルモ選舉シ得ヘキ義ニ候乎(編者附文但云々以下文而不分) ス本明ナルモ原文ノ通り)

指令(三十二年三月二十七日)

伺ノ通

○奈良縣照會(三十二年三月二十七日)

町村制第五十六條第二項ニヨリ其町村公民タルノ權ヲ得タルモノハ制第七條ノ要件ヲ備ヘタルモ
同第十二條第一項ノ資格ヲ有スル義ニ候哉

回答(二十三番)

(前略)右ハ見解ノ通りト存候

○千葉縣問合(二十三番)

有給町村長ハ區會ノ選舉權ヲ有スルカ

有給町村長助役ハ其町村公民ノ權アラサルモ當選ニ應シ認可ヲ得ルルハ其公民タルノ權ヲ得ル義
ニ有之候得ハ其町村内居住部落區會ノ選舉權ヲモ有スルニ至ル義ニ候哉又ハ其町村ノ公民タルノ
權ヲ得ルニ止リ區會ノ選舉權ハ有セサル義ニ候哉御意見承知致度此段及御問合候也

縣治局長回答(二十三番)

本年一月廿八日內一收第六二號ヲ以テ有給町村長助役ニ關スル公民權ノ件ニ付問合ノ趣了承右ハ
前段御見込之通ト存候此段及回答候也

○栃木縣問(二十三番)

町村長席次

町村長ハ元來官等無之義ニハ候得共式場ニ關シ官吏ト席次ヲ相正シ候節ハ別席ニ取扱助役ハ町村
長ノ次トシ其列次ハ各上任前後ニ依リ同時ニ上任センモノハ年長者ヲ以テ上席ト相定メ可然ヤ
指令(二十三番)

町村長身分取扱ノ件右ハ適宜取扱ンヘシ

○福島縣警部長問合(二十三番)

町村制第五十八條ノ營業ニハ鳥獸職獵モ包含スルヤ

縣治局長回答(二十三番)

町村制第五十八條營業ノ件見解ノ通り存ス

○福島縣問合(二十三番)

有給助役他町村ノ名譽職町村長助役兼任

町村制第五十八條ニ有給町村長及有給助役ハ他ノ及有給ノ職務ヲ兼任シ云々ト有之候處有給助役
ニシテ他町村ノ名譽職町村長及名譽職助役ヲ兼任スルコトヲ得ストノ明文ハ町村制中ニ不相見候得
共有給ナルモノハ固ヨリ事務ノ職ナレハ他ノ名譽職ヲ兼任スルコト不相成義ト被存候得共判然不致
候ニ付及御照會候

縣治局長回答(二十三年)

右ハ法律上ニ於テハ兼任ノ禁無之候得共他町村ノ名譽職町村長助役ヲ兼務スルカ如キハ認可難相成義ト存候尤町村會議員トナルハ差支無之候

○兵庫縣問合(二十三年)

非職郡長町村長助役當選

非職郡長ニシテ町村長又ハ議員ニ當選ナリタル時小官ニ於テ許否然ルヘキヤ

縣治局長回答

非職郡長ニ關スル件奏任官ナレハ先以テ内閣總理大臣ノ許可ヲ受ケシメ判任ナレハ貴官ノ認可ヲ

經タル後町村會議員ハ制第二十九條町村長ハ第五十九條ニ依リ取扱候義ト存候

○宮崎縣問合(二十三年)

無筆議員代書ヲ以テ村長選舉ノ投票

村會議員ニ無筆ノモノアリテ村長選舉ノ節他議員ニ代書セシメシテ以テ該投票ヲ無効トシ尙選舉會ヲモ無効ノモノトシ更ニ選舉會ヲ開キタルモノアリ右投票ハ無効トスルモ選舉ヲ無効トセシハ不都合ニ付糞キノ有効投票ニ付過半数ノモノナキトキハ二人ニ付更ニ投票セシムヘキモノナルヤ

又代書セシメシモノ有効ナルヤ何ノコトモ郡長ヨリ然ルヘキヤ
指令(二十三年)

村長選舉ノ件代書投票ハ無効トスヘキ限リニアラスト雖郡長ニ於テ村長選舉ニ關スル當否ノ意見ハ知事ニ具申スルニ止ルヘク知事ハ其當否ニ依リ制第五九條ノ範圍ヲ以テ不認可ノ處分ヲ爲スヲ得

○長野縣問合(二十三年)

無資格者村長ニ當選セントキ取消ノ件

村長選舉ヲ執行シ縣知事ノ認可ヲ請フニ際シ所轄郡長ハ其當選者資格ノ有無ヲ調査スルニ當リ始メテ該認ヲ發見シタルモノニシテ即チ村長當選者モ前項五十名ノ一人ニシテ全ク公民權ナキ者タルコト確認シタルハ該當選者ハ素ヨリ法律上村長ノ職ニ就クヲ得サルモノナレハ郡長ヲシテ直ニ該選舉ヲ取消サシメ可然哉將町村制第五十九條ニヨリ縣知事ニ於テ不認可ノ處分ヲ爲スヘキモノナル歟

前項若シ前段問ノ通りトセハ其取消ノ手續ヲ町村制第三十條ヲ適用シ町村會ニ於テ之レカ議決ヲ爲サシムヘキモノナル歟果シテ然ラハ同條ハ吏員選舉ニ關シタモ之ヲ適用スルヲ得ヘキ歟

指令(二十二年)

(九十七号)

第一項後段見込ノ通第二項前段指令ニヨリ了解スル

○静岡縣令(廿二年)

行政機關整備セザルトキ町村長代理選任方

町村ニ於テ議員ヲ選舉セヌ又ハ議員ノ選舉ヲ爲セシモ當選者其撰ヲ辭シ就任セヌ再ニ選舉セシムルモ亦如此ナルトキ及議員ハ就任セシモ町村長等ヲ選舉セザルトキハ之ガ行政機關ヲ造ルノ道ナシ此場合ニ於テハ監督官廳ハ制第六十一條第二項ニ準據シ臨時ニ町村長代理者ヲ選任シ之ガ職務ヲ管掌セシムルニキキ

前條場合ノ町村ニ於テハ町村會ノ職務權限 吏員ノ選舉條例規則ニ屬スル事項ハ總テ制第二百二十條ニ準據シ郡參事會 開設以前 代テ之ヲ處分スルヲ得ヘキ乎

指令(二十二年)

(六十二号)

第一條制第六十一條及第二百二十三條ニ準シ處分スヘキモノトス

第二條何ノ通

○千葉縣令(二十二年)

(四十七号)

町村吏員及町村會議員一同辭職シタルトキ處分方

町村吏員及町村會議員一同辭職シタル場合ニ於テハ制第六十一條第二百二十三條ニ準シ處分スヘキモノナル哉

指令(二十二年)

(四十七号)

町村吏員及議員一同辭職云々ノ件何ノ通

○島根縣令(廿二年)

郡書記町村長及助役ノ職務ヲ管掌スルトキ俸給旅費日當費途

本制第六十一條第二項末段ニ依リ郡書記ヲ派遣シ町村長及助役ノ職務ヲ管掌セシムル場合ニ於テモ其書記ハ本官ノ資格アルモノニ付俸給ハ郡役所ニ於テ地方稅ヲ以テ支給シ旅費日當等ニ限リ町村費ヲ以テ支給セシムルニキキ

書記官回答(二十二年)

(三十三号)

有給町村長助役ヲ置ク町村ニ派遣シタルルキハ其有給町村長又有給助役ノ受クヘキ俸給旅費日當ヲ支給セシム若シ名譽職町村長又ハ名譽職助役ヲ置ク町村ニ派遣シタルトキハ其派遣官吏ニ支給スヘキ俸給等ハ第七十六條ニヨリ町村會ヲシテ之ヲ議決セシムヘキモノト被存候尤本屬官廳ハ派遣

官吏ノ給料等ヲ支給スルコトヲ停止スル義ト存ス

○群馬縣問合(二十二年)

制第六十一條ニ代理者選任方

町村制第六十一條二項ニ代理者ヲ選任シトアリ之レハ官吏又ハ其町村民ニ限ラス適宜選任シ町村費ヲ以テ其給料ヲ支給スルヲ得ルヤ

縣治局長回答(二十二年)

代理者ニハ制限ナシ其給料報酬等ハ本員ニ屬スヘキ額ヲ支給スヘキモノト存ス

○山梨縣問合(二十二年)

制第六十一條二項ニ依リ派遣スル官吏

町村制第六十一條二項ニ依リ派遣スル官吏ハ警部ヲ以テスルモ障ヘナキヤ

縣治局長回答(二十二年)

町村制派遣官吏ノ件御見込ノ通併可成普通ノ官吏ヲ以テセラルハ方然ルヘシ

○和歌山縣(二十二年)

郡長ニ於テ村長ヲ選舉スルヲ得ヘキヤ

町村制第五十七條ニ有給町村長及有給助役ハ三ヶ月前ニ申立ルルハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得トアリタ名譽職町村長助役ニ此明文ナキハ第五十四條ニ町村長及助役ノ任期ハ四ヶ年トストアルコ

依ル義ナルモ其就職者ニシテ第八條第二項ノ一ヨリ六ニ至ルノ理由ナクシテ其職務ヲ拒辞シ又ハ任期中退職スルトキハ結局同條ノ制裁ヲ加フルノ外ナカル可ク而シテ村長助役トモニ同時ニ前叙ノ事實アルルハ村長ノ職務ヲ執行スヘキモノナキニ依リ後任者選定迄ハ尙其村長ニ於テ處理スヘ

キ義ト存候得共頑固執拗ニシテ村長助役トモニ之ヲ肯シセザルトキハ可成速ニ後任ヲ選舉セシムルノ外無之相考候處茲ニ一村内事故アリ村會議員及村長助役悉皆辭職セルモノアリ其辭職ノ當否ハ村會ニ於テ議決スヘキモノナルモ之ヲ議スヘキ議員ナキヲ以テ本年八月七日電報伺ヘ同月廿六

日電報御指令ニ準シ第百二十三條ニ依リ第百三十條ニ基キ郡長ニ於テ處理セシメ可然ト思考シ目下其取扱中ニシテ充分注意平穩ノ結果ヲ得セシムヘキ見込ニ候得共到底不相纏トキハ第八條ノ制

裁ヲ加フヘキモ如斯クハ忽チ村務ニ差支ヲ生スヘシ此場合ニ於テ議員ハ成規ノ手續ニ依リ撰舉スヘキモノニ付早シモ七八十日ノ後ニアラサレハ當撰者ヲ定ムルノ遲ニ至ラヌ其間村務ハ措キ難

キモ辭職セル村長助役之ヲ放棄スルニ於テハ執務者ヲ設ケサルヲ得ス然レモ之ヲ撰舉スヘキ村會ナキヲ以テ第四十五條ノ手續ヲ履行スル能ハヌ實際此頗末ニ至ラハ是又二百二十三條ニ準シ第百三

○内務ノ部 第三章 町村行政 三百六十七

十條ニ基キ那長ニ於テ村長ヲ選舉スルヲ得ヘキ義ニ候哉

指令(三十三號)

村會ニ於テ議決スヘキ事件ハ新町村會ノ組織ヲ待テ議決セシムヘシ其間村長助役ノ職務ハ制第六十一條第二項ニ準シ處分スヘシ

○埼玉縣伺(三十三號)

町村名譽職ヲ選舉セサルモ處分方ノ件

本縣下二三ノ町村ニ於テ行政事務ノ施行ヲ拒ミ又ハ之ヲ拒マサルモ種々ノ事情ニヨリ町村ノ名譽職ヲ選舉セズ在薄爾久尙ホ其組織ヲ爲サハルモノ有之施設上差支候ニ付右等ノ町村ハ町村制第六十一條第二項ヲ適用シ臨時代理者又ハ官吏ヲ派遣シ事務管理セシメ度云々

指令(三十三號)

町村制第六十一條及第二百二十三條ニ準シ處分スヘキモノトス

○茨城縣伺(三十三號)

町村長選舉ニ際シ助役議員辭職シ定數三分ノ二ニ充テザルトキ處分方

町村長選舉ニ際シ助役及議員辭職ノ爲メ出席者三分二以上ニ充テザルヲ以テ其選舉ヲ行フ能ハス

然ルモ補欠選舉ヲ了スルニハ六十日以上ノ日子ヲ要シ其間町村行政ノ機關タル町村長助役ヲ共ニ缺クニ於テハ該事務ヲ執行スル能ハサルニ依リ如此場合ニハ制第六十一條ヲ適用シ監督官廳ハ其代理者ヲ特選シ若シハ官吏ヲ派遣シ可然キ

指令(三十三號)

町村長助役選舉ノ件實際不得止場合ニ於テハ町村制第六十一條ニ準シ處分スルモ妨ケナシ

但元戸長ニ於テ未タ事務引繼ヲ了セザルトキハ尙元戸長ヲシテ事務ヲ取扱ハシム

○宮崎縣伺(三十三號)

同前

村長助役共ニ辭シ議員モ三分一以上辭職セリ就テハ制第六十一條第二項ニ準シ處理セシムヘキヤ又議會設置迄ハ百二十三條ニ準シ可然哉

指令(三十三號)

村長助役共ニ辭職シタル場合ハ制第六十一條第二項ニ準シ議員ノ辭職ニ對シテハ先ツ補欠選舉ヲ行ヒ若シ補欠選舉前至議會開キ要スル中ハ制第四十五條第二項ニ準シ取扱フヘシ

○富山縣伺(三十三號)

○内務ノ部

第三章 町村行政

○監督官廳ヨリ吏員派遣ノ件

縣下射水郡橋下條及老田ノ町村長以下役員都テ辭職セリ依テ監督官廳ヨリ後任選舉ノ爲メ村會ノ開設ヲ促スモ職員招集ニ應ジズ目下地租期限ニ迫ルモ之ヲ徵收スルヲ得ス就テハ村長以下就職迄監督官廳ヨリ吏員ヲ派シ其事務ヲ取扱ハセ可然哉

指令(二十二年六月三日)

伺ノ通リ

○茨城縣問合(二十二年五月二十三日)

○收入役書記ノ選任

收入役書記等ノ選任ハ町村長ヨリ候補者若干名ヲ推選シ其内ニ付町村會選任スルモノナルヤ又ハ選任スヘキタケノ人員ヲ推選スルモノナルヤ

縣治局長回答(二十二年六月二日)

收入役書記等選任ノ件後段御見込ノ通リ存ス

○靜岡縣伺(二十二年)

收入役事務書記ニ取扱ハセ方

收入役ノ定員ハ一名ニ候處若シ疾病其他ノ事故ニヨリ事務取扱ヲ爲シ難キ場合ニ於テハ町村長ハ

○書記ニ命シテ收入役ノ事務ヲ取扱ハセ可然乎

指令(二十二年)

收入役ノ事務代理ノ件收入役自己ノ名義ヲ以テ事務ヲ代理セシムルニ於テハ町村會ノ議決ヲ以テ適宜規定シ妨ナシ

○千葉縣伺

收入役自宅ニ於テ事務取扱ノ件

町村收入役ハ日々町村役場ニ出頭シテ取扱フモ又ハ自宅ニ於テ取扱フモ隨意タルヘキヤ

町村收入役事故アリテ事務ヲ取扱フ能ハサル場合ニ於テハ收入役自己ノ責任ヲ以テ相當ノ代人ヲ

選ミ收入役ノ名義ヲ以テ便宜代人ニ取扱ハシメ可然乎

指令(二十二年六月三日)

第一項役場ニ於テ取扱フヘキモノトス但執務日時ハ適宜定ムル所ニ依ル第二項町村ニ於テ適宜規定スルモ妨クナシ

○千葉縣伺(二十二年五月二十三日)

収入役無給ニテ職務ニ従事ノ件

町村収入役及書記ハ町村制ノ規定ニ依リ有給吏員ニ有之候處其選任セラレタル者無給ニテ其職務ニ従事セシムルヲ希望シ町村會之ヲ可決シタル場合ニ於テハ無給トナスモ妨無之哉果シテ然ラハ無給ニテ其職務ニ従事スル者ハ町村會議員ヲ兼ルモ妨ケ無之哉

指令(三十二年)

町村制疑義ノ件収入役及書記ハ無給トスルヲ得サル義ト心得シ

○石川縣伺(三十二年)

臨時代理者給料額

町村制第六十二條(第六十一條ノ)二項ニ依リ臨時代理者ヲ選任シタルトキ其給料額ヲ定ムルヲ得

指令(三十二年)

町村長助役代理者ノ件縣知事ニ於テ其給料ヲ定ムルヲ得ス

○群馬縣同合(三十二年)

収入役給料

町村収入役ハ同制第六十二條三項ニ七十六條ヲ適用ストアルニ依リ其給料ハ郡長ノ許可ヲ受クヘキ

縣治局長回答(三十二年)

町村収入役給料額ノ件御見込ノ通ト存ス

○福井縣伺(三十二年)

名譽町村長収入役事務取扱ノ件給料

第六十二條第六項ノ場合ニ於テ町村長又ハ助役ヲシテ収入役ノ事務ヲ兼掌セシメタルトキ収入役ノ事務ニ對スル給料ヲ支給スルヲ得ヘキ哉

指令(三十二年)

其町村ニ於テ適宜規定スルモ妨ナシ

○和歌山縣伺(三十二年)

助役ニシテ収入役事務取扱ノ件給料

町村制第六十二條第六項ニ依リ町村長又ハ助役ニ収入役ノ事務ヲ兼掌セシムルトキハ別ニ収入役ノ給料ヲ支給スルニ及ハサル義ナル可ント雖モ若シ助役ニシテ収入役ヲ兼掌シ若クハ制第六十九

條ノ事務分掌及収入役ヲ兼掌スル場合ニ於テハ名譽職助役ハ報酬ヲ受シ可キ資格ナシ然レモ事實
ヨリ視レハ假令収支寡少ナル町村ト雖モ之カ爲メ相當ノ手數ヲ要シ且本制中是等ニ對シ報酬ナキ
時ハ収入役ノ給料ヲ支給スル方至當ナルヘク存儀右ハ差支ナキヤ

指令(三十三號)

町村ニ於テ適宜規定スル妨ナシ

○新潟縣伺(二十二年四月)

町村長助役ノ収入役事務取扱

町村長又ハ助役ヲシテ収入役ノ事務ヲ兼掌セシムルモ妨ケナキヤ

指令(三十三號)

伺ノ通

○福島縣伺(二十二年四月)

區長及代理者

町村制第六十四條ニ町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ町村會ノ議
決ニ依リ之ヲ數區ニ分テ每區ニ區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得トアリ右成文ニ依リ解釋ナキ

スルハ區長ヲ必要トスル場合ニ於テハ區長及其代理者各一名ヲ置ク當然ノ權相見候得共又他ノ一
方ヨリ見ルトキハ區長ヲ置クト否トハ町村ノ適宜ニシテ所謂廳任法ナルヲ以テ其區ノ情況ニ依リ
町村會ニ於テ代理者ヲ不必要ト認メタル場合ハ區長一名ヲ置キ候モ差支無之哉
縣治局長回答(二十二年四月)

區長代理者ノ件區長ヲ置クトキハ俱ニ代理者ヲ置クヘキ儀ト存ス

○山形縣伺(二十二年四月)

區長及代理者ヲ置クハ條例ノ規定ヲ要スルカ

町村制第六十四條ニ依リ町村會ノ決議ヲ以テ町村ヲ數區ニ分テ區長及其代理者ヲ設置スル場合ハ
制第十條ニ依リ條例ヲ以テ規定シ許可ヲ得ルニアラザレハ施行スルヲ得サル乎又單ニ第六十四條
ニ依レハ町村會ニ於テ議決シ別段條例ヲ以テ規定セス直ニ施行スルヲ得ルヤコモ相見ヘ目下差掛
リ疑義相生シ候條至急何分ノ御指彈相成度此段相伺候也

指令(三十三號)

町村會ノ議決ヲ以テ直ニ施行スルコトヲ得但條例ヲ以テ規定スルモ妨ナシ

○石川縣伺(二十二年四月)

區費徴収方

町村ノ一部ニ開設スル區會ニテ議決スル區費ノ賦課ハ單ニ區費トシテ徴収スルヤ又町村税トシテ賦課スヘキヤ制第三十三條第五ノ明文モアリ疑問ヲ生ス折返御覽ナセヨ

縣治局長回答(三十三頁)

區費ニ關スル件ハ町村税トシテ賦課スヘキ義ト存ス

○山口縣伺(三十三頁)

墓地管理者ノ件

明治十七年十月太政官第二十五號布達及同年十一月内務省第四十號達ニ依リ墓地火葬場ハ町村共用トシ其管理者ノ選定方ハ町村ノ適宜ニ任セ居候處右ハ市町村制實施ノ後ト雖モ制第六十五條委員ノ制ニ依テ之ヲ設ケルヘキモノニ候哉將又該制ニ依リ便宜町村ノ定ムル所ニ任スヘキ義ニ候哉此段相伺候也

指令(三十三頁)

墓地管理者ノ件後段伺之通

○福井縣伺(三十三頁)

常設委員

制第六十五條ニ掲グル常設委員ハ同條第二項ニ依リ町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ選舉スヘキハ勿論ニ有之候得共同條第三項ニ常設委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ許サレタルニ依テハ其町村ノ情況ニ依リ特ニ住民中ヨリ選舉スルノ條例ヲ規定シ得ヘキ哉將々名譽職ナルモノハ特ニ公民ニ附與セラレタル權限ニ付第二項ノ範圍ニ於テ組織ノ條例ヲ設クルコトヲ得ヘキ御主旨ナル乎

指令(三十三頁)

本年八月廿九日付伺町村制中疑義ノ件後段伺ノ通り

○福井縣伺(三十三頁)

監督官廳モ町村員ヲ解職スルノ權アルカ

第六十七條第二項ニ隨時解職スルヲ得ルトハ單ニ其選任ノ權アル町村會ニ付セラレタル權限ナルヤ將々監督官廳モ亦町村員ヲ解職スルノ權ヲ有スルモノナルヤ

指令(三十三頁)

選任ノ權アルモノニ付與セラレタル權限トス

○町村吏員ノ職務権限

○司法省問合(三十二年六月二十日)

從來戸長ニ於テ扱フタル登記事務

鹿兒島縣薩摩國甑島郡及大隅國敷郡熊毛郡ニ於テ今般町村制ヲ實施スルニ付テハ從來甑島郡中甑村及手打村敷嶺郡宮ノ浦村熊毛郡野間村ノ各村戸長ヲシテ取扱ハシメタル登記事務ノ義ハ從來治安裁判所出張所ヲ増設スルニ至ル迄ハ町村長ヲシテ引續キ取扱ハシムヘキ義トハ存候得共御意見至急承知致度此段及御照會候也

回答(三十二年六月二十日)

鹿兒島縣甑島郡外二郡登記事務ノ義ニ付過ル十日民第一三六七號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ御來意ノ通りニテ可然ト存候此段及御答候也

○群馬縣伺(三十二年六月二十日)

町村長助役収入役印章

元戸長公用印章ノ義ハ明治十五年御省乙第二十九號御達有之候處町村制施行ニ付テハ町村長及助役収入役等ノ印章ハ行政執行上一日モ欠クヘカサル勿論之レニ實印ヲ使用セシムルトキハ公私

混同ノ弊害ヲ生スルハ既往ニ徴シ嗟然タル義ニ付公用印章使用爲致候方確實ニシテ諸般ノ便利不尠義ニ付一般公用印章ヲ用ヒサセ可然哉果シテ公用印章使用セシムルトキハ當廳ニ於テ適宜相定可然哉

追テ町村役場印章モ當廳ニ於テ適宜相定可然哉

指令(三十二年六月二十日)

町村長及助役等印章ノ件一定ノ役印ヲ調製使用セシムルヲ要セヌ若シ公務ニ關シ別ニ印章ヲ調製スルモ其大小方圓適宜タルヘシ

但町村役場印ハ従前ノ例ニ依リ調製スヘシ

○兵庫縣伺(三十二年六月二十日)

市町村長役印

市町村長役印ノ義ハ別段通據スヘキ例規等モ無之ニ付市長ハ委任官町村長ハ判任官ノ官印ニ準リ役印調製セシム不普候哉

指令(三十二年六月二十日)

市長町村長ハ官吏ニ準リ一定ノ役印ヲ調製使用セシムルヲ要セス若シ公務ニ關シ別ニ印判ヲ調製

○内務ノ部

町村吏員ノ職務権限

スレモ其大小方圓適宜タルハシテ...

○奈良縣問合(三十二年)

町村長所有ノ地所建物船舶等ヲ書入賣入及賣買セントスルコ...

○長野縣問合(三十二年)

町村長所有ノ物件證明方ノ義ハ自己ノ物件ト雖モ町村長ノ資格ヲ以テ證明スルハ妨ナキ義ト存候

區長及代理者ハ町村長ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケ區内ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助執行ス云

ノ部第五ニ前略其委任事務ノ範圍ハ土地ノ情況ト市町村政廳ノ酌量スルコ...

○福島縣問合(三十二年)

町村會議員ノ發案權

○栃木縣問合(三十二年)

議員撰舉ノ取消ニ關スル件

茲ニ町村會議員選舉ヲ了ヘタル後十數日ヲ經 於テ選舉ノ規定ニ違フタルモノト認メス 町會ヲ開キ
 タルニ前ノ議員選舉ハ規定ニ違フモノトシ其選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行フノ決議ヲナシタルモノ
 有之候處町村制中議員選舉ノ事ニ關シ町村會ニ於テ議決ノ權アルハ專ラ三十條及第三十七條第一
 項ノ協合アルニ過キヤレハ右町會ノ決議ハ法律ニ背キタルモノニ付監督官廳ハ第六十八條ノ一ニ
 依リ町長ニ指揮シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其決議ヲ更メサルトキハ郡參事會ノ裁
 決ヲ乞フノ手續ヲナサシメ可然哉貴官御見込致承知度此段及御照會候也
 追テ本文町會ニ於テ選舉ノ規定ニ違フモノトセレハ投票ニ選舉人名ヲ列記スヘキヲ每一名各紙ニ
 記載シタルハ制第三十三條ノ精神ニ背クト云フニ有之此段添申候也

縣治局長回答(三十三號)

町會ニ於テ其議員ノ選舉ヲ無効トシ再選舉ヲ行フノ決議ヲ爲シタルモノ處分方ニ付本年七月十日
 號外ヲ以テ照會ノ赴右ハ監督上郡長ヨリ町長ニ訓令シ町長ヲシテ制第六十八條二項ノ一ニヨリ處
 分セシムヘキ義ト存候此段及回答候也
 追テ本文町長ニ訓令スルハ町會ヲシテ其法律ニ背キタル決議ヲ取消サシムルニアリ若尙其議決ヲ
 取消サルルハ更ニ町長ヨリ郡參事會ノ處分ヲ請フノ手續ヲ爲ス可キ筋ニ有之候爲念申添候也

○島根縣例(三十三號)

教員旅費俸給

高等若クハ尋常小學校ハ固ヨリ簡易小學校ト雖モ其教員ノ俸給旅費ハ町村制實施ノ今日ニ在リテ
 モ尙其町村ニ於テ自ラ適宜ニ之ヲ規定スルコトヲ得ス小學校令第九條ニ據リ知事ニ於テ定ムル處
 ノ規定ニ據ラシムヘキ筋ナルヤ果シテ然ラハ若シ町村會又ハ町村組合會ニ於テ其知事ノ定ムル處
 規定ニ對シ彼是ノ議決ヲ爲シタルトキハ其議決ハ權限ヲ越ヘタルモノトシ町村制第六十八條第二
 項ノ一ニ依リ其議決ノ執行ヲ停止シ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ郡參事會ノ議決ヲ請フ
 等ノ手續ヲ爲スコトヲ得ヘキハ勿論ナルヤ

指令(法務部) (内務文部兩)
 (大臣連署)

小學校教員俸給旅費ノ件同ノ通

○島根縣例(三十三號)

制第六十八條及六十九條ノ命令ハ郡長ノ命令モ包含スルカ

町村制第六十八條及六十九條中法律命令トアルハ命令ハ同制第一百十條第二項中監督官廳ノ命令ニ
 均シ郡長ノ命令モ包含セシメ妨ナキヤ

縣治局長回答(二十二年)

町村制第六十八條及六十九條ノ命令トハ勅令省令府縣令ノ類ヲ云フ第百十條ノ收支ノ命令ト同シ
カフス此段及回答候也

○岡山縣例(二十二年)

順送人繰替金決算ノ件

明治十五年第五十號公布以前ニ屬スル府縣順送人繰替金償還方各府縣ニ照會候處就中福岡縣民ニ
シテ遞送歸着後失踪爾後所在不明瞭ノ者ニシテ本人單身要償ノ金無之者有之候ハ町村會ノ職ニ付
シテモ本人復歸繰替ヲ受ケル事實明了ナラサシハ辨償シ難キ旨職決シタル趣該縣ヨリ回答有之
候處右ノ場合ハ他ニ類例モ無之曰。客年五月縣令第九二號縣治局長ヨリ兵庫縣知事ニ御回答ノ次
第ニヨリ本人在籍ノ町村費ヲ以テ辨償致候義判然致候義ニ由リ其趣詳細及照會タル處該縣ニ於
テハ前項ノ決議ヲ以テ不當ト難認ニ付本人ノ歸村ヲ待テ繰替ヲ受ケタル事實有之候ハ、該村ヨリ
辨償セシムヘキ旨再應回答有之然レモ本人復歸ノ義ハ難豫期ニ付到底縣治局長御回答ノ通可取計
候外有之間敷相考候ニ共如此拒絕致候ニ付決算方差支候條至急何分ノ御指揮相成度此段相伺候也
書記官通牒(二十二年)

本年八月七日會計第七〇號ヲ以テ順送人繰替金決算方ノ件伺出相成候處右ニ就テハ別紙ノ通福岡
縣ニ訓令相成候間別ニ指令不相成候此段及通牒候也

福岡縣ニ訓令

本年八月七日順送人繰替金決算方ノ件ニ付別紙ノ通り岡山縣ヨリ伺出候處其縣町村ノ會議決ハ法
律命令ニ背キタルモノニ付町村制第六十八條ニ依リ處分シ岡山縣ニ償却方取計ハシメラルヘシ

○三重縣問合(二十二年)

村會ノ議決其職權ヲ誤リ且法律ニ背キタルモノヲ式ニ依リ報告セシ場合ニ於ケル處分方ノ件
去七月木曾川出水ノ際桑名郡木曾岬村ニ屬スル木曾川ノ新堤ニ伏込タル樋管口ヨリ堤防ノ決潰ヲ
來シ木曾岬村ノ内加路戸輪ノ各部落ハ概テ水入トナリ家屋財産ニ巨多ノ損害ヲ被リタルニ付該村
民ハ此損害ヲ以テ木曾川改修工事ニ基因スルモノトシ官廳ニ對シ損害ノ要償ヲ申出ヘキヤノ間有
之種々説諭ヲ加ヘ居候處今般該村會ニ於テ右要償ニ係ル諸般ノ費用ヲ議決シ式ニ依リ郡長ニ報告
セリ然ルニ前陳決計ニ依リテ被リタル損害ハ各自一己ノ財産ニ屬シ法人タル木曾岬村ノ財産ニア
ラサルヲ以テ右等損害要償ニ係ル費用ヲ議決スヘカラサル勿論ノ義ニ有之果シテ然ラハ此議決
ハ村會ノ職權ヲ誤リ且法律ニ背キタルモノナルニ付制第六十八條第一ニ依リ再議ノ手續ヲ履ムモ

ノ、如シト雖モ本來此職決タル他ノ必要ノ職事ニ伴フテ生ゼンモノニ無之ヲ以テ該條項ニ依リ再
議セシムルヲ要セス監督官廳ハ之レカ理由ヲ示シ其職決ノ取消ヲ命シ可然歟右ハ町村制中他ニ據
ルヘキ條項無之ニ付及御問合候

○縣治局長回答(三十二年)

村會ノ職決其職權ヲ誤リ且法律ニ背キタルモノナリトシ由リ報告セシ場合ニ於ケル處分方ノ義ハ尙
制第六十八條第二項ノ一ニ依リ郡長ハ村長ニ指示シ先ノ職決ハ職權ヲ誤リ法律ニ背キタルモノナ
ルヲ以テ宜シク廢止スヘシトノ主旨ニテ再議セシメ可然ト存候此段及御回答候也
追テ堤防決潰ノ爲メ損害ヲ被リタルハ各自一己ノ財産ノミニ限ラス道起橋梁等モ同様ノ義ニ可有
之ト被考候若シ然ラハ村モ亦一己人ト等シク請求ヲ爲シ得ルニ至ルヘク其邊御注意迄申添候也

○廣島縣例(三十二年)

町村會ノ訴願

町村制第六十八條第二項第一ニ基キ村長ハ村會ノ職決命令ニ背キタルモノト認メ其理由ヲ示シテ
議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメタルモ猶職決ヲ更メサルニ依リ郡參事會ノ議決ヲ請ヒタルニ
村會ハ之ニ不服ヲ唱ヘ縣參事會ニ訴願セリ右ハ町村制第二百二十條ニ依リ村會モ訴願シ得ル義トハ

存候得共町村會ノ職務権限内ニ於テ訴願ヲ許スノ規定無之聊疑義ニ涉ル云々

書記官通牒(三十二年)

制第六十八條第二項第一ニ基キ村長ヨリ郡參事會ノ職決ヲ請ヒタル場合ニ於テ村會カ郡參事會ノ
職決ニ不服アルルハ第二百二十條ニ據リ縣參事會ニ訴願スルヲ得ヘキハ勿論ノ義ト存候

○徳島縣例(三十二年)

地方税負擔ノ新道開鑿費ノ内ニ聯合村費ヨリ寄附ノ件

管下三好郡新道開鑿ノ費用ハ全ク地方税支辨ノモノナリト雖モ該郡ハ其關係厚キニ據リ當初ニ於
テ寄附金ヲ爲サント請フモノ若クハ町村費ヲ以テ幾分ヲ負擔セントスルモノアリテ概テ寄附金四
万圓ヲ得ル目算定マレシニ其後民間ノ困難ニ隨ヒ寄附金等ヲ出タモノ少キニ依リ該郡長ハ寄附金
ノ内壹万四千圓ヲ一郡聯合村費ヨリ八ヶ年間ニ支出スルノ一ヲ聯合村會ニ求メ十九年度ヨリ二十
二年度迄毎年度之カ徴収ノ事ヲ可決セリ(本件ハ八ヶ年間ノ繼續ノ議決トス)而シテ之カ費金ノ性質タル全ク聯合
村費ヨリ地方税中新道開鑿費ノ寄附スル精神タルニ外ナラス故ニ地方税ノ精算ニ於テモ單ニ寄附
金ト記帳シ年々其精算ヲ了セシモノナリ然ルニ聯合村會ニ元ト該費ハ全ク寄附ノ性質ニシテ當然
聯合村費ニ於テ負擔スヘキモノニアラサルニ依リ本年度ヨリ之レカ徴収ノ一ヲ廢棄セントスルコ

至レリ右ハ公會ニ於テ議決シタルモノナリト雖元ト寄附ノ性質ニ出テタルモノナルヲ以テ僥令
 本年度ヨリ之レカ徴収ヲ廢止スルモ制第六十八條二項ノ一ニ依リ公衆ノ利益ヲ害スルモノトシ處
 分スヘキ限ニアラサル手將テ本年度ヨリ之ヲ廢止スルノ決議ヲ爲スルハ忽チ地方稅ノ繼續事業ニ
 差支ヲ生スルノミナラス一旦公會ニ於テ決議シタルモノナルヲ以テ其性質ノ如何ニ拘ハラス制第
 六十八條ニ依リ公衆ノ利益ヲ害スルモノトシ處分スルヲ得ヘキ哉右ハ差掛リタル件ニ付直ニ何分
 ノ御意見御報相煩シ度此段及御問合候也

縣治局長回答(三十四號)

本月七日附甲三第三三六號ノ一ヲ以テ地方稅負擔ノ新道開鑿費ノ内へ聯合村費ヨリ寄附ノ件ニ付
 御問合ノ趣了承右ハ前段御見込ノ通ト存候此段及御回答候也

○新潟縣問合(三十四號)

存續聯合會ニ關スル件

本月二日付縣新第五三號ヲ以テ明治二十二年法律第十一號ニヨリ存續シタル聯合町村會ノ評決施
 行ヲ止ムルヲ等ハ町村制ニ依リ處理スヘキ旨御回答之趣了承茲ニ兩郡若クハ五六郡ニ聯亘スル聯
 合町村會ニシテ其議決法律命令ニ背クカ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルハ同制第六十八條二項

ノ一ニヨリ再議ニ付シ猶其議決ヲ更メサレハ郡參事會ノ議決ヲ請フヘキ筋ニ候處右等兩郡以上ニ
 連亘スルモノ、如キハ甲乙孰レノ郡參事會ニ於テ議決スヘキカ若シ會議ノ管理者タル郡長代リテ
 議決スヘキモノト假定スルモ郡參事會ハ本來其一郡限リノ代議機關ナレハ之ヲシテ他郡ノ事務ニ
 干與セシムルハ事理上頗ル穩當ナクモノト認メ候依テ此場合ニ在テハ制文中全ク證據スヘキ麻
 ナキヲ以テ區町村會法ニヨリ縣知事ニ於テ相當指揮ヲ施行セシムル然ルヘキカ目下差掛リ居候件ニ
 付直チニ電報ニテ御回答相成度此段及御照會候也

縣治局長回答(三十四號)

追テ本文聯合町村會ノ賦課ニ對シ町村制第四百四條ニヨリ訴願スルハ其訴願者所屬ノ郡長ニ申
 立ツヘキカ將テ管理者タル郡長ニ申立ツヘキカ是又何分ノ御回報相成度候
 本月七日付第百四十七號ヲ以テ存續聯合會ニ關スル件ニ付御問合ノ趣了承二郡以上ニ亘ルハ關
 係アル郡參事會ノ協議ヲ以テ議決スヘキ義ト存候此段及回答候也

追テ聯合町村會ノ賦課ニ對スル訴願ハ管理者タル郡長ニ申立ヘキ義ト存候

○長野縣問合(三十四號)

町村稅滯納者へ收入役ヲシテ督促令狀ヲ發セシムル件

町村税ヲ完納セサルモノアルハ收入役ヲシテ督促令狀ヲ發セシムルヲ得ル歟

指令(三十四年)

收入役ヲシテ發セシムルヲ得ス

○富山縣伺(三十四年)

墓地及火葬場管理及費用

墓地及火葬場ハ十七年第十五號布達ニ基キ區戸長ノ外別ニ管理者ヲ置キ管理セシメ來候處本年貴省令第一號第一條及本年^{三十四年}勅諭第四五號御省書記官通牒ノ旨趣ニ依ルルハ市町村共有ノモノハ總テ市町村長ニ於テ管理スヘキ様被存候就テハ從前ノ管理者ヨリ市町村長ニ可引繼ハ勿論其墓地及火葬場ニ係ル費用ハ總テ町村税ヲ以テ支辨スル義ニ候哉

指令(三十四年)

客年十二月廿七日伺墓地及火葬場ノ件ハ伺ノ通

但町村會ノ議決ニヨリ別ニ管理者ヲ置クヲ得

○朽木縣伺(三十四年)

墳墓監督者ノ件

本年三月御省訓令第八號ヲ以テ墳墓ニ管理者ヲ置キ招魂社營繕費ノ受取方及該費收支ノ事ヲ取扱

ハシムヘキ旨御達相成候處右ハ其實況ニ依リ該墳墓所在地町村長等ニ若干ノ手當金ヲ給シ之ニ墳

墓監督者ヲ命ジ金員ノ收支等爲取扱候モ不苦候哉

指令(三十四年)

墳墓監督者ノ件伺ノ通

但囑托ノ義ト心得ヘシ

○島根縣照會(三十四年)

町村長ニ於テ保管スル遺留財産中埋葬地處分ノ件

町村長ニ於テ保管スル處ノ失踪逃亡死亡者ノ遺留財産ハ五ヶ年ヲ過クレハ官沒ノ上公賣シ其代金ハ地方稅雜收入ニ入ルヘキ例ニ有之然ルニ該遺財中埋葬地有之右ハ例ニ依リ官沒ノ上公賣ニ付スルハ聊カ穩當ナラサルカ如キ感アレハ之ヲ官沒セス其地ノ町村有ニ歸セシメ差支ナキヤ

縣治局長回答(三十四年)

町村長ニ於テ保管スル遺留財産中埋葬地處分ノ義ニ付司法省民事局長宛御照會ノ趣了承右ハ失踪逃亡死亡者共絶家後五ヶ年ヲ過クルルハ埋葬地ニ其儘他ノ財産同様處分相成可然存候

○熊本縣伺(三十四番)

市町村長職務ニ對シ民事ノ訴ヲ起セシ者アルハ
職務上ノ件ニ付市町村長ニ對シ民事ノ訴ヲ爲セシ者アル場合ニ於テハ從前戶長ノ通り勸解ヲ經ス
直ニ始審廳ノ召喚ニ應スヘキ義ト心得可然哉

指令(三十四番)

追テ指令ニ及フヘシ

○島根縣問合(三十三番)

刑法治罪法中官吏官署官文書トアル中ニハ町村長町村役場モ包含スルヤ否ヤノ件ニ付疑義相生候
ニ付左ニ及御問合候

一 町村長ハ町村制第六十九條ノ事務ヲ取扱フ場合ト雖モ刑法中官吏官署又ハ官文書トアル中ニ
包含セサルヤ

二 治罪法第六十條第二項ノ四ニハ警部アラサル地ノ町村長ハ包含セサルヤ

一 第一項ノ場合ニ於テ治罪法第二十五條第九十六條ノ官吏トアル中ニモ町村長ハ包含セサルヤ
縣治局長回答(三十三番)

右ハ目下御詮議中ニ有之候ニ付即今及回答兼候此段申進候也

但シ第二項治罪法第六十條第二項ノ四ニ警部アラサル地ノ町村長ノ包含セラル、ハ勿論ノ義ニ
有之候

○千葉縣伺(三十二番)

浦役場及難破船諸費ノ件

浦役場及難破船諸費ハ渾テ地方税ヨリ支辨スヘキ制度ニ有之候處町村制施行ノ上ハ浦役場ノ事務
ハ本制第六十九條ニ據リ町村長ノ管掌事務ニ屬シ其管掌事務ヲ執行スルカ爲メニ要スル費用ハ町
村ノ負擔ト定メラレタルニ付爾後地方税ハ單ニ難破船諸費ヲ支辨スル義ト心得可然哉果シテ然ラ
ハ本來浦役場ハ多難破船ニ關スル事務ヲ取扱フ所ナレハ浦役場ノ費用ト難破船ニ關スル費用ハ如
何ナル區別ヲ以テ分割可致哉例ヘハ町村ニ於テ負擔スヘキ浦役場事務取扱費ニ在テハ内國船難破
及漂流物取扱規則第十二條ニ掲ケル諸費ノ内難破船取扱中浦役人即チ町村長ニ支給スヘキ手當並ニ
浦役場ニ於テ消費スル筆紙照薪炭蠟燭及同役場ヨリ發送スル電信料郵便稅脚夫賃其他海員雇入雇
止事務取扱ニ要スル費用ヲ支辨スルモノトシ又地方税負擔難破船救助ニ在テハ同規則同條ニ掲ケ
ル諸費ノ内溺死人搜索費並死傷人治療及埋葬費其他難破船救助ニ付浦役場外ニ於テ消費スル筆紙

區新炭燭燭人足賃等ノ費用ヲ支辨スルモノトシ以テ其町村負擔トシ地方稅支辨トノ區分相立可然哉
 又ハ難破船救助ノ事務ハ即チ浦役場ノ事務ニシテ其難破船救助ノ爲メニ要スル費用モ亦テ町村ノ
 負擔トシ地方稅費目申浦役場難破船諸費ハ全ク之ヲ取除キテ可然義ニ候哉右彼是疑似ニ涉リ候間
 相伺候云々
 追テ新制實施ノ上町村長ニ給料ヲ與ヘサル場合ニ於テモ浦役人ノ手當ハ該規則變更不相成限リハ
 從前ノ通リ支給可然義ニ候哉併テ相伺候也

内務書記官通牒(三十二年)

浦役場及難破船諸費ノ義ニ付客年八月廿八日付稟伺相成候處右ハ月日内藏向大臣ヨリ訓令相成候

ニ付テハ稟伺ニ對シテハ別ニ指令不被及候此段及通牒候也

各府縣ニ訓令(一五四號)(三十二年)

内藏向大臣連署

(三十二年)

難破船漂流物取扱費

明治八年四月第六十六號布告内國船難破及漂流物取扱規則第十二條ノ費用中從前地方稅ヲ以テ支
 辨シタルモノハ客年法律第一號市制及町村制實施後左ノ區分ニ依テ支辨スル義ト心得ラルヘシ
 第一 自然消滅ニ屬スルモノトス

第二及第三 市町村ノ負擔トス

第四及第五 地方稅ノ負擔トス

右訓令ス

各府縣ニ通牒

市制町村制施行後内國船難破及漂流物取扱規則第十二條ノ費用負擔區分方ニ付内藏向大臣ヨリ訓
 令相成候ニ付テハ明治十六年中參考ノ爲メ差進置候地方稅費目編入備考第十二目ノ義市制町村制
 ノ日ヨリ左ノ通相改候間爲念此段及御通牒候也

難破船諸費 救助人溺死シタル中其搜索入費

同前ノ者死傷シタル中其治療埋葬入費

○遞信省同令(三十二年)

浦役場名稱

客歲法律第一號市制及町村制ニ依レハ浦役場ノ事務ハ市町村長ノ管掌ニ屬シ浦役人名稱ノ消滅ス
 ルニ拘ハラヌ浦役場ノ名稱ハ依然存置スル義ニ候哉又其事務ハ市廳若クハ町村役場ニ於テ執行ス
 ルヲ以テ浦役場ノ稱モ自ラ消滅スル如ク相見ヘ聊疑義ニ涉リ候間一應貴省ノ御所見詳知致度此段
 及御照會候也

總務局長回答(三十三號)

浦役場名稱ノ件ハ前段御意見ノ通浦役場ノ名稱ハ依然存置スル義ト被相考候條此段及御回答候也

○宮城縣問合(三十三號)

海員取扱費

海員取扱費ハ本年四月以後市町村ノ負擔ナルヤ

縣治局長回答

海員取扱費ノ件御意見ノ通リト存ス

○福島縣伺(三十三號)

漂流物保管料

漂流物件ヲ保存シ又ハ之ヲ公告スル等ノコト付費用アルモノハ難破船取扱規則第三十四條ニ據リ公賣代價全額中ヨリ先ツ其費用引去リタル殘額ノ一半若クハ三分一ヲ拾得者ニ給與スル成規ニ有之候處此ニ右公賣代金ヨリ其費用多額ヲ要シ償フ能ハサルキハ拾得者ニ給與セラレサルハ勿論該費用支辨方ハ同則第十五條ニ據リ官費支給トシテ別途請求可致義ニ有之候ヤ

指令(三十三號)

漂流物保管料ノ件ハ公賣代金ノ費用ヲ償フニ足ラサル場合ニ於テハ浦役場事務取扱ニ係ル費用ニ限リ其不足ハ官費支給スルニ

○司法省照會(三十三號)

公證人規則中規定ノ郡區戶長ノ證明書

公證人規則第二十八條第二項郡區長ノ證明書ヲ與フルハ郡區戶長職務ニ候處市町村制實施ノ場所ニ在テハ町村長ハ勿論該職務繼續取扱候義トハ存候得共御意見至急承知致度此段及照會候也

内務省回答(三十三號)

公證人規則第二十八條ノ義ニ付本年六月廿八日第一六四七號ヲ以テ御照會ノ趣致領承候右ハ市町村長ニ於テ該職務ノ繼續取扱候義ト存候此段及回答候也

○青森縣伺(三十三號)

町村收入鑑定保管ノ爲メ掛屋ヲ置クノ件

町村収入役及町村長ノ收入金ヲ鑑定及保管セシムルカ爲メ町村ニ掛屋ヲ置キ其給料ヲ町村費ヨリ支給スルヲ得ヘキヤ

指令(三十三號)

○内務ノ部

町村吏員ノ職務権限

町村収入役及町村長ノ収入ヲ鑑定及保管セシムル爲メ町村ニ掛屋ヲ置クヲ得ス

○兵庫縣伺(三十三号)

市収入役ニ爲替方ヲ命シ現金取扱

市役所ニ於テハ多額ノ金員ヲ出納スルニ付収入役ハ更ニ爲替方ヲ命シ現金ノ取扱ヲ爲サシメ不苦

識

指令(三十三号)

市會ノ議決ニ準據シ銀行又ハ爲替營業者ニ爲替方ヲ命スルハ妨サレ

○新潟縣伺(三十三号)

収入役ノ代理

市町村ノ収入役事故アリ又ハ缺席中ニテ其事務ヲ執ル能ハサル場合ニ於テハ書記ヲシテ代理セシ

ムルヲ得ヘキ哉又ハ市町村長其事務ヲ執ルヘキ乎

指令(三十三号)

市町村制疑義之件事故アルトキハ収入役自己ノ名義ヲ以テ事務ヲ代理セシメ又欠員中仮リニ執務

者ヲ定ムルトキ共ニ町村會ノ議決ヲ以テ適宜規定スヘシ

○鹿児島縣伺(三十三号)

區長及其代理者ノ執行スル事務

市町村制ニ依ル區長及其代理者ノ執行スル事務ハ市制第七十二條ニ於テハ市行政事務トアリ町村

制第七十三條ニハ町村長ノ事務ト有之候得共右ハ市制第七十二條ニ照應スルモノニシテ町村制第

六十九條ノ事務ハ勿論包含セサルモノト心得可然哉

指令(三十三号)

市町村制疑義ノ件伺ノ通

○和歌山縣伺(三十三号)

制第七十四條ニ項委員長可否ノ數ニ入ルノ件

町村制第七十四條第二項委員長ハ委員ノ議決ニ加ハルノ權ヲ有スト有之右委員會ハ畢竟相談會ナ

ルモノナシハ委員長モ共ニ其可否ノ數ニ入ルヲ得ヘク而シテ若シ委員長ヲ併シテ可否同數ナル片

ハ尙委員長ニ於テ便宜之ヲ決スルヲ得ル乎

前同項助役ヲ以テ委員長ト爲ス場合ニ於テモ町村長ハ臨時委員會ニ出席シテ其委員長トナリ云々

ト有之右ハ町村長臨時委員長トナル時ハ元トノ委員長タル助役ハ議席ニ列シ他ノ委員ト同一ノ權

ヲ有スルキ乎

指令(三十三号)

伺ノ通

○福井縣伺(三十三号)

委員

第七十四條第二項ノ明文ニ依リハ委員ハ衆議体ニ限ルモノ、加シト雖モ營造物ノ管理又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スル等ノ場合ニ於テ單ニ一名ノ委員ヲ設クルモ妨ナキ乎

指令(三十三号)

伺ノ通

○給料及給與

○富山縣伺(三十三号)

制第七十六條二項那參事會ハ其支給額ヲ決議又ハ其給否ヲ決議スルカ町村制第七十六條第二項那參事會ハ決議ニ附シテ之ヲ確定ストハ町村會ノ決議額ヲ左右シテ之カ支給額ヲ指定スル義カ將軍ニ之ヲ支給スルト否トヲ指定スルニ過サル義歟

指令(大藏大臣) 連名(三十三号)

前段伺ノ通

○奈良縣伺(三十三号)

有給町村吏員退隱料

有給町村吏員ノ退隱料ハ終身支給スルキ性質ト相考候處其金額及之ヲ支給スルト否ハ總テ町村會ノ決議ニ據ル以上ハ町村會ニ於テ支給ノ年限ヲ議定スルモ妨無之該將々假令町村ノ經濟ニ關係アルモ一旦退隱料ヲ給セム上ハ其者ニ於テ之ヲ受ルキ權ヲ失ハサル限リハ終身支給スルキ義ニ候哉

指令(三十三号)

退隱料ノ件前段伺ノ通

○福岡縣伺(三十三号)

市町村吏員賞與方

市町村吏員懲戒處分ノ義ハ法律中規定有之候得共職務他屬者取扱ノ義ハ未タ何タル規定モ無之市町村ノ名譽職ヲ擔任スルハ公民ノ公義務ニハ有之ト雖時ニ頌揚スルキ偉業ヲ成就シタルモノ及職

務上特別勉勵セシモノニシテ市町村限リ之ヲ賞與スルモノニ至リテハ其市町村ノ適宜ニ任セ差支無之機被存候處市町村會ノ評決ヲ以テ郡長若クハ縣知事ニ於テ賞與セシムル場合ハ郡長若クハ知事ノ名ヲ以テ行賞スルモ敢テ差支有之間敷ノミナラス反テ監督上必要ノト相認候へ共新制施行後未タ適例無之候間御意見如何ニ候乎

縣治局長回答(三十四年)

市町村吏員賞與方ノ件ハ市町村自治内ノトニ付會議ノ議決ニロルモ之ヲ他ニ委託スルヲ得サル義ト存候

○岡山縣問合(三十四年)

市町村吏員退隱料

本年九月四日付縣甲第五四號ヲ以テ市町村吏員ノ退隱料ヲ定ムル件ニ付御通牒ノ趣了承右ハ御牒ノ後段ノ場合ニ於テ年限若クハ一時限リ別ニ給與金ノ例ヲ設ケントスルルキニ於テモ矢張條例ヲ以テ之ヲ規定スルキ義ニ候乎果シテ然ラハ市制町村制第七十七條ニ準シ退隱料ノ範圍内ヲ以テ有給吏員給與ニ關スル條例トシテ規定スルキ義ニ候乎

總務局長回答(三十四年)

年限若クハ一時限リ別ニ給與金ノ例ヲ設ケル義ニ無之假令條例ニ規定スト雖も制第七十七條ニ準スルヲ得サル義ニ有之候

○町村有財産ノ管理

町村有財産及町村税

○京都府例(三十四年)

町村基本財産

町村基本財産ハ町村ノ賑ヲ以テ活動スル處ノ根底ニシテ其積立維持法等ノ必要ナル勿論ニ候處此般合併ヲ要スル町村ニ於テ現ニ其共有ニ屬スル不動産又ハ積立金穀スルモノ無之即チ大抵基本財産ノ種子ヲ有セサル有様ニ有之右等町村ハ町村自ラ其財産貯蓄積ノ必要ヲ感シ其方法ヲ立ントスルトキハ町村條例ノ規定ヲ以テ其住民ヨリ一般ニ蓄積セシムルヲ得ルハ勿論若シ基本財産トスル爲メ一時不動産ヲ買入ントスルルキハ町村収入ヲ以テ其支出ニ充ルヲ得ル義ト心得可然乎

訓令(三十四年)

町村ニ於テ基本財産ヲ造爲スルニハ條例ヲ以テ其方法ヲ規定シ又ハ町村費ヲ以テ其不動産ヲ買得ヌルハ妨ケナント雖も可成町村人民ニ於テ其負担ニ差支ナキ時機ヲ見計ヒ之ヲ施行セシムル様注

○内務ノ部

町村有財産ノ管理

意セラルヘシ

○宮崎縣伺(三十三)

町村基本財産

町村制第八十一條第二項ニ臨時収入シタル金額ハ基本財産ニ加入スヘシトアリテ其但書ニ寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ非ラズト有之候處若干ノ原資金ヲ寄附シ教育費土木費等ノ基本財産トシ其額ノミヲ以テ右ノ費用ニ支出スルノ目的ニテ寄附スルモノハ仮令其使用ノ目的ヲ定ムルモ其原資金ハ基本財産ニ加入スヘキモノト相心得可然哉

指令(三十三)

本年七月八日第六九七號伺町村基本財産ノ件使用ノ目的ヲ限ル原資金ト雖モ之ヲ類別シ基本財産トシテ維持スルコトヲ得

○富山縣問合(三十三)

臨時ノ収入

一制第八十一條二項ノ臨時収入ノ金額トハ其年度ノ經常歳入出ノ豫算表ニ登載セサルモノ、収入ヲ臨時収入ト指稱スヘキモノナルヤ

一其年度ノ豫算表ニ登載ナキモ總テ經常費ヨリ生スル収入ハ雜收入トナスヘキモノトセハ實際ニ於テハ唯寄附者使用ノ目的ヲ指定セサル寄附金ノ外臨時ノ収入ト指稱スヘキモノ無之ヲ如何トシテハ町村經常費目ニ一定ノ規則ナク町村會隨意ニ費目ノ款項ヲ設クルコトヲ得ルコト由リ臨時款項ヲ設クルハ經常費外ノ収入ハ絶テ無之ニ至ルヘケレハナリ然モ尙臨時収入トナルヘキモノアルトモハ其實例御示シ相成度候

縣治局長回答(三十三)

- 第二項 臨時収入トハ經常歳入出豫算表ニ登載スヘキ収入金ノ外トス
- 第三項 支出ノ目的ナクシテ収入シタル共有財産賣却代ノ類

○京都府伺(三十三)

従前所属未定ノ地指定方

町村區域名稱變更ニ係ルモノハ其時々經伺可致之處今般町村制施行ニ付テハ従前所属未定之地所ニ對シ其所屬指定ノ協議相整ハサルモノ有之候時普通經伺之順序相違候テハ町村制施行上本年四月一日施行忽テ差支ヲ生候間此際ニ限り所属指定ノ義府限リ處分ノ追テ上申ノ遲特ニ御差許相成度此段相伺候也

指令(三十四号)

三月五日庶第五一號所屬未定地之義何ハ開届難シ

○宮城縣何(三十四号)

市役所町村役場其他町村立學校病院等ノ敷地地租ノ件

市役所町村役場其他町村立學校病院等ノ敷地ハ市町村營造物中ニ屬スル市町村ノ共有物ナルヲ以テ其地租ハ民有地第二種ニ組入ルヘキモノニ可有之哉

前項果シテ何ノ通トセハ從來官有地第三種ニ組入有之候モノ、内區町村役ヲ以テ開設又ハ修理スル里道敷堤塘敷ハ市町村共總テ民有地第二種ニ組替ニ可キモノト心得可然哉

指令(三十四号)

地租ノ件第一項ハ民有地第一種ニ組入ルヘシ第二項ハ追テ何分ノ義指令スヘシ

○新潟縣何(三十四号)

公園建物等市ニ引繼ノ件

明治二十二年一月内務省令第一號ニ依リ當縣新潟公園ヲ新潟市ノ所屬ト定メ(園地ハ官有地ノ儲蓄置)其資本金及建物樹木等公園ニ關ル經濟並其保管ノ事務ヲ悉皆新潟市ニ引繼申度此段上申候也

指令(三十四号)

市會ノ議決ヲ經タル上ハ開届ク

○徳島縣問合(三十四号)

町村有物件營造物使用及料金徴収

町村ノ所有物件又ハ營造物ノ使用ヲ許可シ之レカ使用料ヲ徴収スルコトハ制第八十四條ニ依リ條例ニ規スルヲ以テ自ラ其料金ノ増額變更等ヲ要スルトキモ條例ノ改正ヲ要シ共ニ制第二百二十五條

一ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ勿論ニ有之然ルニ使用料ノ新設増額變更ニ關スル町村會ノ議決ハ同第二百二十六條ニ依リ内務大臣副大臣ノ許可ヲ受クルヲ要シ同一ノ事件ニシテ再應内務大臣ノ許可ヲ受クルモノ、如ク疑問ヲ生シ候ニ付左ノ如ク解釋ヲ下シ及御質疑候間何分ノ御回答相

成度候也

一町村制第八十四條ニ依リ使用料ノ一ヲ條例ニテ規定スルハ單ニ使用ヲ許シ及其使用料ヲ徴収スルコトニ止メ使用ノ料金(其物件ハ一年又ハ一ヶ月金何程)ハ第二百二十六條ニ依リ規定スルノ主旨ナルヤ

縣治局長回答(三十四号)

御見解ノ通ト存候尤モ使用料額ヲ併シ規定シタル條例ニシテ内務大臣宛稟請ノ向ハ許可相成

候例ニ有之候

○福岡縣問合(二十二年)

制第八十四條中ノ一時ノ加入金

町村制第八十四條中ノ一時ノ加入金トハ所謂敷金ノ類ニシテ年期滿テ使用ヲ止ムルハ一時加入金ハ返還スル如キ規定ヲ設クルモ差支無之哉

縣治局長回答(二十二年)

一時ノ加入金ハ敷金ノ類ニアラサルヲ以テ返還スルカ如キ規定ヲ設クルヲ得ス

○長野縣問合(二十二年)

手数料徴收上訴願

町村ニ於テ徴收スル手数料ノ不服ニ付テハ訴願スルヲ得サル乎得ルトセハ何條ニ依ルハキヤ
縣治局長回答(二十二年)

町村制百四條ニ依リ訴願スルヲ得ル義ト存ス

○岡山縣問合(二十二年)

町村有財産使用ノ件

第二項 町村制第八十三條ニ舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スルモノ云々トアリ第八十四條但書ニ特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スルモノ云々トアリ右ハ町村有財産中即チ田畑宅地及普通ノ貸屋等ノ如キ其小作料借屋料等ヲ納メ相對契約上ヨリ使用スルモノハ民法上使用ノ權利ニ屬シ溜地ノ用水及柴草山ノ肥料山林ノ下草ヲ採取スル爲メ慣行アル區域ニ限リ使用スルモノ、如キハ慣行上使用ノ權利ニ屬スル義ト解釋シ可然哉
第二項 前項果シテ然ラハ柴草山等ニシテ之ニ生スル下草等チ一人又ハ數人ニ於テ特ニ採採セントスルモノニ對シ其採採ノ料金トシテ各自ヨリ之ヲ徴收セントスルモノ、如キハ制第八十四條ニ適用シ可然哉

縣治局長回答(二十二年)

總テ御意見ノ通ト存候

○静岡縣問合(二十二年)

復籍人返送養金未償者處分方

管下人民ニシテ復籍返送ノ際他府縣管下ニ於テ養替ヲ受テ未償却ノ者有之内其町村在籍ナルモ本人死亡或ハ在監中ノ者ニシテ財産等毫モ無之且ツ他ニ親戚ナク該費用償却ノ目途無之者ハ其町村費

キ以テ繰替ヲ受ケクハ諸費辨償致サスヘキハ勿論ノ義ニ候哉

指令(三十三号)

復籍人遞送繰替金未償ノ者處分方ノ件伺ノ通

○新潟縣伺(三十三号)

行旅病人費用之件

行旅病人取扱規則廢止後偶重症餓餓ニ迫ル者有之候キハ豫テ伺定ノ如ク差向相當ノ救護ヲ加ヘ其費用ハ有籍者ハ本籍無籍者ハ其地方ノ救育費ヲ以テ支辨爲致來候處茲ニ當縣本籍ノ者ニシテ明治元年以來東京府下ニ寄留重症餓餓ニ迫リ途上ニ病倒致居候ヨリ一時救護ヲ加ヘ尙發育院ニ移シ治療セシメタル趣ハ候處今般右ニ係ル費用東京府ヨリ照會有之然ルニ本人ハ素ヨリ無資力ニシテ赤貧洗フカ如ク亦親屬ト雖モ之ト同様該費用ノ幾分モ償却シ能ハサル狀況ニ有之右ハ年來寄地ニ住居致本籍ハ其戸籍ヲ存スルノミヨ有之元來寄留人ヲシテ行旅病人ト見做シ取扱候義ハ甚稀當ナラサル様思致候ニシテ行旅病人ニ準スヘキモ已ニ町村制ノ如キハ本籍寄留ノ別ナク其町村ノ住民ナル上ハ利害モ共ニスル義ハ勿論ノコト付前件費用ノ如キモノハ現住地ノ負擔ニ歸スルヲ當然ト思考致候得共寄留者ニ在テハ類例モ無之一應相伺候間何分ノ御指揮有之度此段相伺候也

指令(三十三号)

行旅病人費用ノ件從前ノ通取扱フヘシ

(參照)縣治局長通牒(三十三号)

二十二年十二月九日甲第二一四號付御指令ノ義ニ付同月十八日付第千二百四十一號ヲ以テ伺出ノ趣有之候處從前ノ通トハ寄留者ニ係ル救護費モ亦本籍地方稅ヨリ支辨スヘントノ旨趣ニ有之候條右御了解ノ上ハ本月十八日付伺書ハ取下ヲ候様致度此段及御照會候也

○山形縣伺(三十三号)

郡長管理ニ屬スル町村費滞納者督促令狀手数料及諸品費支途

郡長管理ニ屬スル町村費滞納者督促令狀手数料及諸品費ハ其職務ニ係ルニ付キ地方稅ヨリ支出シ其雜収ニ入ルヘキモノナルヤ又ハ町村費ヨリ支出シ其雜收入ト爲スヘキ者ナルヤ

指令(三十三号)

右督促ニ要スル費用ハ町村費ヨリ支出シ督促手数料ハ町村歳入手數料ノ項ニ編入スヘシ

○東京府伺(三十三号)

宿村遞送繰替費ノ件

宿村運送線替費ノ義ハ其家元ヨリ償却可致ハ勿論ニ候得共本人無資力又ハ失踪等ニシテ代償スヘキ親族等無之ハ去ル七年御省甲第二十四號達但書ニ依リ線替當時ノ在籍町村ヨリ償却スヘキ義トハ存候得共云々

指令(三十三號)

右ハ七月(月八年ノ誤ナラ)甲第二十四號達但書ニ依リ現時在籍町村ヨリ償却スヘキ義ト心得ヘシ

○福島縣伺(三十三號)

府縣會議員選舉規則ニ依ル立合人ニ附テ要スルトキ支辨費途

第一條 府縣會議員選舉規則第十七條ニ依リ立合人ヲ指定シタル其立合人ノ爲メニ若シ附テ要スル場合ニ於テハ郡經費ヲ以テ實費支辨シ可然哉

第二條 選舉規則第四十八條二項ニ依リ町村長及町村役場吏員中ヨリ書記ヲ命シタルトキハ郡經費ヲ以テ適宜日當等ヲ支給シ可然哉

指令(三十三號)

第一條 給料支給ノ限リコアラヌ第二條旅費日當ハ其町村ノ規定ニヨリ町村費ヨリ支辨スヘキモノトス

○山形縣伺(三十三號)

道路掃除

道路掃除ノ義ハ明治五年十月第三百二十五號布告ニ基キ道路掃除心得ヲ設置シ各町村ヲシテ其受持ノ區域ヲ定メ掃除爲致來候處明治十六年中縣會ニ諮問ノ末地方稅土木費支辨方法ヲ規程シ管内ニ布令候ニ付テハ原來地方稅支辨ニ屬スルモノト町村費ノ支辨ニ屬スルモノト區域自然相立テ候得者道路掃除ノ如キモ其支辨ノ區別ニ從ヒ地方稅ヲ以テ支辨スル道路ハ地方稅ニ町村費ヲ以テ支辨スル道路ハ町村ニ負擔セシメ可然ヤ又ハ道路掃除ノ如キハ右第三百二十五號布告ニ據ルヘキモノトシ地方稅ト町村費トノ支辨道路ナルト否トニ關セズ從前ノ通り受持區域ヲ定メ總テ町村ノ負擔トシ可然ヤ若シ果シテ後段ノ通ナリトモハ町村ニ於テ地方稅ノ負擔タルヘキ道路ニ對シ町村費ヲ以テ支辨スルノ義務ナキナ理由トシ右負擔ニ應セサルモノ往々有之施行上頗ル困難ノ事實アルヲ以テ此場合ニ於テハ町村制第二百二十二條第一項ヲ適用スルヲ得ヘキヤ

書記官通牒(三十三號)

道路掃除ノ件ハ總テ後段伺ノ通り御心得可有之就テハ別段指令不被及候間云々

○岡山縣伺(三十三號)

○内務ノ部

町村有財産ノ管理

吊祭扶助料

岡山縣備中國賀陽郡元北村外一ヶ村戸長

右役場小使

大月善右衛門

管野景輝

右兩人ハ去ル明治二十一年一月廿七日夜管下備中國賀陽郡元北村外一ヶ村戸長役場宿直中該役場
 へ凶賊數名公金ヲ強奪スルノ目的ヲ以テ各自白刃ヲ閃カシ入シ金品ヲ強奪セントスルニ當リ兩
 人共防禦至ラサルナキモ如何セン身ニ寸鉄ヲモ持タズ遂ニ縛セテ凶刃亂打ノ下ニ殺害セラレ
 其慘狀聽ク者ナレテ今尙酸鼻ナラシム而シテ凶行者片山鶴太郎外四名ハ同年三月中巡查之ヲ捕獲
 シ金川警察署ニ於テ取調タル處實ニ稀有ノ凶賊ニシテ該犯ハ客年十二月中岡山重罪裁判所ニ於テ
 片山鶴太郎外一名ハ死刑ニ外二名ハ無期徒刑ニ一名ハ獄中ニ於テ死去セリ然ルニ被害者管野景輝
 大月善右衛門ノ兩人ハ今日ニ於テ其遺族カ生活上困難ヲ訴フル場合ニハ無之ト雖モ何レモ公務宿
 直中必死ノ働キヲ爲シタルモ及ハス斯ル横死ヲ遂ケタルハ甚々惘然ノ次第ニ付明治十五年第六十
 七號公達ニ準シ吊祭料並遺族扶助料下賜可相成者ト見認候然ルニ被害者ノ内大月善右衛門ハ別紙

戸籍寫ノ如ク大月貞藏ナルモノ、同居ノ實ニシテ且無妻子ナルヲ以テ同人ニ依テ生活ヲ爲ス遺族
 無之就テハ大月善右衛門ハ吊祭料金三拾圓管野景輝ハ吊祭料金三拾圓並遺族扶助料金百圓下
 賜致シ可然哉

指令(在時時)

戸長ニ係ル吊祭料ハ現俸給一ヶ月分扶助料ハ現俸給五ヶ月分二十二年度地方稅中戸長以下給料旅
 費ノ追拂トシ常置委員ハ諮問ノ上二十三年度豫備費ヨリ支給スルヲ得ヘク小使ニ係ルモノハ町村
 會ノ決議ヲ取リ町村稅ヲ以テ適宜追給スルヲ得ヘキ義ト心得ヘシ

○長崎縣伺(在時時)

行旅病人救護費

熊本縣託摩郡本村丸山伊平妻サトナルモノ明治二十年四月廿五日縣下南高來郡湊町旅人宿營業人
 井村安太郎ナルモノ方へ宿泊中疾病ニ罹リ同月三十日該宿主井村安太郎ヨリ旅人丸山サトナルモ
 ノ發病ノ趣湊町戸長役所へ届出タルニヨリ戸長ハ熊本縣行旅病人取扱手續ニヨリ可取扱旨相示
 シ置キ同日直ニ該戸長ヨリ原籍役場へ身柄引取方照會セシニ夫伊平病氣ニ付引取方一周間經過ス
 ルモ到着セサルヲ以テ同年六月十日更ニ原籍役場ニ向ヒ督促セリ然ルニサトナル者ハ家出ノ際事

情アルヲ以テ引取難致趣夫伊平ヨリ申出候段回答來候仍テ同月廿一日藥價其他救護諸費廿六圓九拾錢償却方原籍役場へ依頼セシモ在再償却致サヌ二十一年六月八日ニ至リサトハ遂ニ死亡セリ直ニ繰替金總計貳百貳圓十三錢償却方照會セシモ同年十月廿六日付ヲ以テ伊平貧困ニシテ當時金策ノ道無之當分償却方猶豫願出候趣原籍役場ヨリ通知來候其後數回督促スルモ尙償却致サヌ二十二年九月十八日ニ至リ原籍役場ヨリ別紙申號寫ノ通照會來リ之ニ對シ役場ヨリ照會等ヲナスモ到底落着ノ見込ナキモノト認メ候ニ付右償却方速ニ相運ヒ候様態本縣へ照會方漆町長ヨリ本廳へ出願致候據テ救護ノ事實取調候處元戸長ハ救護當初ヨリ宿主ヲシテ總テ入費ヲ繰替シメ戸長役所ヨリ於テハ救護ニ係ル費用一切支出セシモノニ無之候然ルニ原籍ヨリ償却方不運ヒナルニヨリ戸長役所ヨリ於テ繰替タル姿ニナシ原籍へ償却督促ヲナセシ等元戸長ニ於テ手續上不都合ノ麻モ有之候得共サトナルモノ當時重病ナリトシ又元戸長ニ於テ宿主へ救護方指命セシハ事實相違無之明治十八年五月十二日石川縣伺ニ對シ御省御指令ノ趣モ有之候ニ付町長申立ノ通繰替金償却方ノ件熊本縣へ照會致置候然ル處宿主井村安太郎ハ繰替金償却方通延ナルカ爲メ漆町長ヲ相手取リ繰替金渡方請求ノ訴訟ヲ起シ別紙乙號寫ノ通本年三月五日長崎始審裁判所ニ於テ金貳百拾八圓六拾三錢三厘(内拾四圓三拾三錢三厘ハ二十一年十二月ヨリ)ヲ連ニ辨償スヘシ訴訟入費ハ被告ノ負擔ナルヘシ(二十三年一月マテ十四ヶ月分成規六分利子)

ト判決相成候元來戸長役所ニ於テ該費ヲ繰替シナラハ利子ヲ付スルノ筈ナキモ宿主ヲシテ之ヲ繰替シメ且ツ原籍ヨリ償却方通延セシ爲メ利子ヲ生セシモノニシテ元戸長ノ取扱方不都合ノ麻モ有之候得共現ニ戸長ノ資格ヲ以テ救護方ノモノニ付該費金ハ家元ヨリ辨償セシメ家元亦貧ナレハ原籍地方稅ヲ以テ償却候ハ勿論ノ義ト相心得可然候尙裁判申渡ニ係ル繰替金利子ハ原籍ヨリ訴訟入費ハ救護地役場費ヨリ支辨スヘキ義ト相心得可然候

指令(二十三年四月)

行旅病人救護費ニ關スル件繰替金ノ利子並訴訟入費ハ救護地役場費ヨリ支辨スヘシ其他ハ伺ノ通

○長崎縣伺(二十三年)

港灣浚渫費

長崎港浚渫及改良工事ハ去ル明治十年ノ企圖ニ係リ其費金ハ十五年度以降向フ五ケ年間三萬圓宛國庫ヨリ御下附相成其後十八年御省石黒技師出張ノ上中島川變流工事完全ノ設計相立其竣工費三十余萬圓ノ巨額ニ上リテ故國庫ノ補助ヲ仰キ地方稅及區町村費ヲ併セ支辨シ其事業タル本年度ヲ以テ全ク竣功ヲ告ソシスルニ至リ然ルニ本港ノ地形タル三面ニ山ヲ環ラン且ツ地積ニ比シ人口夥多ニシテ苟モ犁鋤ノ以テ容ルヘキ限リハ招テ田圃トナシ殆ント寸壤尺地ヲモ余サ

○内務ノ部

町村有財產ノ管理

ハ、此状況ニ有之候得ハ將來全ク土沙ノ洗落ヲ防遏シ得テ港内填游ノ禍害ヲ除去シ能ハサルハ、然ル事ニ有之因テ港灣維持費トシテ自今年々金一万圓宛國庫ヨリ御下附相成度再應及上申候處本年七月廿一日付ヲ以テ港灣費下附ノ件詳議及ヒ難シト御指令有之然ルハ將來若干ノ維持費ヲ要スルハ實際不得已費也ニ有之候處本港利害ノ關スル處唯一地方ニ止マラス其利害全國ニ關係シ實ニ四海樞要ノ良港ナレハ之ヲ一地方費ニシテ委託スヘキモノ無之ノミナラス且負擔シ得ヘキモノニモ無之然ルニ前文ノ如ク御指令相成候トキハ自今港灣費ハ國庫又ハ地方稅或ハ關係町村費ノ内孰レニテ以テ主擔ト相心得可然哉

書記官通牒(三十三號)

港灣ニ係ル制度未ク確定セサル今日ニ候得共地方稅規則制定以來凡ソ土木費ハ特ニ國庫ヨリ支辨セラル、者ノ外都テ地方ノ負擔ニ屬シ居候義ニ有之此段申進候

○廣島縣問合(三十三號)

基本財産潤殖

町村制第八十八條第二項ニ町村ハ其財産ヨリ生スル收入及使用料法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ猶不足アルハ町村稅及ヒ夫役現品ヲ賦課徵收スルコト得ト有之候得

共右ハ町村ノ事情ニ依リ町村稅ハ制限ニ超過セサル限リハ之ヲ賦課徵收シテ同條第一項ノ費用ニ充テ其町村ノ財産ヨリ生スル收入及使用料等ハ基本財産トナシ之ヲ潤殖スルノ方法ヲ町村會ニ於テ議決セシルハ同條百二十七條ニ依リ取扱差支無之ト認候得共如何有之乎

縣治局長回答(三十三號)

町村稅ノ制限ヲ超過セサル限リ賦課徵收シテ町村ノ支出ニ充テ其財産ヨリ生スル收入及使用料等ハ基本財産トシテ増殖スルノ方法ヲ設クル件ハ右ハ町村ノ負擔ニ余裕アルトキハ町村會ノ決議ニ任セ妨ケナキ義ト存ス

○宮崎縣問(三十三號)

堤塘使用

堤塘使用ノ義ハ従前慣行アルモノヲ除ク外新規使用差許サ、ル等ニテ假令民有ニ屬スル分ト雖も從來ノ因襲ヲ以テ使用仕來候モノハ官ノ許可ヲ得ヘキ成規ニ候處町村制施行ニ付テハ該制第十條第二項ニ依リ規則ヲ設ケ使用スルヲ得ヘキ筋ニ候哉

果シテ然ルハ民有ニ屬スルモノニシテ従前許可ノ分使用料徵收方ノ義ハ關係町村ニ於テ爲取扱可然乎

指令(二十二年)

前段地盤官有ニ屬スルモノハ追テ何分ノ規定アル迄従前ノ例ニ依ルヘシ其町村有ニ屬スルモノハ
町村制ニ依リ條例又ハ規則ヲ設ケ使用セシムルコトヲ得

後段町村ニ於テ取扱フヘキモノトス

○兵庫縣伺(二十二年)

明石飾摩兩港帆別錢徴収

縣下播磨國明石郡明石港之義ハ素ト人造ニ成立テ平常浚深ヲ施サ、レハ候テ港内埋埋船舶出入ニ
差碍不尠ニ付去ル明治八年以降經伺ノ上港船舶ヨリ帆別錢ヲ徴収シ常浚費ニ支消ノ義許可致居候
處客年十二月滿期ニ至リ尙又同地人民ノ出願ニヨリ本年以降五ヶ年繼續之義去ル二月廿五日上甲
九二號ヲ以テ伺出又同國飾東郡飾摩港ノ義モ同様人造ニ屬シ加フルニ南海ニ突出スルヲ以テ常
風波ノ爲メ多量ノ大砂ヲ打込ニ漸次灣内ニ堆積シ船舶出入ノ障害不尠ニ付明治八年以降許可ヲ得
テ帆別錢ヲ徴収シ常浚費ニ充用致來リシモ己ニ前年滿期ニ付更ニ本年ヨリ向フ五ヶ年間徴収ノ義
關係各町ノ出願ニ依リ過ル四月十一日上甲第四七九號ヲ以テ伺出候處同七月四日縣治土木局長
ヨリ右常浚ハ可成一地方ノ事業トシテ地方税ノ負擔トスルコト能ハサレハ該町若クハ一部ノ事業

トシ其收入金ハ町若クハ一部ノ雜收入トシ起工ノ積ヲ以テ町村會ノ議決ヲ經伺出候方可然云々照
會ノ旨モ有之再考スルニ元來該港ノ修繕費ハ地方税ト關係町村費トノ連帶支辨ニ候得共右等常浚
ハ從來全ク別途ニ屬シ管テ地方税ヲ以テ支辨セシ實例無之ノミナラス一ノ權衡モ有之差向キ地方
税ノ負擔トスルコト能ハサレニ付當分従前ノ習慣ヲ襲ヒ該町若クハ一部ノ事業トシ起工セシムル
ノ見込ヲ以テ郡部會常置委員ヘモ諮問ノ上町會ヘ付議セシメ候處今般別紙之通該町長ヨリ願出版
調ルニ不都合ノ虞無之且前陳ノ通事實不得已義ニ付願意許可相成度此段相伺候也

指令(二十二年)

明石飾摩兩港帆別錢徴収之件開届ク

○岩手縣問合(二十二年)

漁業場ハ營造物ナルカ

漁業場ハ營造物ト見做スヲ得ヘキヤ

縣治局長回答(二十二年)

漁場ハ營造物ニテラサルモノト存ス

○福島縣問合(二十二年)

○内務ノ部

町村有財産ノ管理

○區有財産使用ハ區條例ヲ發スルヲ得ルカ

町村制第十四條ニ規定セル局部ニ於テ財産ヲ所有スルモノアリ該財産ノ使用料ヲ徵收セントスルハ條例ノ規定ヲ要スト雖モ右ハ一局部ニ於テ條例ヲ發行スル義ハ難相成等ニ付該村財産使用料ニ關スル條例ヲ適用スヘキ乎將テ區會又ハ區總會ト雖モ其區所有ノ財産ニ對シテハ町村ト同一ノ權利ヲ有スルヲ以テ右條例ヲ議決シ其町村長ヨリ許可稟請スヘキ乎

○縣治局長回答(三十四號)

町村内ノ區ニ於テ區條例ヲ發行スルコトヲ得ヤルハ御見解ノ通ニ候得共區有財産ニ關シテハ其區會ニ於テ條例ヲ議決シ町村長ヨリ許可稟請ノ上其町村ノ條例トシテ之ヲ發行スルヲ得ヘキニ付若シ區有財産ノ使用料徵收ニ關シテ條例ノ規定ヲ要スルハ左ノ手續ニ據リ町村條例ヲ發シ可然ト被存候尤區有財産ニ關シテ特ニ條例ヲ規定セズ該村ノ財産使用料條例ヲ適用スルヲ得ヘキハ勿論ノ義ニシテ之ヲ適用スヘキヤ又ハ別ニ條例ヲ發スヘキヤ區會ノ設ケアル場合ニ於テハ該會ノ議決ニ依ルヘキ義ト存候

○愛媛縣問合(三十四號)

登記證明書附與ニ付手数料徵收ノ條例規定ノ件

縣下知多郡養父村外三ヶ村各村長ヨリ稟請セシ手数料ニ關スル條例中土物建物船舶登記證明ノ件

ハ今回法律第七十八號ヲ以テ登記法中改正ニヨリ登記所ノ取扱ニ相移リタルニヨリ之ヲ條例中ニ規定スルノ必要無之旨本月九日付愛丁第五二號ノ内ニテ御照會ノ趣了承直ニ夫々示諭致置候然ルニ改正登記ヲ乞フモノハ請求書ニ其所有權ノ證明書類ヲ添ヘ云々ト有之其證明書類トハ義ニ其人ヨリ買受タルトキノ證書等アリテ所有權ヲ明示スルニ足ルノ書類アルモノハ殊更ニ市町村長ノ證明ヲ要セサル義ト被存候得共茲ニ累代所有スル物件アリテ新ニ登記ヲ請ハントスルニ際シ事往昔ニ涉ルヲ以テ之レカ確證ヲ依テ其物件ノ所有ヲ明示セシカ爲メ市町村長ノ證明ヲ乞フトキハ市町村長ハ職務上之レカ證明ヲ與ヘ差支無之ト存候然ルトキハ一個人ノ爲メニ勞費ヲ要スルコトナシハ之ニ對シ手数料ヲ徵スルノ條例ヲ規定シ得ラル、哉

○縣治局長回答(三十四號)

御意見ノ通ト存候

○群馬縣照會(五十二號)

制第九十條第一項第一國稅府縣稅

町村制第九十條第一項第一國稅府縣稅ノ附加稅トアル其國稅トハ直接稅ノミヲ指シ府縣稅トハ直

接國稅ノ兩稅ヲ指スルカ又第二町村稅ノ直接間接稅ノ類別ハ追テ定メラルヘキ義ナル乎
縣治局長回答(三十二年)

第九十條第一項國稅府縣稅トアルハ汎ク直接間接ノ兩稅ヲ云ヒ第二項直接ノ二字ハ國稅府縣稅兩
稅ニ通ス從前ノ區町村費ノ區別ハ追テ訓令ヲ發セラルヘシ

○海軍省訓令(三十二年)

國稅府縣稅ノ附加稅ニ關スル件

町村制第九十條國稅府縣稅ノ附加稅トハ例ヘハ國稅ナル所得稅ニ附加シテ所得ニ對シ若干賦課
シ又ハ地方稅ナル戶數割ニ附加シテ戶數割同様ノ賦課法ニテ收入スルモノナルヤ果シテ然ラハ横
須賀町ニ於テ司令長官以下ニ賦課セル左ノ戶別割ノ如キハ國稅ノ附加稅ニモアラス府縣稅ノ附加
稅ニモアラス一種ノ稅ニテ第九十條第二ノ特別稅ト心得ヘキモノナルヤ

縣治局長回答(三十二年)

御問合神奈川縣下橫須賀町戶別割之件町村戶別割ハ府縣稅戶數割ニ附加スルハ常例ナルニ付地方
稅ノ稅率ニ依リタルモノニシテ特別稅ヲ設ケル義ニハ有之間敷尤モ橫須賀町ヨリハ未テ御問合
ノ如キ町稅許可ノ稟請無之候

○三重縣申請(三十二年)

特種戶別割

當縣一志那久居町ニ於テ特種戶別割ナルモノヲ設ケ施行致度官別紙ノ通稟請ニ付調査スルニ其理
由書ニモ述ル如ク該町目下ノ事情ニ照シ適應ノ施設ト被認候但普通ノ戶別割ヲ寄留或居ノモノニ
及サ、ルモノハ本縣地方稅戶數割ノ制ニ於テ家屋ヲ所持スルモノノニミ賦課シ借家人ヘハ賦課セ
サルノ法ニ付隨テ其附加稅タル町稅戶別割モ借家寄留ノモノヲ除クニヨリ特種戶別割ノ名ヲ以テ
之レニ及ハントスル所以ニ有之候條稟請ノ通御許可相成候様仕度此段添申候也

指令(三十二年)内藏兩大臣逕署)

本年八月二日議進第三六號稟申町村稅區別ノ件開屆候條明治二十一年七月十三日大藏省告示第九
十五號但書ニ依リ管内ニ告示ス可シ

○青森縣訓令(三十二年)

町村費戶別割標準

從前ノ町村費戶別割ハ家屋坪數又ハ他ノ財産ヲ目安トシテ賦課セリ此法ヲ襲用セントスルトキハ
條例ニテ細則ヲ設クヘキヤ又均一ノ稅率ニ依ラサル戶數割ノ附加稅ト爲スヘキヤ

指令(三十三号)

戸數割賦課方ノ件従前町村費ノ賦課法ヲ襲用スルモ地方税戸數割ノ賦課法ニ依ラサルモノハ特別
税ト心得ヘシ

○静岡縣伺(三十三号)

町村税徴収期日ノ件

町村税ノ内特別税ノ徴収期日ヲ定ムルハ制第九十一條第一項ノ規定ニヨリ條例ヲ以テ之ヲ定ムヘ
キ義ト相考ヘ候得共附加税ハ其本税ト同時日ニ於テ徴収スヘキモノニ付法律中明ニ明文ヲ掲ケス
レサル義ト心得可然乎又ハ情况ニ依リ町村會ノ決議ヲ以テ日異ニ徴収期ヲ定ムルヲ得ヘキ義ニ
候哉判然不致候間至急御指揮有之度此段相伺候也

指令(三十三号)

町村税徴収期日ノ件後段伺ノ通

○福島縣伺(三十三号)

地方税ヲ免除シ附加税トシテ町村税戸別割賦課ノ件

本縣ニ於テハ從來原野開墾ノ爲メ其地ニ移住シテ後十三年ニ滿タサルモノ並ニ磐梯山ノ地變ニ罹
リタル地域内ニ現住スルモノハ孰レモ地方税地租及戸別割ヲ免シ又新道移住民及七十年以上ノモ

ソニシテ自生活ヲ營ムモノニハ戸別割ヲ免除シ來レリ然レモ町村制實施前ニ在リテハ町村費ノ戸
別割ハ固ヨリ獨立賦課徴収セシモノニ有之今日ニ於テモ亦此賦課ヲナサレハ一村ノ税源ニ缺乏
ヲ生シ候モノ有之候得共制第九十條ノ附加税トアルニ該當セサルヤノ疑義之レアリ右ハ國税ノ賦
課ヲ受ケサル鐵道敷地等ノ如シ地方税ヲ免スルモ附加税トシテ町村税戸別割ヲ賦課シ得ヘキヤ
指令(三十三号)

地方税ヲ免除シ附加税トシテ町村税戸別割ヲ賦課スルヲ得サル義ト心得ヘシ

書記官通牒

附加税ノ件ニ付本日指令相成候處地方税ヲ免除シ町村税戸別割ヲ賦課スルハ制第九十條ノ附加税
ニ該當セサル義ニ有之候得共同ノ如ク事情已ムヲ得サル場合ニ在テハ特別税トシテ相當ノ規定ヲ
設ケ徴収シ得ヘキ義ト御了知相成度此段及御通牒候也

○静岡縣伺(三十三号)

國稅府縣稅ノ附加税ニ屬セサル従前ノ町村費徴收科目ヲ襲用スル特別税ニ付細則ヲ設クル件
制第九十一條中従前ノ町村費云々ニ付テハ現今ノ區町費徴收科目ヲ其儘襲用スルモ細則ヲ設クル
ノ旨御省書記官ヨリ通牒有之右襲用トハ地價割戸別割營業割反別割等附加税特別税ノ別ナク従前

ノ町村徴収科目ヲ用フルヲ指ス義ナル乎又其細則ハ徴収ノ附(原文ノ儘)及徴収手續等ヲ規定スル
義ナル乎

指令(三十四號)

國稅府縣稅ノ附加稅ニ屬セザル從前ノ町村費徴収科目ヲ製用スル特別稅ニ付細則ヲ設クル義ト心
得ニシ

○茨城縣問合(七十四號)

町村稅意納者罰則ノ件

町村制第九十一條ニ罰則ヲ設クルヲ得ルト有之候處凡テ町村ノ收入ヲ意納スルモノアルトキハ結
局國稅意納處分法ニ依ル義ニ付該法ニ依リ處分ヲ了シタル上更ニ罰則ニ當ルトキハ國稅意納者ニ
比較スルモ其權衡ヲ得サル義ト被考候條罰則ヲ設クルヲ得ルハ單ニ逋稅ヲ企圖シタル場合ニ限ル
義ニ有之候哉

縣治局長回答(七十四號)

町村制第九十一條罰則ノ義ニ付御照會ノ趣了承右罰則ヲ設クルヲ得ルハ逋稅ヲ企圖シタル場合
ノミニ限ラザルヘシト雖モ町村ノ收入ヲ意納シタルモノニ對シテハ國稅滯納處分法ニ依リ(一)

、、、、、、、、、此間落字)設クルヲ得サル義ト存候

○兵庫縣問合(四十四號)

從前町村費ニ關スル細則規定方

客年六月訓令三八七號ヲ以テ市町村稅科目ハ從前ノ科目ヲ存シ當分ノ内新稅ヲ起サ、ル旨ヲ示サ
レ同年十月縣甲第四號御通牒ノ末項ニ市町村制第九十一條從前ノ區町村費ニ關スル細則ノ義ヲ
示サレタリ右ハ訓令第三八七號ノ通り從前ノ科目ヲ存スルモ如何ナル細則ヲ規定スル御趣意ナル
ヤ適例一二ヲ示サレ度又右訓令ニ依ルモ國稅縣稅ノ附加稅ト呼稱セザルモ地價割ハ國稅ノ附加
稅ニシテ戶別割家屋割營業割ハ縣稅ノ附加稅ト心得可然哉又戶別割ハ從來均一ノ稅率ニヨラス貧
富等級ヲ立テ賦課スルモノナシハ市制第二百二十三條町村制第二百二十七條ノ七ニ依リ許可ヲ受クヘ
キモノナルヤ

書記官通牒(三十四號)

從前ノ町村費ニ關スル細則ノ規定方等ニ付御照會ノ趣了承右ハ別紙靜岡縣へ指令ノ例ニテ御了解
可相成又從來ノ反別割ハ特別稅ニシテ本年二月四日付京第三號ヲ以テ縣治局長へ御問合ノ市町村
條例ノ書体第五例中第二ノ如キハ其一例ト存候且戶別割ハ本稅地方稅ニ於テ貧富ノ等級ヲ立テ賦

課スルキ其賦課ニ對シテ町村税ハ均一ノ課率ヲ以テ徵收スヘキ義ト存候

○長野縣照會(二十二年)

制第九十一條第二項ニヨリ司法裁判所ニ出訴シタル場合科料徵收處分方

第九十一條第二項ニ據リ司法裁判所ニ出訴シタル場合ニ於テハ一般刑事ト同ク科料ノ徵收處分ハ
裁判確定迄執行ヲ停止スヘキ義ニ候哉

總務局長回答(二十二年)

御見解之通

○群馬縣照會(二十二年)

町村税賦課

町村制第九十二條但書ニ其賦税ハ滞在ノ初ニ遡リ徵收スヘキトアルハ仮令ハ此ヨリ四月迄
滞在スルモノアリトモ一月ハ則第百條ニ依リ納税義務ノ生シタルトシ三月ヨリ徵收スルカ
將テ第九十二條但書ノ場合ハ第百條ヲ適用セス則三月ニ至レハ其滞在ノ初ニ遡リ一月ヨリ徵收ス
ルノ義ナルヤ

縣治局長回答(二十二年)

前段御見解ノ通

○海軍省問合(二十二年)

學校病院等ノ構内ニ居住者町村税賦課

屯營病院學校等ノ構内ニ在ル者郵便電信局ノ構内ニ在ル者官吏トナルハ兵卒患者生徒ナルトモ問
ハス町村滞在人ト見做スヘキモノナルヤ

前二項ノ者ヲ町村住民町村滞在人ト見做スヘキモノナルハ家屋税ノ如キ建坪ニ課スル税ハ官舎
ノ如キ官有家屋ニ課スル能ハサルニ依リ自然賦課セラル、コナキモ他ノ賦課法假令ハ一ト隨毎ニ
賦課スル税ノ如キハ賦課セラル、モノナルヤ

縣治局長回答(二十二年)

第二項屯營學校病院等ノ構内ニ在ル官吏ニシテ其處ニ常住居ヲ構アルモノ、如キハ其町村ノ住居
ト見做スヘク兵卒患者生徒ハ町村滞在人ト見做スヘキモノト存候

第三項町村ニ於テ一ト隨テ構アルモノニ町村税ヲ賦課スルハ一ト隨テ構アル住民及三ヶ月以上
ノ滞在人ハ其賦課ニ應ゼサルヲ得サル義ニ候

○福島縣問合(二十二年)

○内務ノ部

町村有財産ノ管理

四百三十一

町村税賦課

町村制第九十三條ニ依リ、ハ町村内ニ住民ヲ構ヘス又ハ三ヶ月以上滞在スルコトナシト雖モ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲スモノ(店舗ヲ定メサル行者ヲ除ク)ハ其土地家屋營業若クハ其所得ニ對シ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ヘキ義ニ候處地方税中日税ヲ課シ來リタル諸興行ノ如キ多シハ一時其町村ニ來リテ或ル時日間興行ヲ爲シ興行終レハ直チニ他ニ轉帳スルノ類ニシテ其業体ニ於テハ行商ト相似タル性質ノモノニ有之然ルニ本縣ニテハ地方税課目課額ニ於テ行商ト稱スルモノハ特ニ其種類ヲ指定シテアリテ之レニハ包含セサルモノナレバ性質上右等ハ町村制第九十三條ニ據リ課税スヘキ限リニ無之ト思考候得共差掛居候件ニ有之候ニ付云々

縣治局長回答(二十二年)

一應御意見ノ通ニ可有之尤諸興行アリトモ營業ニテ月ニ跨ルルハ營業割ヲ賦課スルヲ得ル場合モ可有之義ト存候

○海軍省問合(二十二年)

町村税賦課

町村制第九十五條ハ甲町村ニ家族ノミナ住居セシメ乙町村ニ戸主住居スル場合ニモ適スヘキヤ

書記官回答(二十二年)

甲町村ニ家族ノミナ住居セシメ乙町村ニ住居スル場合ニテモ甲乙兩町村ニ住居ヲ構フルノ事實アルモノニハ町村制第九十五條ヲ適用スヘキ義ニ御坐候

○海軍省問合(二十二年)

町村税賦課

横須賀軍港ニ勤務ノ官吏ハ東京ト交通便利ノ地ナルカ故ニ東京ノ住宅ハ其儘ニシテ横須賀ニ住居シ或ハ下宿ニ居ル者アリ是等ハ町村制第九十五條ノ所謂數部町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ相當スヘキヤ

縣治局長回答(二十二年)

横須賀軍港ニ勤務ノ官吏ニシテ東京ノ住宅ヲ其儘ニシテ横須賀ニ住居或ハ下宿スル官吏時々東京住宅ニ來歸スルモノ、如キハ町村制第九十五條ノ所謂數部町村ニ住居スルモノニ該當候

○福岡縣伺(二十二年)

町村税賦課

町村制第九十七條第一項政府々縣郡市町村及公共組合ニ屬シ云ケトアルハ借地借宅ト雖モ直接公

用ニ供スルモノハ町村税ヲ免除スヘキモノト被存候處茲ニ一巳人所有ノ家屋ノ幾分ヲ借受ケ町村役場等ヲ設置シ傍ヲ所有者ノ常住スルモノノ如キ其區域分別シ難キモノアルノミナラス右等ハ借家料ヲ支拂フモノニ付其土地ニ係ル町村税ヲ免除スルハ少シク不權衡ノ嫌ヒモ有之候條該項政府以下公共組合ニ屬スルトハ其所有權ノ有無ニヨリ一巳人所有ニ係ル土地營造物及家屋ハ其直接公用ニ供スルモノト雖モ免除スヘキ限リニ無之義ト相心得可然乎

指令(二十二年三月二十三日)

町村制第九十七條第一項第一疑義ノ件伺ノ通

○石川縣問合(二十二年三月二十三日)

町村税賦課

町村内ノ一部則現今ノ大字共同ノ地所若クハ一巳人ノ所有地ニ公立學校病院ヲ建築シタルモノ有之且他人ノ地又ハ一部共有ノ山林ヲ借入獲ル所ノ收得ヲ以テ學校病院ノ維持ヲ爲スノ費用ニ充ツル如キハ總テ町村制第九十七條第一項ノ二ニ該當ノ者トシ町村税ヲ免除スヘキ筋ニ候哉又ハ實際學校病院ノ用ニ供スルモノ右ハ其所有主ニ向ケ相當ノ課税ヲ爲スヲ得ヘキ乎

縣治局長回答(二十二年三月二十三日)

第一段ノ所有者(大字又ハ一個人)ニ於テ借地料等ヲ受ケス直接公立學校病院ノ用ニ供スルモノナ
ルコト於テハ制第九十七條第一項ノ二ニ該當スルヲ得ヘク又第二段ハ土地ノ所得ヲ以テ學校病院ノ維持費ニ充ツルモノナレハ其所有ノ何レニ屬スルモ町村税ヲ免除スヘキ限リコトアラスト存ス

○福岡縣問合(二十二年三月二十三日)

町村税免除

風防及水源涵養ノ山林ハ同制第九十七條第一項第一直接ノ公用ニ供スル土地トシ免税スヘキヤ

縣治局長回答(二十二年三月二十三日)

照會ノ通ト存候

○遞信省問合(二十二年三月二十三日)

町村税免除

町村制第九十三條ニ據レハ郵便電信ノ業ニ供スル土地家屋ニ對シテハ町村税ヲ賦セサル筈ト存候處三等郵便電信局郵便局舎ハ三等局長服務規約ニ依リ私有ノ家屋ヲ無料ニテ供給スルノ義務アルモノニシテ其中ニハ局務取扱ニ專用スルモノト其一半ヲ區畫シテ局務ヲ採リ他ノ一半ヲ以テ居住ニ充ツルモノトノ區別有之候處右全室ヲ局務取扱ニ專用スルモノハ本條ニ依リ町村税ヲ賦課セザ

レサルハ勿論ノ儀ト存候得共其一半ヲ區班シテ局務ヲ採リ他ノ一半ヲ以テ居住ニ充ツルモノノ如キハ如何ナル方法ニ據リ課税セラルヘキヤ

縣治局長回答(二十二年)

土地家屋共ニ區畫ノ判然セルモノハ町村制第九十七條一項ノ一ニ依リ免税スヘキ義ニ有之又一半ヲ畫シテ居住ニ充ツル者其一半ニ對スル課税ノ方法ニ至テハ町村會ノ決議ニ依リ定ムヘキモノニ付何等御回報難及候也

○靜岡縣四合(二十二年)

民有社寺免除ノ件

町村制第九十七條一項ノ第二ニ社寺トアルハ其土地民有一種ナルモノト雖モ免税スヘキモノニ有之歟

縣治局長回答

民有社寺免税ノ件ハ御見込ノ通ト存候

○山形縣四合(二十二年)

町村税賦課

町村制第九十七條第二ニ官立ノ學校病院ト有之候ニ付テハ私立ニ係ルモノハ勿論町村税ヲ免除スル限ニ無之候得共茲ニ慈善ノ趣意ヲ以テ私立愛民學校ナルモノヲ設置シ廣ク地方貧民ノ子弟ニ筆墨等ヲ給與シ無月謝ニテ就學セシムルモノアリ右等ノ如キハ則チ慈善ノ用ニ供スルモノトシ其所用ノ土地家屋ニ對スル町村税ヲ免除スルヲ得ヘキヤ

縣治局長回答(二十二年)

私立ノ向ヘ町村税ヲ免除セサル筋ニ候

○和歌山縣伺(二十二年)

全

市制第九十七條第二ニ當ル土地等ハ其所有ナルト借モノナルトノ別ナキヤ

指令(二十二年)

七月十七日電報伺市制九十七條第二ノ件伺之通

○茨城縣照會(二十二年)

町村税賦課上新開地ト開墾地ノ種別

町村制第九十七條末項ニ新開地及開墾地云々ト有之其新開地ト開墾地ノ種別判然セス他ニ適例モ

無之。付一應及御照會候

縣治局長回答(三十三)

新開地トハ開墾歟下半年開墾ヲ了リタル土地ヲ云ヒ開墾地トハ歟下半年期中ノモノニシテ未ダ開墾
了ラサル地ヲ云フ義ト存候

書記官通牒(三十三)

本縣甲第三〇號ヲ以テ省議決定ニ係ル町村制第九十七號末項新開地ニ關スル件及通牒候處今般法
律第三十號地租條例改正中ニ新開地ノコトヲ規定セラレタルニ付テハ市町村制第九十七條中ノ新開
地モ右ニ依ルヘキハ勿論ニ有之此段爲念及御通牒候也

○栃木縣照會(三十三)

町村税免除ニ關スル件

新開地及開墾地ハ町村條例ニ依リ年月ヲ限リ免税スルコトヲ得トアリ其新開地ハ客年十一月法律第
三十號改正地租條例ニ依リハ歟下半年期中免租地ナルヲ以テ單ニ特別税ニ係ル反別割ヲ免税ト得ル
義ナル哉又ハ新開地開墾共歟下半年季明地價確定又ハ修正後年月ヲ限リ免税スルコトヲ得ル義ニ候哉
縣治局長回答

新開地開墾地免税ノ義ニ付本月六日御照會ノ趣右ハ歟下半年期明地價据置年期明新開免租年期明ニ
至リ其地價ヲ定メ又ハ修正シタル上ハ新開地開墾地ニテラサルニ依リ免税スルコトヲ得ルノ限リニ
アラス隨テ新開地ニ對シテハ特別税ヲ賦課セザルニ止マル義ト存ス

○海軍省問合(三十三)

町村税免除ノ種類

町村制第九十八條ノ免税ハ如何ナル種類ノモノト心得可然哉
書記官回答(三十三)

町村制第九十八條ハ單ニ前二條即チ第九十六條第九十七條ノ外ニ町村税ヲ免除スヘキモノハ法律
勅令ヲ以テ定ムヘキコトヲ規定セラレタルモノニシテ免除ノ種類ヲ定メラレタルモノニハ無之免税
ノ種類ハ他日之ニ關スル法律勅令發布ノ日其規定ニヨリ定マル可キ義ト存候

○島根縣問合(三十三)

營造物使用道路橋賃

町村制第八十九條理由書ニ據レハ手数料使用料ヲ免除スルハ町村制第九十七條及第九十八條ノ場
合ニ限リ由之考之レハ町村ニ於テ條例ノ規定ヲ以テ其營造物使用料即チ道路錢橋錢又ハ渡船賃

等ヲ徴収スル場合ニ於テハ貴省明治九年甲第四號布達ノ警部巡查等ト雖モ之ヲ徴収スルヲ得ヘキ
 ヤ又前節ノ警部巡查ニ對シテハ使用料ヲ徴収スルコトヲ得ストスルモ本縣ニ於テ貴省明治十三年
 四月乙第十七號同十四年十二月乙第六十二號同十五年十二月乙第六十六號同十六年六月乙第三十
 一號達ニ基キ一般ニ令達シタル縣令ハ人民私費云々トアレハ町村ノ公費ヲ以テ設ケタル營造物使
 用料ニ對シテハ其効力ヲ及サシメサル筋ナル哉

縣治局長回答(二十二年)(親展)

拜啓愈御清通奉賀候陳ハ本月十三日付卅第二四號ヲ以テ町村制ニ關スル事項ニ付御質疑ノ趣了承
 右前段ハ御見込ノ適當省明治九年甲第四號布達ニヨリ町村ハ巡行ノ警部巡查ヨリ道路錢橋錢等ノ
 營造物使用料ヲ徴収スルヲ得サルハ勿論ノ義ニ有之御段縣會ハ當省乙達ニ從ヒ單ニ人民ノ私費云
 々ト規定スルヲ以テ今日町村ノ公費ヲ以テ建設シタルモノハ適用難致義トノ旨ニ候處元來右達
 ノ主旨ハ公務上來往スル憲兵郵便脚夫等ヨリハ巡查警部ト同シノ公私一般ニ右等賃錢ヲ徴収スル
 ヲ得セシメサルコト有之候ニ付設令縣令ニハ單ニ人民ノ私費トアレトモ從前町村費ヲ以テ設ケタル
 モノニモ之ヲ適用シタル次第ニ有之且一個人ノ私費ヲ以テ設ケタルモノニモ尙賃錢ヲ請求スルヲ
 禁シタモノナレハ今日町村其公費ヲ以テ爲シタルモノハ之ヲ徴収スルヲ得サル義ト存候右ニテ御

質疑ノ件御了解有之度勿々不備

○靜岡縣伺(二十二年)

町村附加稅徵收方

町村附加稅徵收方ハ制第百條ニ依リ徵收スヘキノ處其本素タル地方稅中興業稅ノ如キハ數月ヲ越
 續スルコトナク僅ニ日數ノ兩月ニ跨ルモノ、外ハ納稅義務ノ生ラタルマテニシテ本條ニ依リ徵收シ
 難キモノハ徵收セサル義ナル哉將タ本條ハ納稅義務生滅ノ大略ヲ規定セラレシモノニシテ本稅ノ
 一時ニ屬スルモノハ又一時ノ附加稅ヲ課シ差支無之哉

指令(二十二年)

二十二年十二月廿七日職第三七三號付伺町村制ニ關スル件ハ前段伺ノ通尤モ本稅アルノ故ヲ以テ
 必スシモ附加稅ヲ附加スルヲ要セサル義ト心得ヘシ

○群馬縣問合(二十二年)

地方稅ニ附加スル町村稅ノ件

町村稅ハ地方稅ニ附加徵收スル義ニ有之候處本縣ノ如キハ地方稅中雜種稅ニ於テ月稅日稅ヲ納ム
 ル者夥多有之然ル處町村制第百條ニ町村稅ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタ

ル月ノ終リマテ月割ヲ以テ之ヲ徴収スヘシト有之ニ依レハ右月税日ニ税シテ二ヶ月以上納税スルモノニアラザレハ町村税ヲ附加スルニ由ナク是等ノ者ヨリハ徴収スヘカラサル義トハ思考候得共或ハ他ニ理由アリテ地方税ヲ納メタル月若クハ日ヨリ附加スルモ差支無之義ニ候哉

○兵庫縣伺(三十四番)

本月三日御問合地方税ニ附加スル町村税ノ件本税二ヶ月以上ニ涉リ納税スルモノニアラザレハ町村税ヲ附加スルヲ得サル義ト存候

○兵庫縣伺(三十四番)

○町村税賦課

納税義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリトアルハ年税月税ヲ問ハス總テ月ヲ除ヘ營業スルモノニ賦課スル地方税ニ附加スルモノニシテ其月ヲ跨ラサルモノ又ハ祭典法會ニ際シ一時出店スル營業者ノ類ハ地方税ハ賦課シアルモ市町村税ヲ附加スルヲ得サル義ニ候哉
地方税ノ地租割ハ追徴返付ヲ爲サレ原則ニシテ神戸市家屋税ノ如キモ市部會ノ決議ヲ經四月一日十月一日ノ現在建坪ニ依リ課税シ追徴返付セサルモノト爲セリ然レモ市町村税ハ其義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタル月ノ終リ迄テ月割ヲ以テ徴収スヘキモノナルニヨリ地方税

ノ賦課ニ伴ハサルモ矢張更ニ附加税ヲ課シ又ハ之ヲ返付スヘキ義ニ候ヤ

前二條ハ本制ノ主意ナリト雖モ現今ハ地方税ト市町村税ト其原則ヲ異ニスルヲ以テ往々相伴ラテ徴收スルヲ得サルモノアリ同シク附加税セシテ其賦課スルモノト賦課セサルモノト二途ニ涉リ充當ナラザレニ付追テ府縣御改正アル迄舊區町村費ノ科目製用スル間ハ市町村會ノ議決ヲ以テ地方税ノ賦課ニ隨伴シ賦課徴収セシメ妨クナキヤ

指令(三十三番)

第一項伺ノ通り

第二項附加税ノ納税義務ハ町村制第百條ニ依ルヘシ但地價割ハ地租ニ付加スルヲ以テ其徴收ハ地租徴収法ニ依ルヘシ

第三項市町村會ノ議決ニ委スヘキ限ニアラス

○高知縣問合(七十四番)

○町村税徴收期日

町村税徴收期日ノ義ハ町村會ノ評決ヲ以テ適宜之ヲ定ムヘキ筋ニ候處町村制第百條ニ町村税ハ納税義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタル月ノ終迄テ月割ヲ以テ之ヲ徴スヘシト有之依

之考之フレハ町村税ハ一年度ノ課額ヲ拾貳分シテ一月ノ課額ヲ定メ毎月納税期日ヲ定メサレハ不納者ニ對シ處分ヲ爲スヲ得サルモノ、如クニ候得共第百條ハ單ニ納税義務ノ興廢ニ依リ課免手續ヲ示サレタルモノニシテ假令一ケ年度ノ町村税ヲ二期ニ分テ上半期ヲ四月下半期ヲ九月トナスモノ、如キ不納者アル場合ハ直ニ之ヲ處分シ其處分ヲ受ケタル者各半期內ニ於テ免稅理由ノ起リタルハ其半期內ノ課額ヲ六分シ納税月數ニ依リ不納處分收入金ヨリ差引剩余アルハ之ヲ返付シ然レキ義ト存候得共云々

縣治局長回答(二十三年)

御問合ノ件御見解ノ通可然ト存候

○福島縣伺(二十三年)

町村税徴收

町村税徴收ノ義ハ其年度內ニ入り執行スルハ穩當ナル如シト雖モ支出ハ固ヨリ收入ヲ俟ツコアラサレハ取行ヲ能ハサルノ順序ナルニ付例ハ二十三年度分テ二十三年度中ニ於テ徴收シ若シ意納者アルハ制第百二條ニ依リ處分スルヲ得ル設右徴收ノ件ニ關シ同第百條ニ規定アリト雖モ是等ハ年度内納税義務ノ起滅ニ應ジ處理スル道ヲ規定セラレタルニ過スレテ其他明條不相見ニ付至急

何分ノ御指揮有之度候

書記官通牒(二十三年)

町村制第百六條末項ニ依ルカ若クハ繰越金又ハ雜收入等ヲ以テ便宜支出ニ充ツルノ外年度內ニ於テ町村税ヲ賦課徴收スルヲ得サル義ト被存候

○福岡縣照會(二十三年)

市町村税賦課ニ關スル件

市町村税ハ其年度以前ニ於テ賦課徴收スルヲ得サル旨客年八月省議御通牒相成候處右ハ制第百條規定ノ精神ヨリ出ルモノニシテ理論上已チ得サル義ニハ有之候、共現今地方税ニ在テハ年度前徴收ヲ爲シ來リ候ニ付之ト同時ニ市町村税ヲ徴收スルハ大ニ手數ヲ省ク而已ナラス其収納上ニ於テモ大ニ好結果ヲ得ルハ實驗上爭フ可ラサル義ニ有之殊ニ其支出ハ年度開始ト同時ニ之ヲ必要トスルカ故ニ制第百六條末項ニ依リ一時ノ借入金ヲナスノ外ナク固ヨリ繰越金雜收入ハ必スシモ其之レアルテ期ス可ラサル義ニ付従前ノ通り年度前徴收ヲ爲シ得ルノ便法相開キ度尤モ徴收ヨリ年度開始ノ間ニ生スル起生變更若クハ消滅ニ對シテハ夫々還付徴收ノ手續ヲ盡サセ候間御差支無之候哉

總務局長回答(三十四年)

市町村稅年度前徵收ノ趣旨ハ地方稅ニ在テハ年度前徵收スルヲ以テ之レト同時ニ市町村稅ヲ徵收スルトキハ大ニ勞費ヲ省クト云フニ有之候得共現今地方稅ヲ年度前ニ在ツテ徵收スルハ全ク便宜上ニ出タルモノニシテ府縣制實施ニ至テハ府縣稅ハ年度前徵收ヲ許サル、コトニ可相成ニ付市町村稅ハ可成便宜法ヲ設ケサル方可然ト存候

○府縣會議規則

第一章 總則

第一條 職權

○(山梨縣問法制局說明)本條ノ事項ヲ議定スルコ方リ其起原性質等ニ論及セサレハ豫算ノ目途徵收ノ方法ヲ議定シ難キ場合ニ於テハ法律規則ニ觸レサル以上ハ之ヲ議スルモ妨ナシ

○(福島縣問法制局說明)郡區役所並戸長役場ノ經費ヲ議スルニ際シ郡區ノ存廢移轉役及所役場ノ増減等ニ論及スルハ已ムヲ得スト雖モ府縣會議ニ於テ直ニ之ヲ議決スルノ權ナシ但内務卿ニ建議スルハ格別ナリトス

○(内務省備考)行政上新創舊設ノ事業ニ就キ假令當否ヲ討論スルモ其議決ニ至テハ專ラ費用ノ堪否ヲ

以テ之ヲ事件ノ起廢伸縮ニ取ルニ非サルモノトス

○(同上)徵收方法ノミヲ議セシムルニ止ラス其豫算ヲモ議定スヘキモノトス

○(内務省訓示)凡府縣ニ於テ管内ニ布達等發行スルモノ、内府縣會議ノ議決ニ係ルモノ又ハ臨時急施ヲ要シ常置委員會等ノ議決不認可ニ依テ施行スルモノ等ハ其旨布達中ニ明記スヘシ

○(新潟縣問内務省指令)縣會議ニ於テ衛生會開會ノ數ヲ減スルハ相成ラス

第二條 會議類別

○(内務省備考)通常會議臨時會議ヲ論セス凡ク開會ハ府知事縣令ノ命ヲ受クヘシ連合會議ヲ起シ他事ヲ議スルノ權ナシ

第三條 議案

○(内務省伺太政官指令)退職者タルヲ決スル議按及議事細則ノ議按ハ議會自ラ之ヲ發シ旅費等ノ議按ハ府知事縣令之ヲ發スヘシ

第四章 臨時會議權

○(内務省伺太政官指令)本條ノ場合ト雖モ規則第八條ニ據リ府知事縣令ヨリ府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フコアルルハ之ヲ議スルハ妨ナシ

- (同上)本條ノ場合ト雖モ議事細則ヲ議スルハ妨ナシ
- (同上)臨時會ハ他ノ事件ヲ議スルヲ得スト雖モ其臨時會ヲ要シタル事件ニ係ル建議ハ議スルヲ得
- (同上)始メ會議ヲ要シタル事件ノ外臨時ニ他ノ事件ヲ議セシムルハ一旦閉會シ更ニ開會スヘキ者トス

第五條 認可、不認可、再議

- (栃木縣開法制局説明^註)凡府縣會ノ議決シタル者ハ府知事縣令ノ意見ヲ以テ復タ之ヲ改ムルヲ得ス其止ムヲ得サル者ハ本條ノ後段ニ遵フヘシ

- (内務省伺太政官指令^註)府縣會ノ議決ヲ認可スヘカラストシ府知事縣令ヨリ内務卿ニ具申シタル后議會ヨリ再議セシムヲ請求スルハ之ヲ許スモ妨ナキト雖モ之ヲ許シタルハ直ニ内務卿ニ具申スヘシ

- (全上)府知事縣令ヨリ上司ニ稟議ノ上施行スヘキ成規アルモノヲ府縣會ニ付シ議決シタルハ先ツ稟議シタル后認可スヘシ

- (栃木縣伺内務省指令^註)第二項前段ニ據リ再議ニ附セント思ヒタルニ會期精滿期ニ際シ議スヘキノ時日ナント認ムルハ其後段ニ據リ指揮ヲ受クヘシ

第六條 決算報告

- (内務省備考)報告書ヲ審議スルノ際府縣會ヨリ府知事縣令若クハ代理人ノ退席ヲ求ムルヲ得
- (内務省伺太政官指令^註)精算報告ニ對シ會議ノ意見ヲ兩卿ニ上申シタルトキハ其是非曲直ヲ判シ該書ニ其理由ヲ記載シテ指令ヲ下スト否トハ時宜ニモル其府知事縣令ノ失錯ト認ルコトアルトキハ待罪書ヲ出サシメ若シ事審理局ノ裁定ニ係ルモノハ其旨ヲ以テ書面ヲ却下スヘシ

第七條 建議

- (大分縣開法制局説明^註)府縣會建議ノ權限ハ其府縣内ノ利害ニ關スル事件ニ止リ汎ク太政ニ及スルヲ得ス
- (内務省備考)府知事縣令其建議ヲ可トスルトキハ其地方稅ニ關スル者ハ更ニ議按ヲ以テ會議ニ付スルヲ得ヘシ

- (内務省伺太政官指令^註)其府縣ノ利害ニ關スルトアルハ其利害一府縣ノ公共ニ關スル者ヲ云フ故ニ一己人ノ利害ニ關スルヲ建議スルヲ得ス

- (石川縣伺内務省指令^註)縣會開場中建議建白ヲ爲シ夫レカ爲休會又ハ議員自ラ出京スルヲ得ス

第八條 諮問

○(栃木縣開法制局說明^中)府知事縣令ヨリ會議ノ意見ヲ問フトキハ府縣會ハ唯其意見ヲ上申スルニ止ル者トス

○(内務省備考)本件ノ旨趣ハ參考ノ爲ニ問フモノニ付其議決ヲ取捨スルハ府知事縣令ノ權内ニアリトス

第九條 議事細則、退職者、裁定

○(内務省備考)議事細則ノ議案ハ府縣會ニテ取調議定スルモノトス

○(栃木縣開法制局說明^中)議定ヲ認可セサルトキハ府縣會ハ更ニ之ヲ議定シ其認可ヲ受ケルモノトス

○(内務省備考)招來ニ應ゼサル者及當日參會セサル者トモ凡テ事故ヲ告サル者ニ限り退職者トナスヲ得

○(全上)開場中議員ノ内忌中ニ係ル者除服ノ義ハ議長ノ處分ニ任スヘシ

○(内務省伺太政官指令^中)退職者ト爲シタル議決ハ府知事縣令ニ於テ認可スルノ限ニアラス

○(全上)府縣會ニ於テ退職者ト議決シタル者及ヒ區町村會法第十條但書ニ依テ議決シタル決議ニ不服ナルモ其不服者ハ出訴ヲ許スヘキモノニアラス

○(全上)同項議事若クハ會議ヲ中止スルノ際府知事縣令ハ其一議事ノミヲ中止シテ他ノ議事ヲ了セン

トスルニ議會ハ政府ノ裁定ヲ乞フタル事件ノ完結迄ハ議會ヲ中止セント請求スルトキハ之ヲ中止スルト否トハ府知事縣令ノ裁量ニ任スヘシ

○(全上)各省使廳府縣ノ布達達ノ見解ヲ異ニシタルトキハ主務廳ニ稟議シテ其指令スル所ニ從ヒ府縣ノ布達ハ府知事縣令ノ說明ニヨルヘシ

○(熊本縣伺内務省指令^中)縣會議員招集ノ際忌中ノ旨届出ル者アルトキハ開會前ニ限り縣令ニ於テ除服セシメ苦シカラス

第二章 選舉

第十條 議員定數

○(番外公選^中)初度ノ選舉ニ於テハ地方官ノ見ル處ヲ以テ各郡區ノ多寡ヲ定メ更ニ議會ニ附シ其二度選舉(即初度選舉ヨリ第三年)ヨリハ議會ノ議決スル所ノ員數ニ從フ

○(内務省乙第七十六號達^中)一郡ヨリ出スル所ノ議員共ニ議長副議長ニ撰ハル、コアルモ議長副議長ハ其郡ノ議員タル本分ヲ失フモノニ非サレハ更ニ議員ヲ補撰スルコト及ハス

○(茨城縣開法制局說明^中)大郡ヲ分畫シテ二郡トナスモノハ其二郡ヨリ各五人以下ヲ選フヘキモノトス

- (法制部通牒^{時三})數郡ヲ聯合シテ一郡區廳ヲ置クモ議員ハ其各郡ヨリ五人以下ヲ撰擧スヘキモノトス
- (内務省備考)議員ハ議會開場中ト雖モ無論裁判所ノ召喚ニ應セサルヘカラス
- (内務省伺太政官指令^{時四})府縣會議員ニシテ開會中民刑事等ニ關係ノコトヨリ裁判所ノ召喚ヲ受クルモ召喚ニ應セサルヲ得ス
- (内務省備考)府縣會ノ議員ニシテ區町村會議員ヲ兼ルヲ得其同時開會ノ節何レノ會議ニ出頭スルモ本人ノ便宜ニ任ヌ可シ
- (全上)聯合郡ヨリ撰擧シタル議員ハ法制部ノ説明ニヨリ改撰スルモ從前聯合郡ヨリ撰擧シタル議員ヲ以テ組織シタル會議ノ議決ハ無効ニ屬セス
- (全上)議員任期中官吏准官吏ニ採用スルモ妨ナシ
- (熊本縣伺内務省指令^{時五})議員ヲ官吏ニ採用シタルハ已ニ請書ヲ出シタル上ハ一切事務ヲ扱ハスニシテ辭職セン者モ其儘議員ニ復スルヲ得ス
- (内務省備考)府縣會議員戸長ニ撰擧セラレタルハ其何レニ應スルモ本人ノ存意ニ任ヌ
- (全上)府縣會議員ニシテ教育會議員衛生委員學務委員ヲ兼ルモ妨ナシ
- (大阪府伺内務省指令^{時六})議員ノ數ヲ増スハ初度撰擧ノ振合ニ準リ府知事縣令ノ所見ヲ以テ其多寡

ヲ定更ニ會議ニ付シ第二度撰擧ヨリハ議會ノ決スル處ノ員數ニ從フ可シ

○(高知縣伺參事院說明^{時七})補缺員ノ數ヲ定ムルハ會議ノ決スル處ニ從フモノトス

○(内務省伺太政官指令^{時八})本條ノ二項ヲ追加セラレタル上ハ明治十三年九月無號公達復撰云々ハ自然消滅ニ歸ス

○(德島縣伺内務省指令^{時九})明治十一年七月太政官番外達第六項ニ第二度撰擧ヨリハ議會ノ決スル員數ニ從フトアルハ縣令ヨリ議按ヲ發シ議定セシムルノ義ナリ又既定ノ員數ニ増減ヲ要スルハ更ニ議案ヲ發スル義ナリ

○(全上)暫ハ初度定メタル議員ノ總數三十人ナルヲ第二度撰擧ノ節議會ニ於テ更ニ十人ヲ増總員四十人ト議定スルハ第三度撰擧ニ方々其四十人ノ半數二十人ヲ改撰セサルヲ得ス然ルトキハ退任者二十人ノ内五人ハ二ヶ年ニシテ退任セシムヘキニ付其五人ノ退任者ヲ定ムルハ規則第二十一條末項ニ準リ抽籤法ヲ以テスヘキモノトス

○(岡山縣伺内務省指令^{時十})郡長ノ公告五名以下ノ副撰ヲ誤リ拾名ヲ撰ヒ其十名中ヨリ補缺ニ充テタル後ニ其誤ヲ覺リタルトキト雖モ其補缺ニ充タル者ハ資格ナキモノトシ改撰スルニ及ハス又其補欠員ノ加リタル會議ニ於テ議決セシモノト雖モ再議ニ附スルニ及ハサル義ト心得ヘシ

第十一條 議長副議長公撰、日常旅費

○(内務省乙第七十一號達^二)議長副議長ヲ撰舉スル會議ハ議員ノ申合ヲ以テ假議長ヲ撰^レムヘシ

○(兵庫縣伺内務省指令^三)區部議員ノ辨當料ハ其區部決議ノ上ハ滞在日當ノ目ヲ以テ支給スルヲ得ヘシト雖^レ各議員モ旅費日當ノ外別ニ手當ヲ給スルハ相成ス

○(大阪府伺内務省指令^四)旅費日當ヲ更正セントスルノ議案ト雖^レ議員自ラ額スルヲ得ス

第十二條 書記

○(内務省乙第七十一號達^二)書記ノ俸給旅費日當ハ會議ニ於テ議定セシム

○(内務省伺太政官指令^五)書記ハ府縣屬官ノ内ヨリ任用センコトヲ議長ヨリ府知事縣令ニ請求スルトキハ之ヲ辭スモ妨ナシ此場合ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ以テ地方税ヨリ相當ノ慰勞金ヲ給與スルモ妨ナキモノトス

第十三條 被撰舉權

○(内務省乙第七十六號達^二)本條并ニ第十四條ニ定ムル限内ノ者ハ戶主ニ非スト雖^レ議員トナリ及ヒ議員ヲ撰舉スルコトヲ得ヘシ

○(内務省乙第七十一號達^二)議員及撰舉人タルヘキ者ノ年齢ハ撰舉會期月迄ヲ通算スヘシ

○(内務省乙第八十六號達^二)已ニ議員ニ舉ケラレタル者ト雖^レ在任中其所有ノ地所減少シテ成規ノ高ニ及ハサルトキハ退任セシムヘシ

議員及撰舉人トナルヲ得ヘキ者其所有地ヲ質入書入トナスモ所有權ヲ移轉スルニ非サルヲ以テ仍ホ議員及ヒ撰舉人トナルノ權ヲ失フコトナシ

○(内務省備考)地所ヲ質ニ取リ其納ル地租拾圓以上トナルモ議員タルノ權ナシ

○(全上)一戸二人以上被撰舉及ヒ撰舉人タルモ苦シカラス

○(全上)假令地租拾圓以上ヲ納ムル者ト雖^レ其所有ノ田畑他府縣ニ涉リ本籍所収ノ額拾圓ニ充サレハ議員ニルヲ得ス

○(全上)撰舉人及被撰舉人タルヘキ者其所有地天災ニ依テ荒地免稅年期中ハ現ニ其稅ヲ納ムルコトナキヲ以テ其所有主其權ヲ有スルヲ得ス

○(全上)一村又ハ數人共有ノ地租金額ハ撰舉人及被撰舉人タルノ金高ノ内ヘ加フヘカラス但各人名記載ノ地券証ニシテ其地租ヲ各自ニ分納スル分ハ各自ノ納租額ニ算入スルヲ得

○(全上)撰舉權被撰舉權ヲ定ル地租額ハ改租以前ニ在テハ舊租額ニ就テ調査スルモノトス

○(全上)地所賣買ノ約ヲ結ビ地券書換ヲ出願セシ以上ハ未ダ其券狀ヲ下附セサルモ其買請人ノ地租額

～算入スルヲ得

○(全上)他府縣ヨリ發子ニ來リ未タ三年ヲ踰ヘサル者ハ議員タルヲ得ス

○(全上)現在他府縣ニ寄留スル者ト雖モ管テ滿三年ノ居住ヲ經尙ホ其本籍ヲ本府縣ニ存スル者ハ被選舉人タルヲ得

○(山梨縣問法測局說明^{廿二})雙陸盲者ノ如キハ法律上制禁ノ明文ナキニヨリ總テ議員并ニ選舉人タルヲ得

○(内務省乙第八十六號達^{廿二})新律網領頒布後徒一年以上ノ刑ニ處セラシタル者ハ本條第二款ニヨリ議員タルヲ得ス

○(内務省備考)失踪他行又ハ未決囚或ハ第二款ニ明記セル以内ノ刑ニ處セラレ服役中ノ者ニ在テモ選舉權被選舉權ヲ害スルコトナシ

○(全上)第二款ノ刑ヲ受ケタル者他家ノ發子トナルトモ刑期後七年ニ滿サレハ議員トナルノ權利ヲ有セシ

○(全上)老疾及ヒ存留養親等ニヨリ收贖セラシタル者ハ之ヲ禁スルノ明文ナキ以上ハ選舉人若クハ被選人タルヲ得

○(全上)地方税民費等不納ノ爲メ財産公賣處分明治十年第七十九號公布ニ依ルヲ受ケ仍ホ不足アリテ官或ハ郡區ノ損失トナリ之カ爲メ官又ハ郡區ニ對シ義務ノ幾分ヲ欠カ如キハ身代限ト同視スヘキ者ニ非ス

○(内務省乙第六號達^{廿三})准官吏ハ官吏ト同ク被選人タルヲ得ス

○(内務省備考)麻香間祇候華族ハ官吏ニ準シ宮中祇候ハ官吏ニ準セサルモノトス

○(全上)四年トアルハ退職者トセラシタル日ヨリ起算シ滿四年ヲ云

○(内務省伺太政官指令^{廿四})懲役一年以下ト雖モ刑期中ハ選舉權被選舉權ナキ者ト認ムヘシ

○(大阪府問參事院說明^{廿五})引續キ滿三年以上寄留セルニアラサレハ本籍ヲ定ムルモ被選舉權ヲ有セシ

○(島根縣問參事院說明^{廿五})第十三條第十四條ノ地租ヲ算スルハ地券面ノ名前ニヨルモノトス遺族相續ニヨリ贖賄戸長ノ奥印ヲ受ケタル地所ノ如キハ地券書換ノ手續ヲ經サルモ相續人ノ納租額ニ算入スヘシ

免稅納稅共現ニ荒地或ハ起返シタルトキヨリ除去又ハ加算スヘキモノトス

○(熊本縣伺内務省指令^{廿六})特別ヲ以テ若干年間免租ヲ付與セラシタル民築海邊新地ヲ數百石所有シ

タル者モ免租年季中ハ被選舉權選舉權ナキモノトス

○(内務省訓示^{十四号})其府縣内ニ本籍ヲ定メ滿三年以上住居シタルハ定籍以前寄留居住シタル年間ヲモ算入スル儀ト心得ヘシ

第十四條 選舉權

○(内務省備考)但書諸款ニ該ル者ヲ除クノ外ハ仮令他府縣下ニ寄留スルモ其選舉權ヲ失フコトナシ

第十六條 選舉會

○(内務省伺太政官指令^{十四号})選舉會ヲ開クヘキ豫定ノ日一郡内ニアル島嶼ノ人民當日風波等ノ爲出會スルヲ不得トキハ當日ノ選舉會ヲ延期セシメ欠席ノ儘開票スヘキモノトス但此差閔アルヲ以テ島嶼内ノ町村ハ其町村限投票ヲ取纏メシメ豫定ノ會日迄ニ便宜郡長ニ投票ヲ出サシムルモ妨ナシ

○(全上)選舉會豫定ノ日ヲ郡長ヨリ公告スルニ際シ當日ノ時刻ヲ期スニ於テ若シ其時刻ニ後レテ投票ヲ出スモノアルトキハ其投票ハ無効ノモノトス

○(全上)投票ハ豫定ノ當日選舉人ノ面前ニ於テ其票數ヲ調査スヘキモノトス

○(高知縣問法制部說明^{十四号})投票豫定ノ日召集ニ應セサルモノハ選舉權ヲ抛擲シタルモノト見做シ差除クコトヲ得

○(大坂府伺内務省指令^{十四号})郡區長ヨリ投票用紙ヲ配付スルニ方リテ其選舉權ヲ有スル者ノ内他ニ寄留セル向ヘハ該用紙送付スルニ及ハス自然開會ノ期迄ニ復歸スルトキハ其申出ニ應ジ配付ノ手續ヲナスヘシ

第二十條 數郡區當選

○(長野縣問法制局說明^{十四号})甲郡ニ於テ常選人ヲ呼出シ請書ヲ取ルノ際未ダ乙郡ニ於テ高票ヲ得タルヤ否ヲ知レルヘカラストスルトキハ兩郡選舉終テ后請書ヲ出サシムヘキモノトス

第二十一條 議員任期

○(内務省乙第十二號達^{十四号})議員ノ任期四年トハ通常會ヲ四度勤ル儀ト心得ヘシ但一回二年期モ本文ニ準ニ二度トス

○(内務省乙第七十六號達^{十四号})議員ノ欠ヲ補フ爲メ選レタル議員ノ任期ハ其補フ處ノ先議員ノ選レタル年ヨリ通算スヘシ

○(内務省備考)通常會ヲ勤ムヘキ度數畢リ直ニ退任者ヲ極メ置モ其代任者ハ翌年通常會迄ニ選定シテ妨ナシ但代任者ヲ選定スル迄ハ議員ノ任ヲ解キタルモノニアラザル者トス

○(全上)各郡區議員退任者ニ不公平勿ラシメンカ爲府縣會ノ決議ヲトリ毎郡區全員ノ半ヲ改選スル者

トシ抽籤ヲ以テ退任者ヲ定ムルハ若シカラス但全員ノ奇數ニ當ル者ハ議會ノ決議ニ依テ取捨スルヲ得ス

○(内務省甲第四號達^{第廿一})府縣會規則第二十一條ニヨリ議員改選ノ上其就職交替ノ手續ハ豫メ府縣會ニ於テ議定セシメ府知事縣令認可ノ上施行可致但シ常置委員ノ儀モ本文同様取テフヘシ

○(兵庫縣同内務省指令^{第廿五})議員ノ改選ニ方ルモ其増減ヲ要スル場合ニ限リ議案ヲ下附スヘキ義ト心得ヘシ

第二十二條 議長副議長任期

○(内務省備考)議員ヲ改選スルニ方リ議長副議長トモ退任者タルトキハ次會開場迄欠員ト爲スモ苦シカラス

第二十四條 初欠選舉

○(内務省備考)欠員アルトキハ其時々選舉會ヲ開クモ又ハ次ノ開會前ニ於テ取纏メ選舉スルモ便宜ニ從フヘシ

○(内務省同太政官指令^{第廿四})會期差掛リ既ニ招集シタル后辭職死亡等アルトキハ其儘開會スルヲ得

第三章 議 則

第二十五條 開會制限

○(無號公達^{第廿三})議長副議長共欠席スルトキハ議員中ヨリ仮議長ヲ公選シ其日ノ會議ヲ開クモ妨ナシ

○(栃木縣問法制局說明^{第廿二})議員ハ如何ナル事故ヲ以テスルモ他ノ議員ニ其議事ノ權ヲ委任スルヲ得ス

○(内務省備考)議長副議長共本條出席議員ノ數中ニ算入スルモノトス

○(全上)小會議ヲ開クノ定メハ議事細則ニ依ルモノニシテ本條ニ關係セサルモノトス

○(内務省同太政官指令^{第廿四})議員ノ總數ハ欠員アルニ拘ハラヌ其定數ニ就テ之ヲ算スヘシ半數以上ハ議員ノ總數五十人ナレハ二十五人ヨリ以上ヲ指ス

第二十六條 決議方法

○(山梨縣問法制局說明^{第廿一})原案ニ對シテ議論數派ニ分ル、トキハ先ツ其第一動議ノ決ヲ取リ同意者少數ナレハ之ヲ消滅トシ順次第二第三動議ノ決ヲ取ル仍ホ決定ニ至ラサレハ即チ原案ニ就テ可否ヲ決ス

○(同上)原按數條ニ分レ連絡シテ全按ヲ爲スモノ各條中前後錯雜スルカ如キハ其全按ニ對シ可否修正ノ決ヲ取ルルノ前項ニ同シ

○(島根縣問法制局說明^{第廿一})諸動議各々皆過半數ノ同意ヲ得ヌ而シテ原案ニ就キ決ヲ取ルモ亦過半數ノ同

意ヲ得サル者ハ諸勸議及ヒ原案共過半数ノ否決ヲ受ケタルト自ラ明カナリ然レモ若シ其過半数ノ否決ヲ受ケタルトニ疑ヒアルトキハ之ヲ否トスル者ヲシテ起立或ハ其他ノ方法ヲ以テ之ヲ明確ニスヘン如此ニシテ仍ホ過半数ノ否決ヲ受ケタルトキハ之ヲ廢案ニ歸スルノ外復タ他ナシ尤比較多數ハ之ヲ議場ニ用ルヲ得ス

○(内務省備考)決議過半数ニ充サルカ爲メ廢案ニ屬シ實際差支アリト認ムル場合ニ於テハ規則第五條ニ從フヘシ

○(全上)原案ヲ廢棄スルノ精神ニアラスシテ偏ニ金額ヲ減省スルノ意ニ出テ勸議數派ニ分レ竟ニ原案勸議共ニ消滅ニ屬セシキハ更ニ議案ヲ修正シ再議セシムルヲ得ヘシ

○(全上)若シ前項ノ場合ニ於テ議員ノ中ヨリ委員ヲ撰ヒ之ヲ修正シ更ニ會議ニ付スヘキ建議アルキハ議長ハ其可否ヲ取り可決スルトキハ其手續ヲナス固ヨリ允當トス

○(全上)可否ノ説全ク二派同數ノトキニ限り議長之ヲ可否スルヲ得但修正説等數派ニ分ルトキハ一方ノ説半数ナルモ議長ニ於テ之ヲ決スルヲ得ス

○(全上)可否ハ議員ノ過半数ニヨリ決スルモノニ付議長ハ其數ニ加ルヲ得ス若シ議長其議案ニ對シ意見ヲ述ントスルトキハ副議長ト代リ議員ノ席ニ就ク此時ニ在テハ衆議員ト異ナルヲナシ

○(全上)議長自己ノ説ヲ述フニ方リ副議長不在ノトキハ議會ノ決ニヨリ仮議長ヲ撰フヘシ

○(全上)議員ニ於テ若シ議案ノ旨趣ヲ誤リ議決セント認ルトキハ番外議員ヲシテ尙其旨ヲ説明シ議長之ヲ會議ニ問ヒ可決セシ以上ハ再議スルモ苦シカラス

○(全上)小會議ニ於テ可否決ヲ取ルノ方法ハ兼テ議事細則中ニ定メ置ヘキモノトス

○(全上)副議長ハ議長欠席ノトキ代理スルノ權ヲ有セル者ニテ平時ニ於テハ議員ト全ク討議シ可否決ノ數中ニ入ルモノトス

○(内務省伺太政官指令)議論數派ニ分レ皆少數ニシテ過半数ヲ得ス原案消滅ニ屬スルトキハ否決ト見做シテ第五條末項ニヨリ再議ニ付スルモ適宜ニ任ス

第二十七條 議案辨明

○(内務省備考)代理人ハ必ズシモ屬官ニ限ラス郡區長クモ便宜代理ヲ命シ答辨セシムルヲ得

○(全上)府知事縣令ハ事務ノ繁閑ニ拘ラス代理人ヲ以テ議案ノ旨趣ヲ辨明セシムルヲ得但此場合ト雖モ府知事縣令ハ出席傍聽スルモ苦シカラス

○(愛媛縣伺内務省指令)議案外地方稅ノ收支ニ關セサル行政上ノ事ヲ縣會ヨリ質シタルトキハ答辨ノ限リニアラス

第二十八章 傍聽

○(内務省何太政官指令^{第44号})府知事縣令ヨリ傍聽ヲ禁センコトヲ要ムルモ議會ニ於テ之ヲ拒ムヲ得ス
第二十九條 討論權限

○(三重縣開參事院說明^{第11号})本條違反毀譽ノ文字中侮辱罵詈ノ意モ含蓄スルモノトス

第三十條 議場整理

○(大分縣開法制局說明^{第1号})議場外ニ退去セシムルハ其一日ニ止ルモノトス

○(枋木縣開法制局說明^{第1号})本條所謂規則トハ議場ノ規則ヲ云

○(全上)第三十三條第三十四條中所謂規則トハ凡テノ法律規則ヲ云

○(全上)強暴ニ涉ル者アルモ議長ノ求メテ得ザレハ警察官吏直ニ之ヲ拘引スルヲ得ス

○(内務省ヨリ警視廳ニ訓示^{第11号})十二年乙第十八號達(府縣會議員犯罪ノ麻有之拘引ヲ要スルモ其會
場内ニアラザルトキハ議長ノ承諾ヲ得タル上拘引可致此旨相達候事)ハ治罪法發行後消滅ノモノ
ナラン

○(鹿兒島縣何内務省指令^{第11号})縣會議員犯罪有之保釋中議場へ出席ハ不相成儀ト心得ヘシ

第四章 開閉

第三十一條 開閉期限

○(内務省備考)惡疫流行ノ際タリハ議員半數ニ充サルトキハ開會ヲ許サス但開會中惡疫流行ニ遭遇シ
一旦休會時機ヲ見合セ再集スルハ苦シカラス

○(全上)三月ニ開キ四月ニ係ルハ苦シカラス又通常會期節ヲ過キ開會スルモ其年度收支ノ豫算ヲ議ス
ルニ於テハ臨時會ノ名ヲ付スヘカラス

○(全上)開會ニ際シ議員欠員ヲ生スルモ其撰舉會ヲ開クノ時日ナキ場合ニ於テハ欠員ノ儘開會スルモ
差支ナン但議員過半數ニ充サルトキハ其補欠ヲ待テ開會スルモノトス

○(全上)會期三十日以内トハ休會及小會議等ノ日數ヲモ算入ス

○(全上)開會中議員ノ内病氣又ハ他ノ事故ヲ以テ他管又ハ郷里へ歸ルカ如キハ議會ノ適宜ニ任スヘシ

○(大坂府何内務省指令^{第11号})府會議員滿期半數ノ改撰ニ方リテ替ハ其後任者己ニ撰舉定リ僅ニ一部内
ニ於テ當機者其撰受クヌ逐次一票ニ至リ再ヒ十五日間ヲ與ヘ選舉會ヲ開クノ場合ニ於テハ其當
撰人定ツサル内ハ通常會臨時會共開會スルヲ得サルトセハ僅ニ議員一兩名ノ爲開會遲延シ他ノ各
郡區ニトシ大ニ不幸ヲ來スノ嘆アリ且理事上差支アルヲ以テカ、ル場合ニ於テハ己ニ總員過半數
ニ充ル上ハ欠員ノ儘開會スルモ妨ナシ

○(栃木縣伺内務省指令^{計六})縣令ト縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ規則第九條第三項ニ據裁定
 ナ仰クノ場合ニ於テ會議ヲ中止シタル間ノ日數ハ會期ニ算入スヘカラス
 議會ニ於テ法律上疑義ノ廉縣會ニ説明ヲ求ムルニ方リ或ハ其筋實義ノ上回答ヲナスヘキ義モ有之
 爲メニ議會ハ其説明ヲ得サル間ハ議シ能ハストシテ一時議事ヲ中止スルカ如キ日子ハ會期ニ算入
 スヘシ

開會中ハ勿論開會ヲ命シタル當日議員過半数ニ至ラサルモ開場式ヲ執行シ得ヘキニ付會期ノ日數
 ハ其當日ヨリ起算スヘシ

第三十三條 會議ノ中止、議定ヲ要セサル議案ノ施行、開會シ得サルトキ
 ノ措置、議會ノ停止及其間經費豫算徵収方法ノ施行

○(内務省伺太政官指令^{計四})第三項議員招集ニ應セサル者トハ事故ヲ告テ應セサルモノモ含蓄ス又一旦
 招集ニ應シテ后事故ヲ告ケ欠席スル者過半数ニ及ヒタル場合ニ在テモ本條ニ準據スルヲ得

○栃木縣伺内務省指令^{計六}規則第五條第二項ニ據リ再議ニ附シタル議案ヲ會期內ニ議了セサルトキ
 ハ普通議了セサル議案ト同シク本條第二項後段ニ據リ指揮ヲ受クヘシ

第三十四條 解散

○(内務省伺太政官指令^{計四})前議員ニ於テ一次會ニ二次會ヲ了リ解散ヲ命シタルトキハ改選議員ニ於テ

第三次會ヨリ議定セシムルモ又ハ一次會ヨリ更ニ議定セシムルモ改選議員ノ議決ニ任スヘシ

第三十五條 解散代員ノ改選

○(内務省伺太政官指令^{計四})解散セシタル者ヲ再選スルモ妨ナシ

第五章 常置委員

第三十六條 委員定數

○(内務省乙第五十三號達^{計三})常置委員ハ來十四年通常會前ニ於テ選任スヘシ

○(内務省乙第四十八號達^{計三})郡區經濟ヲ異ニスル府縣ニ在テハ定員內ニ於テ其郡區選出ノ人員ヲ定ム
 ルヲ得

○(全上)常置委員補欠ノ爲相當ノ豫備員ヲ選ヒ置クモ妨ケナシ

○(内務省備考)委員ノ人員ヲ定ル議案ハ府知事縣令ヨリ發スヘシ

○(全上)委員ハ府縣會長副議長始メ各員議中ヨリ選任スルモノトス

○(全上)委員選出ノ定員ヲ管内甲國ハ幾員乙國ハ幾員トナサンコトヲ府縣會ニ於テ發議シ可決ノ上ハ其
 管内ナ區分シテ選任スルモ苦シカラス

○(大坂府内務省指令^{第四})常置委員ノ數郡區各七人ノ處通常會ノ議決ニヨリ各五人ニ減シ現在ノ委員ヲ解任シ更ニ改選センコトヲ建議セントスルトキハ其定限内ニ於テ増減スルハ妨ナシト雖モ改選ハ相成ラズ抽籤又ハ投票ヲ以テ其退任者ヲ定ムヘシ

○(内務省伺太政官指令^{第四})常置委員ハ國ニヨリ又ハ郡區ヲ區別シテ選舉スルモ縣會ノ議決ニ出ルトキハ差許スモ妨ナシ

○(内務省備考)常置委員ハ衛生委員ヲ兼ルモ苦シカラス但給料手當ハ各別ニ支給スヘシ

○(全上)常置委員辭職ノ書面ハ府知事縣令ヘ宛差出シ府知事縣令ヨリ之ヲ議會ヘ報告シ補充撰舉セシムルモノトス

○(全上)委員私事旅行ヲ爲スルノ處置ハ細則中ニ於テ便宜之ヲ定ムヘシ

第三十七條 委員職務

○(兵庫縣内務省指令^{第三})會議ニ付スヘキ議案ハ前以テ常置委員ヘ下付スヘシト雖モ事業ヲ執行スルノ方法順序ヲ諮問スルハ縣會ニ於テ議決シタル事件ニ限ルヘシ

○(内務省備考)地方稅ニ關スル事業ノ實地審査ハ府縣廳ニ於テ之ヲ爲シ其旨常置委員ニ報告スヘシ尤時宜ニ依リ常置委員ニ於テ審査スルモ妨ナシ但此場合ニ於テ支給スル旅費日常ハ府縣會議決ノ額

ニ據ルヘシ

○(全上)若シ府縣會議員解散ニ依リ常置委員無之場合ニ於テハ其再撰選ノ間ハ府知事縣令適宜施行シ再撰ノ后之ヲ常置委員ニ報告スヘシ

○(全上)本條意見ヲ述ヘタル事件及議決シタル經費ノ収出共總テ府縣會ニ報告スヘキモノトス

○(全上)追テ府縣會ニ報告スルトハ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ其經費ヲ議決シタルモノニ限ル

○(内務省伺太政官指令^{第四})區町村會法第十條但書及荒備儲蓄法其他府縣會ニ於テ議定スヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要スル費用アル場合ニ於テハ本條ノ末項ニ依リ常置委員會ノ議決ヲ經ヘキ限ニアラズ

○(岩手縣内務省指令^{第四})地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ノ方法順序ヲ諮問スルニ方リ常置委員ノ意見執行上差闕アリト認ルルハ縣會ハ之ヲ取捨採擇スルヲ得

○(全上)縣令ト常置委員ト權限ヲ爭フカ又ハ委員ト縣會ト爭テ生シタルハ其事實ニ就キ伺出ヘシ

○(石川縣開參事院說明^{第十})第五條内務卿ノ裁定ニヨリ確定シタルモノト雖モ已ニ確定シタル地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ付常置委員ノ意見ヲ要スヘキ場合ニ於テハ第三十七條ヲ適用スルハ當然ナリトス

○(神奈川縣)參事院說明(十五)豫備費ヲ支出スルハ三十七條ノ末段ニヨリ常置委員ノ議決ヲ要セス其臨時急施ヲ要スル事業ノ經費ハ其賦課徵收法ヲ合テ議決セシムヘシ

○(内務省訓示(十四))本條末節地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ其經費ヲ議決スルニ方リ常置委員ノ議決若シ不當ニシテ認可スヘカラスト思慮スルルハ第五條ニヨリ其事由ヲ具狀シ指揮シテ之ニシ

○(兵庫縣)内務省指令(十五)常置委員會議日誌ヲ毎月印刷シ議員限リ配付ノ儘縣會決議ヲ以テ建議スルニ法律上其議決ヲ縣會ニ報告スヘキ定メアルヲ以テ別ニ其要領ヲ各議員ヘ印刷配付スルヲ要セス

第三十八條 議決要領及意見ノ報告

○(内務省備考)本條後段ノ旨趣ハ常置委員タル平素事業ヲ熟視スルヲ以テ其議按ノ當否ヲ審査シ其見ル處ヲ會議ニ告ケ考按ノ料ニ供セシムル儀ト心得ヘシ

○(全上)常置委員ノ府縣會ニ向テ意見ヲ報告スル場合ト雖モ其着席順序ハ他ノ議員ト異ナルコトナキモノトス

○(全上)府縣會ニ報告スヘキ前年度ノ決算書又ハ府縣會ニ諮問スヘキ文按等ノ如キ凡ソ議會ニ發スヘ

キモノハ總テ會議ニ先テ常置委員ヘ下付スルモノトス

○(大坂府)參事院說明(十五)府知事ヨリ府會ヘ諮問ノ事件ハ議案ト全ク常置委員ニ於テ必シモ意見ヲ附シ議會ヘ報告セシムルニ及ハス

○(若手縣)内務省指令(十五)會議ノ議決ハ必ス縣會迄報告セシムルニ及ハス

○(長野縣)參事院說明(十五)府縣會規則第三十七條末文報告スルヲ得ルトハ同條後段ノ結文ナリ同第三十八條ノ議決云々ハ諮問會ニ於テ其意見ヲ述タル事件ヲモ報告スルノ趣旨ニシテ前條臨時急施ヲ要スル議決ノミヲ云フニアラス

○(山形縣)内務省指令(十五)常置委員諮問規則ハ委員會ニ諮問ノ上縣令ヨリ達スル義ト心得ヘシ

○(大坂府)内務省指令(十五)議會ヘ報告スル區別ハ意見ヲ述タル事件及三十七條末段ノ議決共報告スルヘシ

第三十九條 委員會議所

○(内務省)乙第四十八號達(十五)常置委員會議ノ細則ハ該會ニ於テ議決シ府知事縣令認可ノ上施行スヘキモノトス

○(内務省備考)會議ノ定日ハ府知事縣令ニ於テ之ヲ定ムヘシ尤會議ニ附スヘキ事件ノ有無ニ依リ其定

日ヲ變換スルハ妨ナシ

○(全上)會議細則議案ハ府知事縣令之ヲ發スルモ委員之ヲ起草スルモ適宜ナルハシ

○(内務省同太政官指令^{第四四})府縣廳内狹隘等ノ故ヲ以テ他ノ場所ニ於テ開會セントスルモ差許シ苦シカラスヤ

○(岩手縣同内務省指令^{第四四})定日ノ外臨時ニ縣令ヨリ開會スルヲ得

○(内務省同太政官指令^{第四四})常置委員ハ常ニ廳下ニ滞在スルヲ要セス各自ノ住居ニ在テ會議ノ定日廳下ニ出頭スルモ適宜トシ其往復ノ旅費ハ支給スルヲ得

○(内務省備考)常置委員會議ハ府縣會規則第三十三條乃至第三十五條ニ準據スルヲ得ス

第四十條 議案

○(内務省備考)時宜ヨリ諮問書ヲ用ヒ或ハ答書ヲ以テスルモ苦シカラズ

第四十一條 議長

○(内務省乙第四十八號達^{第三三})議長ハ府縣知事縣令之ヲ勤ムト雖モ本務ノ都合ニヨリ書記官之カ代理ヲ爲スヲ得

○(内務省備考)府知事縣令及書記官共ニ出席スル能ハサルハ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

○(内務省同太政官指令^{第四四})長次官共不在又ハ事故アル場合ニ於テ至急會議ヲ要スルハト雖モ委員中ニリ議長ヲ選任スルヲ得ス

○(岩手縣同内務省指令^{第四四})定日會議ノ外常ニ廳内ニ事務所ヲ設ケ日勤セシムルコト及ハス

○(千葉縣同參事院說明^{第三三})常置委員ヨリ撰舉スル議長ハ時々改選スルモ其任期ヲ定ムルモ委員會ノ定ムル處ニ任ス

○(大坂府同内務省訓示^{第三三})本條ニ其他トアルハ三十七條末段並三十八條ノ會議及區町村會法第十條但書ノ場合ニ於ル會議等ヲ指シタル儀ト心得ヘシ

第四十二條 開會制限、決議方法

○(岩手縣同内務省指令^{第四四})委員若シ事故ヲ告グシテ出席セサルモノ、處分ハ委員會會議細則中ニ適宜方法ヲ設ケ置ク可シ

○(内務省同太政官指令^{第四四})臨時急施ヲ要スル場合ト雖モ半数以上出席セサルハ開會スルヲ得ス

○(全上)諮問至急ヲ要スル場合ニ在テ委員悉ク欠席スルカ或ハ僅ク一人ノ出席ニ止ルハ諮問ヲ要セス府知事縣令便宜施行シテ後報告スルヲ得

第四十三條 議事筆記

○高知縣則參事院說明(註四)第三十八條報告書其他該會ニ關スル書類ノ騰寫ハ同則第四十七條ノ書記
ヲシテ之ニ充ルモノトス

第四十四條 議案辨明

○(内務省備考)委員中ヨリ議長タル場合ト雖モ其議長ノ請求ニ依リ僚屬ヲシテ辨明ヲ爲サシムルヲ得
第四十五條 傍聽

○(内務省備考)委員會ニ關係アル官吏及ヒ府縣會議員ハ傍聽ヲ許スモ妨ナシ

第四十六條 委員任期

○(内務省乙第四十八號達(註三))任期ハ二ケ年タルヘント雖モ若シ議員本分ノ任期ヲ終ヘタル者ハ其本分
ノ任期ト共ニ委員ノ任期モ終ヘタル者トス

○(内務省備考)任期ハ府縣會正副議長任期起算法ニ準シ其實際事務ニ從事スルハ通常會ヲ二度經過シ
次ノ通常會期迄ト心得ヘシ

○(福井縣同内務省指令(註五))常置委員ヲ選舉スルニ方リテ開會セス各議員ヲ投票セシメ最寄議員ヲ立會
セ開票ノ上定ムルハ相成ラス

○(福岡縣同内務省指令(註五))縣會議長常置委員任期中其職ニ適セスト視認メ議會自ラ議員七分以上ノ助

議ヲ以テ退職セシメントスルモ之ヲ退職セシムルヲ得ス

第四十七條 書記

○(内務省備考)書記ハ時宜ニヨリ等外吏以下ヲ以テスルモ苦シカラス

○(全上)書記ハ第三十八條ノ會議ニ於テモ通用スヘキモノトス

○(大坂府同内務省指令(註四))第三十八條ノ場合ニ於テ開會スヘキ會議ニ限リ書記ハ行政官ヲ要セス更
ニ備入度旨該會ヨリ申出ルトモ右書記ハ本條ノ書記ヲシテ通用スヘキ儀ト心得ヘシ

第四十八條 委員月手當旅費

○(内務省乙第五十三號達(註三))十三年度中常置委員ノ月手當及往復旅費ハ委員ヲ選舉セシムル臨時會ニ
於テ議定セシム可シ

○(内務省備考)月手當及ヒ往復旅費額ノミナラス其支給方法等ヲモ總テ府縣會ニ於テ議定セシムヘシ

○(全上)月手當及ヒ往復旅費額ノ議按ハ府知事縣令ヨリ發スルモ妨ナシ

○(全上)委員ハ別段滞在日當ヲ支給スヘカラス

○(全上)居村ヨリ會議定日毎ニ往復スル旅費ノ給否ハ府縣會ノ議決ニ任スルモ苦シカラス

○(内務省同大政官指令(註四))常置委員ノ月手當ハ事務ノ都合ニヨリ一ケ月以上會議ヲ開カス又ハ本人ノ

事故ニヨリ一ヶ月以上出席セサルモ支給スヘキモノトス又常置委員ニシテ衛生會委員等ヲ兼スル
モノ該會中及ヒ通常臨時府縣會中ハ他ノ議員委員ト同ク月手當ノ外旅費日當ヲ支給ス

○(栃木縣内務省指令^{第五號})常置委員月手當ハ勤日數ニ應ジ日割ヲ以テ支給スルモノニアラス

○(岩手縣内務省指令^{第四號})月手當ハ毎員差等ナク同一ノ額ヲ以テ給ス等及ヒ其進退アルニ際シテ十五
日滿後ノ區別ヲ以テ支給スルカ如キハ縣會ノ決議ニ依ルヘシ

第四十九條 費用

○(内務省備考)會議所ノ費用ハ府縣會ノ議定ニ依ルヘシ

○(全上)委員會議ニ要スル費用ハ府縣會議諸費中へ小科目ヲ設ケ編入ス可シ

附 錄

○(第七十號布告^{附錄})府縣會議員會議ニ關スル事項ヲ以テ他ノ府縣會議員ト聯合集會シ又ハ往復通信

スルコトヲ許サス

其集會スル者何等ノ名義ヲ以テスルモ府知事縣令ニ於テ此禁令ヲ犯ス者ト認ムルハ直ニ解散ヲ
命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ解散ノ命ニ從ハサルモノハ集會條例第十三條ニ依テ處分ス

○(兵庫縣内務省指令^{第六號})甲府縣會ト乙府縣會トノ間ニ於テ互ニ議長ノ名若シハ何府縣會ノ名ヲ以
テ通信往復スル日誌決議錄ノ交換及ヒ之ニ關スル書狀ノ如キモ十五年第七十號布告ノ許サヘル處
トス

○(大阪府内務卿訓示^{第十號})閉會中ハ議長又ハ議員ノ名ヲ以テ府縣會議規則又ハ議事ニ關スル事件ヲ伺
出ルヲ得サル義ト心得ヘシ但開會中ト雖モ議員ヨリ伺出ルハ相成ラス

○地方稅規則

第一條 地方稅目

地租三分一以内

○(内務省備考)本項ハ土地ニ課スルモノニシテ地租ヲ課スルモノニ非ス地租割ハ其土地ニ賦課スルノ
旨趣ナルヲ以テ財産ヲ指定メタルモノトス

○(全上)縣會ニ於テ議定セシ戸數割課額ハ町村ノ都合ニヨリ差等ヲ立ルハ苦カラスト雖モ地價割ノ總
額歩合ヲ變更スルヲ得ス

○(全上)地ニ課スル地方稅一旦徵收ノ後ハ假令該年度中災害ニ罹リ其地所荒亡トナリ地租免除ノ場合
ト雖モ其既ニ徵收シタル分ハ下戻サハルモノトス

- (内務省伺大蔵省指令^{第百四})地價割ノ額ヲ定ムルハ其年度ノ地租額ニ據ル
- (全上)本項賦課ノ際各個人ノ賦課額算法ニヨリ毛位以下ヲ捨入シタルカタク三分一強ニ及フハ制限ヲ超ルモノト認ムヘカラス
- (全上)地租三分一以内トハ三分一ヲ超ユヘカラス義トス
- (大阪府伺内務大蔵省指令^{第百五})地租改正ノ際違算又ハ大量ノ誤謬等其都度經伺ノ上訂正シ地租額ニ増減ヲ生シタルモノト雖モ其精算既ニ完了後ニ屬スルモ前年度ニ溯リ追徴返還スルニ及ハス
- (福井縣伺内務大蔵省指令^{第百六})地租改正調査着手中又ハ其結果ヲ得ルト雖モ目下地價帳整理中コトテ地券附與未済ノ分アルニ際ニ縣會ニ於テ其改租額ニ據リ賦課スヘキニ議決シタル地租割税金ヲ不納シタルモ其公賣處分ハ尙十年第七十九號布告ヲ照準スヘキモノニシテ地券附與未済ノ故ヲ以テ其處分ヲ拒ムノ理由トナスヲ得ス
- (石川縣伺内務大蔵省指令^{第百七})地租割豫算ノ議案ヲ發スルニハ其年度ノ地租豫算額ヲ用ヒ精算ハ其豫算ニ對スル實収額ヲ據クル義ト心得ヘシ
- (愛媛縣伺内務大蔵省指令^{第百八})地租改正既ニ整頓シタルトキハ地租割ノ義モ十二年内務省乙第四號達ニ據リ本租額ニ對シ差引精算スヘシト雖モ制限ニ超過セサル見込ノ分縣會議決ノ上ハ從前課額

据置苦シカラヌ

- (京都府伺内務大蔵省指令^{第百九})公立學校敷地(民有地第一種ノ儘)ハ免除スヘシ
- (兵庫縣伺内務省指令^{第百十})公賣處分ニ附スヘキ土地ニ在ル植物庭石及園池ノ鱗甲等ハ其土地ニ屬セサルモノトス

戸數割

- (内務省備考)戸數割ハ本籍寄留ト戸主非戸主トヲ問ハス毎戸現住者ニ賦課スルモノトス
- (全上)凡ソ同居スルト否サルトヲ問ハス隨テ異コシ居ヲ占ムルモノハ皆一戸ノ定額ヲ賦課スヘキモノト雖モ(區)町村會ニ於テ其貧富ニ應シ定額ニ差等ヲ立テ又ハ免除スル等適宜徴收スルハ苦シカラヌ
- (全上)貧困老幼又ハ獨身ニシテ病ニ罹リ親戚ナク或ハ之レアルモ同シク究民ニシテ其救援ヲナスノ力ナク纒ニ隣保ノ扶助ヲ得テ飢渴ヲ免カル、者ノ類ハ府縣會ノ決議ヲ以テ本税ヲ免除スルヲ得
- (全上)地所ニ係ル地方税ハ官有地ニハ都テ賦課スヘカラスト雖モ戸數割税ハ現住者ニ賦課スヘキモノニ付明治七年第百二十號公布地所名稱區別中寺院大中小學校説教場病院貧院等民有地ニアラサルモノ、如キモ現住者ノ在否ヲ以テ賦課ノ如何ヲ定メ官有民有ヲ以テ區別セサルモノトス